intuos4 professional pen tablet | wireless



ユーザーズガイド
for Windows® / Macintosh®

製品の保証についてのお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから 1 年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収書（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書の添付もない場合は、保証書が無効になります。

電波障害自主規制等について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受像器に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

Wacom、Intuos は、株式会社ワコムの登録商標です。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc. が所有する商標であり、株式会社ワコムはこれら商標を使用する許可を受けています。

Adobe、Acrobat、Adobe Reader、Photoshop は、アドビシステムズ社の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Apple、Apple ロゴ、Macintosh は、米国およびその他の国で登録されたアップルコンピュータ社の登録商標です。

Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の会社名、および製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。なお、本文中では「TM」「®」マークを表記しておりません。

著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。

タブレットドライバを含む本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

Intuos 4 ユーザーズガイド for Windows/Macintosh
Version 1.0, Rev L1409
© 2010 Wacom Co., Ltd. All rights reserved.

上記の年は、このマニュアルが作成された年を示しています。
しかしながら、マニュアルがユーザに公開される日は、該当するワコム製品が市場に導入される時と同時です。

目　次

本書について

本書は、Intuos4 Wireless の使い方や機能について説明しています。本書に記載される情報は、Windows と Macintosh コンピュータに共通するもので、特に指定のない限り、Windows の画面を使用しています。

- 目次または索引で項目をクリックすると、その項目に移動することができます。
- Intuos4 Wireless タブレットについてでは、Intuos4 Wireless や入力デバイスの様々な機能について説明しています。また、電池および電源管理に関する情報やワイヤレス接続の詳細についても記載されています。
- お使いになる前にでは、Intuos4 Wireless とコンピュータの接続について、お客様が簡単にご理解いただけ、快適にご使用いただけるよう、お役に立つポイントを説明しています。
- Intuos4 Wireless タブレットを使うでは、Intuos4 Wireless の使い方を習得します。タブレットの様々な機能、Intuos4 Wireless の各入力デバイスの特徴と機能を説明するとともに、初めてお使いになる方向けの練習についても説明します。
- Intuos4 Wireless をカスタマイズするでは、作業しやすいように Intuos4 Wireless と入力デバイスを最適化する方法を説明します。
- トラブルシューティングでは、タブレットと入力デバイスのテストおよびトラブルシューティングの情報が記載されています。トラブルシューティング情報 では、よくある質問に対する回答が掲載されています。
- 付録には、Intuos4 Wireless の電池を最大限に活用するためのヒント、機器のお手入れ方法、ソフトウェアのアンインストール方法と保証など Intuos4 Wireless に関する様々な情報が掲載されています。また、Windows 7 および Windows Vista におけるペンとデジタルインク機能についても説明しています。

補足：本書では、タブレットドライバのインストールに関する情報は、記載しておりません。タブレットドライバのインストールについては、製品に付属する「クイックスタートガイド」、およびタブレットドライバ CD に収録されている自動ソフトウェアインストーラを参照してください。

電子マニュアルを初めて利用する場合、 本書の使い方を読んで確認してください。

- ダイアログボックス、コントロールパネルなどのオプションの名前は、「　」で囲んで表示しています。
- 画面でマニュアルを拡大するには、ビューアのズームインツールを使用してください。
- 特定のコンピュータハードウェア、オペレーティングシステム、他のメーカーの Bluetooth 対応ハードウェアまたはソフトウェア、およびお使いのソフトウェアに関する情報は、この製品には含まれておりません。これらの情報については、ハードウェア、オペレーティングシステム、アプリケーションに付属するマニュアルをお読みください。
- Intuos4 Wireless の機能（筆圧、傾き、消しゴム機能など）は、多くのソフトウェアでサポートされています。これらの機能をサポートするソフトウエアは、ワコムのホームページでご覧になることができます（製品情報をご覧ください）。
- 特定のソフトウェア内で、Intuos4 Wireless の機能を最大限に活用する方法については、各ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

タブレットドライバおよび本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本書の使い方

本書の中を移動するには、次のボタンやテキストをクリックします。

	表紙へ移動します。
目次	目次のはじめへ移動します。
索引	索引のはじめへ移動します。
	見た順に表示を戻ります。
	ページ番号順に戻ったり、進んだりします。
トピック	トピックへ移動します。
	次のトピックへ進みます。

Adobe Reader には、本書の使用および印刷のための追加的なツールが用意されています。使い方については、Adobe Reader のヘルプをご覧ください。

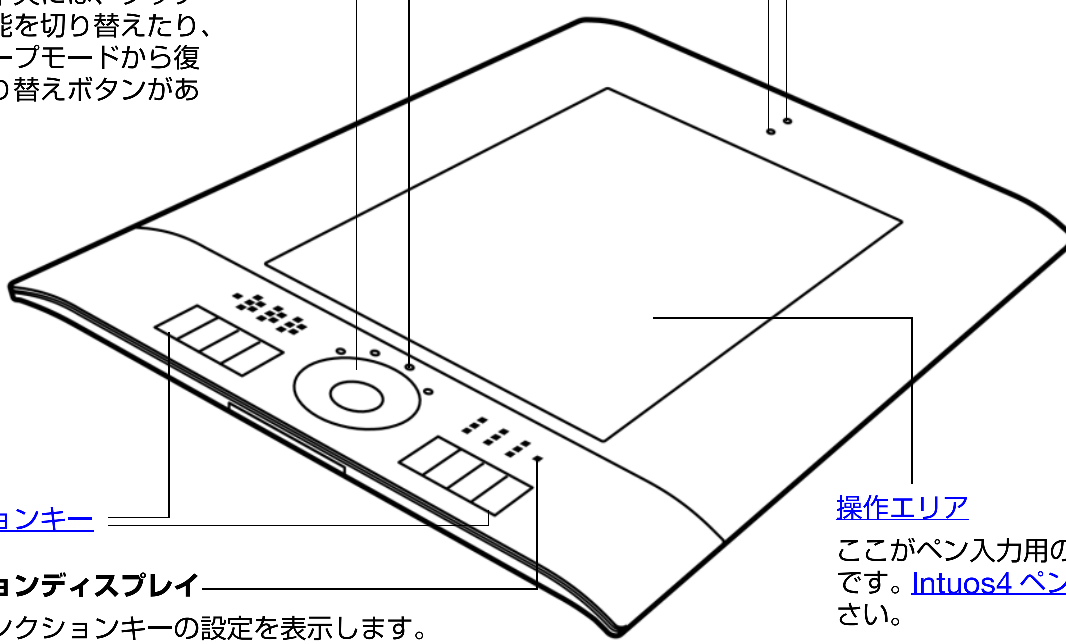
Intuos4 Wireless タブレットについて

このセクションでは、Intuos4 Wireless タブレットについて紹介します。

Intuos4 Wireless は、操作エリアとして使用するワイヤレスタブレットと、タブレット上で使用するペンやマウスで構成されています。

Intuos4 Wireless の操作を早くマスターするために、製品の外観と機能に親しんでいただくことをお勧めします。

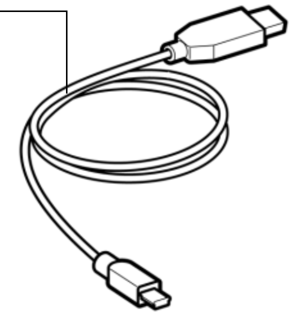
タブレットの機能



USB 接続ケーブル

Intuos4 Wireless を充電する場合に使用します。まず USB 接続ケーブルの小さい端子をタブレットの USB ポートに接続し、大きい端子をコンピュータの USB ポートに接続します。充電に関しては、電池の充電をご覧ください。

充電中もタブレットを使うことができます。USB 接続での通信をご覧ください。



電源スイッチとインジケータ

スイッチをスライドさせて電源をオン／オフします。
スイッチがオンのときは、インジケータは赤色です。タブレットを使うときは、スイッチをオンにしてください。

USB ポート

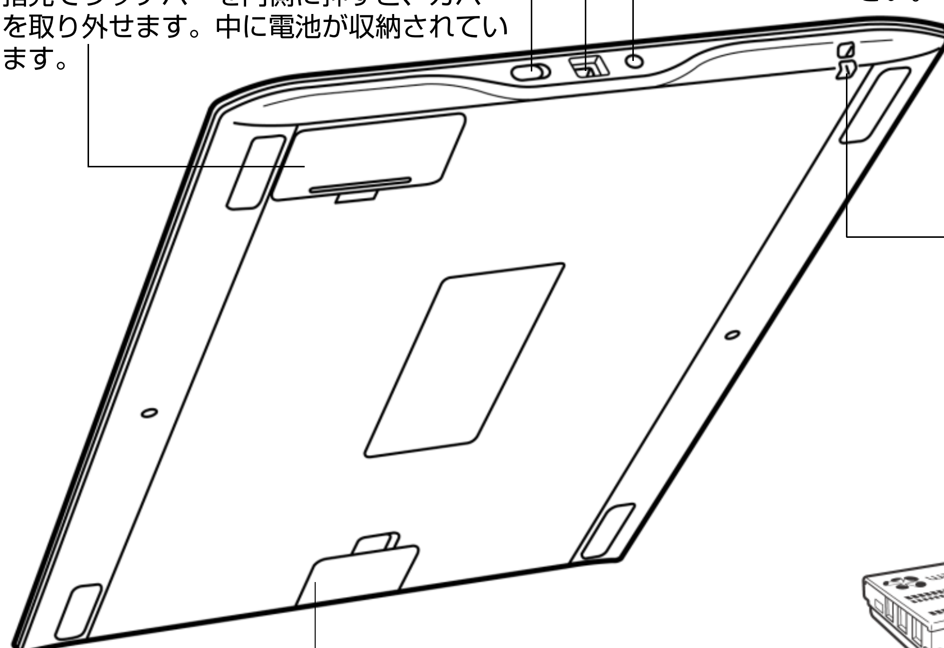
充電とデータ通信ができます。

ペアリングボタン

Bluetooth 通信を確立するをご覧ください。

電池収納部

指先でラッチバーを内側に押すと、カバーを取り外せます。中に電池が収納されています。

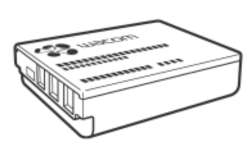


ケーブル取り付け穴

市販のセキュリティーケーブルなどを取り付けられます。

ペンホルダー取り付け位置

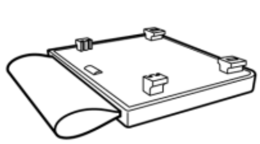
付属のペンホルダーの取り付けや取り外しが簡単にできるようになっています。



充電式リチウムイオン電池

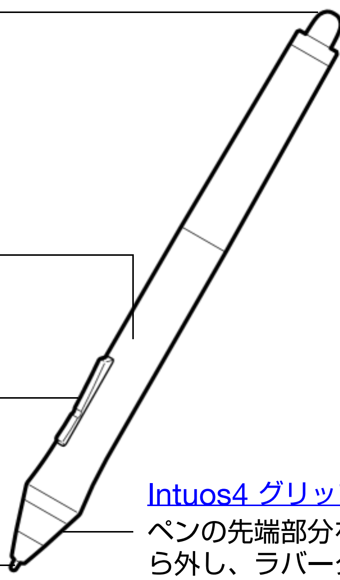
工場出荷時には本体にセットされています。起動する場合は電池の起動、充電する場合は電池の充電をご覧ください。

ペンホルダータブレットに取り付けて使います。



Intuos4 ペン

Intuos4 ペンはコードレスで、電池は不要です。



[テールスイッチ](#)
（消しゴム）

グリップ部

[サイドスイッチ](#)
（取り外しできます）

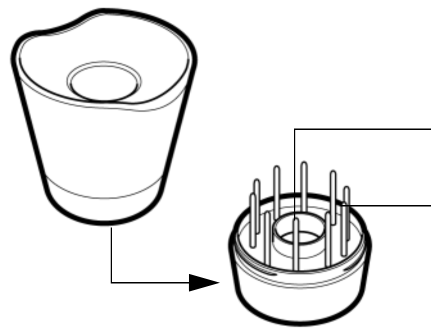
[芯](#)
（交換可能）

[Intuos4 グリップペン](#)
ペンの先端部分を回して軸から外し、ラバーグリップとの間のリングを他の色のリング（付属）に取り替えることができます。ペンを個別に識別できるようになります。



ペンスタンド

ペンスタンドの下部を回して外し、芯抜きと替え芯を取り出すことができます。



芯抜き

交換用の芯

- 標準芯（5 本、黒色）
- ハードフェルト芯（3 本、グレー）
- エラストマー芯（1 本、中心が白色、外縁が黒色）
- ストローク芯（1 本、白色、バネ付き）

その他のペンやマウス、オプション品の情報については[部品と付属品の注文](#)をご覧ください。

電池および電源管理

このセクションでは、Intuos4 Wireless の電池および電源管理の機能に関する重要な情報を記載しています。必ず以下の項目をご覧ください。

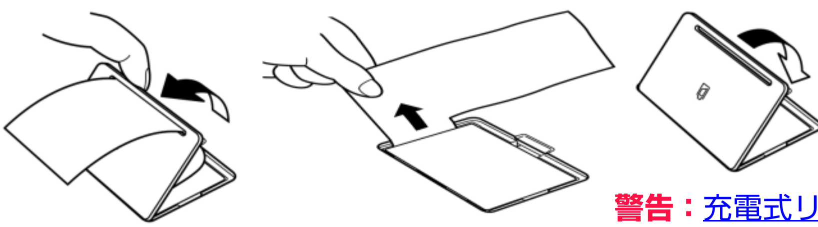
[電池の起動](#)
[電池の充電](#)
[省電力機能](#)
[充電状態ランプおよびワイヤレス通信ランプ](#)

タブレットの詳細な使い方については、[タブレットを使う](#)もご覧ください。

電池の起動

お買い上げ時 Intuos4 Wireless には充電式リチウムイオン電池がセットされています。
Intuos4 Wireless を使用する前に、まず電池から絶縁シートを抜き取り、充電してください。

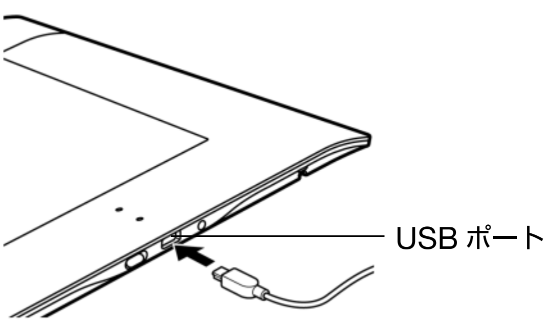
1. タブレットの裏側の電池カバーを開きます。指先でラッチバーを内側に押し、カバーを外側に開いて取り外します。
2. 電池を所定の位置から動かさず、ゆっくりとタグを引き、電池と接触端子の間から抜き取ります。タグは廃棄してください。
3. 電池カバーを閉じます。続いて電池の充電に進んでください。



警告：充電式リチウムイオン電池の安全上の注意をご覧ください。

電池の充電

Intuos4 Wireless をワイヤレスモードでご使用になる前に、Intuos4 Wireless の電池を十分に充電しておきます。充電は、USB 接続ケーブルの小さい端子を Intuos4 Wireless の USB ポートに接続し、大きい端子をコンピュータの USB ポートに接続して行います。



USB 接続ケーブルは、電池の充電、および IIntuos4 Wireless を USB タブレットとして操作する時に使用します。
USB 接続ケーブルが接続されている場合、電池は常に充電中です。電池残量が不十分な場合には、USB 接続して使用してください。

補足：Intuos4 Wireless に USB 接続ケーブルが接続されている場合には、Bluetooth アンテナおよび Intuos4 Wireless との Bluetooth 接続は自動的にオフになります。

ヒント：

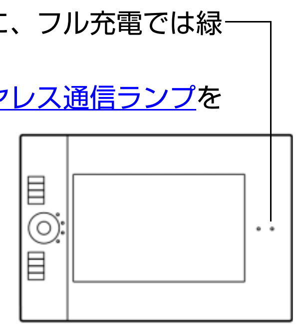
電池の充電中でもタブレットドライバをインストールしたり、USBを通してIntuos4 Wireless を操作することができます。充電時間は、電源がオフの場合は約 5 時間、タブレットを使用している場合は最大約 6 時間かかります。(電池残量 0 の状態からフル充電にした場合) 実際の充電時間は、電池の残量および充電中のタブレットの使用状況により変わります。

充電中にタブレットを使用する場合、ファンクションディスプレイをオフにすると、充電時間を短縮できます。

ファンクションディスプレイのオン／オフに関する情報は、オプション設定をご覧ください。

充電状態ランプは、充電中は黄色に、フル充電では緑色に点灯します。

詳細は充電状態ランプおよびワイヤレス通信ランプをご覧ください。



充電の状態を確認する場合は、コントロールパネルを開き、コントロールパネルの「タブレット」リストのタブレットアイコンを確認します。詳細はタブレットのプロパティの使い方をご覧ください。

- 電池の使用時間を最大にするには、ファンクションディスプレイをオフにすることをお勧めいたします（オプション設定をご覧ください）。
- 作業が終了したら、電池を節約するために、タブレットの電源スイッチをオフにします。
- 電源スイッチがオンの場合、タブレットにはいつでも電池から電流が流れています。オートスリープやタブレットのオートシャットダウンモードの場合でも、電池からは電流が放電されています。タブレットを数日間使用しない場合は、あらかじめ電池を充電し、タブレットの電源スイッチをオフにしておくことをお勧めします。
- 電池の残量が少ない状態で、電源スイッチがオンのまま電池が長期間（1 週間以上）タブレット内にあると、電池から少量の電流が流れ、電池が放電しやすくなります。この場合、電池の内部保護回路が作動し、電池を充電することができなくなります。電池の寿命を長くするために、１週間以上タブレットを使用しない場合は、タブレットの電源をオフにしてください。
- 長期間（1 カ月以上）使用しない場合は、電源をオフにする前に、半分以上電池を充電することをお勧めします。この場合には電池を取り外す必要はありません。電源をオフにすることで、電池がタブレットの回路から遮断され、放電することがなくなります。
- 電池を充電できなくなった、または十分に充電してもすぐに消耗してしまう場合には、電池を交換してください。
  詳細はタブレットの電池交換をご覧ください。

警告：充電式リチウムイオン電池の安全上の注意をご覧ください。

省電力機能

Intuos4 Wireless には、電池の電力を節約しつつ、性能を向上させるよう設計された多くの節電機能が搭載されています。

- **自動節電モード：**次のような場合に、タッチホイールのステータスランプおよびファンクションディスプレイへの電力供給を自動的に低減させます。

1 分間入力がない場合	ファンクションディスプレイやステータスランプの明るさを低減
2 分 30 秒入力がない場合	ファンクションディスプレイのステータスランプがオフになります ステータスランプの明るさを低減
入力中	明るさの設定レベルを元に戻す

- **オートスリープモード：**タブレットを使用していないときの電池を節電するため、30 分間ユーザの入力がなければ、タブレットは自動的にスリープモードになります。操作を再開するには、タッチホイール機能切り替えボタンを押すか、タブレットを再起動します。

  コンピュータの電源をオフにした場合や、タブレットがワイヤレス通信の範囲外に移動するなど、ワイヤレス通信が確立しない状態が 5 秒を超えた場合に、Intuos4 Wireless はスリープモードに切り替わります。操作を再開するには、コンピュータの Bluetooth 機能が動作し、タブレットがワイヤレス通信の範囲内であることを確認します。次に、タッチホイール機能切り替えボタンを押すか、タブレットを再起動します。

- **タブレットのオートシャットダウン：**電池の残量が少ない場合には、タブレットは自動的にシャットダウンします。タブレットのオートシャットダウンモードでは、タブレットは動作しません。直ちに電池を再充電するか、電源スイッチをオフにしてください。

重要：タブレットがオートシャットダウンモードの場合でも、電源スイッチがオンのままになっていると、電池から少量の電流が流れ続け、電池の故障の原因になることがあります。

タブレットのプロパティの使い方もご覧ください。

充電状態ランプおよびワイヤレス通信ランプ

充電状態ランプおよびワイヤレス通信ランプの状態を見て、タブレットの動作状態を確認します。

充電状態ランプ	タブレットと充電状態
緑色	電池残量：多い（35 ～ 100%）
赤色	電池残量：少ない（15 ～ 34%）
赤色の点滅	電池残量：極めて少ない（15% 未満） すぐに電池を充電する必要があります！
オフ	タブレットが手動または自動でオフにされている、あるいは電池残量がありません。また、以下の場合には、タブレットの電源がオフになることがあります。 • 電源スイッチをオフにする。 • ペアリングボタンを押した後、タブレットを 3 分以内にコンピュータと接続しなかった。 • 30 分以上入力がない。（タブレットはオートスリープモードに入ります。） • 5 秒以上ワイヤレス通信がない。 • 電池残量が操作不可能なレベルに低下し、USB 接続ケーブルでコンピュータとタブレットが接続されていない。 USB 接続ケーブルで、タブレットとコンピュータの USB ポートを接続します。ランプが点灯しない場合は、電池を交換します。タブレットの電池交換をご覧ください。 タブレットに充電済みの電池が入っている、またはコンピュータとタブレットが USB 接続ケーブルで接続されているにも関わらずタブレットの電源がひとりでに落ちる場合には、タブレットを再起動するか、またはタッチホイールの切り替えボタンを押します。
黄色	USB 接続ケーブルが接続されており、充電中であることを示します。フル充電になると、ランプは緑色に変わります。 **補足：**ランプが点灯しない場合、タブレットの電源スイッチをオンにしてみてください。

ワイヤレス通信ランプ	タブレット状態
オフ	タブレットとコンピュータ間で Bluetooth 通信されていません。
青色の点滅	Bluetooth 検出モード（ペアリングボタンを押した後またはタブレットの電源をオンにした後） タブレットはコンピュータとの接続またはペアリングを検出しています。Bluetooth 通信を確立するをご覧ください。
青色	タブレットは、Bluetooth ワイヤレスでコンピュータと接続しています。

ワイヤレス通信

Intuos4 Wireless タブレットは、Bluetooth ワイヤレスでコンピュータに接続されます。Bluetooth は高周波による無線技術であるため机のような非金属類も通過します。このため Bluetooth 機能を搭載したコンピュータの近くでタブレットを使う必要は必ずしもありません。

重要：Intuos4 Wireless タブレットはクラス 2 の Bluetooth 対応のデバイスです。コンピュータの Bluetooth アンテナから約 10 メートルの範囲で操作できます。

2.4 GHz 帯で動作する他のネットワークからの干渉や、お使いのコンピュータに接続された他の Bluetooth 対応デバイス（オーディオなど）、あるいは電波の通り道やその近くに置かれた金属類は、タブレットの動作不良や通信障害を引きおこす可能性があります。

もし、通信がうまくいかない場合は、Bluetooth 通信を最適化するをご覧ください。

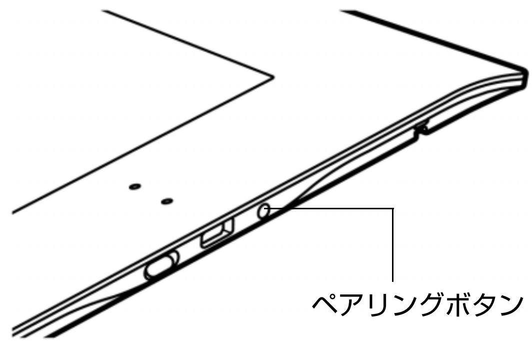
Bluetooth 通信を確立する
Bluetooth 通信を最適化する

Bluetooth 通信を確立する

タブレットを接続する前に、ヒューマンインタフェースデバイス（HID）プロファイルをサポートし、使用可能な Bluetooth 機能がお使いのコンピュータに装備されていることを確認します。Bluetooth 機能が内蔵されていない場合、市販の Bluetooth USB アダプタ（ドングル）を購入し接続してください。

Intuos4 Wireless とコンピュータが「初めて」互いを認識するプロセスをペアリングと呼びます。以下は概要です。Bluetooth が使用可能なデバイスとコンピュータ、および特定の Bluetooth 機器とのペアリングに関する詳細な説明については、お使いのオペレーティングシステムまたは Bluetooth 機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

1. コンピュータの電源をオンにし、システムが完全にロードされるまで待ちます。
2. タブレットの電源をオンにし、USB 接続ケーブルが使用可能な USB ポートに取り付けられていないことを確認します。タブレット側面のペアリングボタンを押して、タブレットを Bluetooth 検出モードにします。ワイヤレス通信ランプが青色に点滅します。
   - タブレットは 3 分間、あるいはコンピュータとのペアリングが確立されるまで Bluetooth 検出モードのままです。3 分以内にペアリングしない場合、タブレットの電源はオフになります。
   - タブレットは、タブレットが Bluetooth 検出モードになっている間のみ、コンピュータにペアリング (ワイヤレス接続) できます。
   - タブレットがペアリングできるコンピュータは、１度に１台だけです。



3. タブレットを Bluetooth 検出モードにした後、Bluetooth デバイスコントロールパネルを開くか、またはメニューバーかシステムトレイから Bluetooth アイコンを選択します。必要に応じて Bluetooth 機器を起動し、選択して新しいデバイスに追加します。一般的なオプションは、「Bluetooth デバイスの追加」または「デバイスの追加」のどちらかです。Macintosh のコントロールパネルでは、「+」アイコンをクリックして新しいデバイスを設定します。セットアップアシスタントの指示に従い作業してください。
   - 設定するデバイスのタイプを入力するよう表示された場合、「タブレット」（使用可能な場合）または「マウス」のどちらかを選択します。
   - 認証コードまたはパスキーを入力するよう表示された場合、「0000」を入力します。それ以外であれば、「使用しない」または「いいえ」を選択します。
   - コンピュータに正常にペアリングされると、Bluetooth デバイスのコントロールパネルに Intuos4 Wireless が接続済みデバイスとして表示され（デバイスリストには「PTK-540WL」と表示されます）、ワイヤレス通信ランプが青色に点灯します。
   - コントロールパネルにタブレットが一覧表示されない場合、セットアップアシスタントをリフレッシュするか、またはデバイスの追加をやり直し、再びペアリングボタンを押してください。
4. Bluetooth のデバイスコントロールパネルを閉じます。タブレット上でペンを使ってポインタを動かしてみて、接続状態を調べます。

タブレットドライバをコンピュータにインストールしていない場合は、インストールを行ってください。タブレットドライバ CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入し、「タブレットのインストール」をクリックし、手順に従ってタブレットドライバをインストールします。

重要：タブレットの全機能およびペンの筆圧機能などをご使用になる前に、必ずタブレットドライバを、コンピュータにインストールしてください。

タブレットとコンピュータのペアリングを行うと、タブレットは接続したコンピュータを記憶するため、それ以外のコンピュータとの接続はできなくなります。

- コンピュータを起動するときは、オペレーティングシステムのロードが完了してからタブレットの電源スイッチをオンにします。タブレットとお使いのコンピュータは相互に記憶し、Bluetooth 通信は自動的に再確立されます。
- リンクが 5 秒以上中断された場合（例：コンピュータをシャットダウンする、Bluetooth USB アダプタ（ドングル）のプラグを抜く、Bluetooth 機器の電源を切る、またはタブレットをコンピュータから離しすぎたなどの場合）、タブレットはスリープモードに切り換わります。通信を再開するには、タッチホイールの切り替えボタンを押すか、タブレットをの電源を一度オフにし、再度オンにします。

タブレット、またはタブレットと接続しているコンピュータから、タブレットとコンピュータ間のペアリングを切断できます。ペアリングが切断されると、タブレットは再び Bluetooth 使用可能なコンピュータによって検出可能になります。

タブレットをコンピュータから取り外す場合：

- **タブレットから切断する：**タブレット側面のペアリングボタンを押します。ワイヤレスタブレット切断メッセージがコンピュータに送信されます。
- **コンピュータから切断する：**デバイスコントロールパネルを開き、タブレットのペアリングを削除します。

重要：ワイヤレスデバイスの使用は、国によって規制が設けられています。ワイヤレスタブレットを持って旅行する場合には、渡航先の国で製品に適用される制限について、必ず関係規制当局にご確認ください。

ワイヤレス信号を使用する製品は、民間飛行機の機器を妨害することがあり、規則により、飛行機内すべてのワイヤレスデバイスの電源を切るよう要求されます。機内に持ち込む場合、Intuos4 Wireless タブレットの電源スイッチをオフ（充電状態ランプは消灯します）にして、ワイヤレス信号もオフにしてください。特に離発着、飛行時には**決して電源スイッチをオンにしないでください。**

極めて高い信頼性が要求される場所や、ワイヤレスタブレットがその他の電子機器を妨害または誤作動の原因になる恐れのある、施設管理システムやその他の環境では Intuos4 Wireless は決してお使いにならないでください。使用が禁止されている場合には、タブレットの電源を切り（ワイヤレス信号が切ってあることを確認）、その他の電子機器を妨害またはその電子機器の誤作動の原因になる可能性を防止します。弊社は直接的または間接的損害に対しての責任を一切負わないものとします。詳細については、本書の巻末の保証をご覧ください。

Bluetooth 通信を最適化する

ポインタがタブレット上のペンの動きに遅れたり頻繁に「跳ね」回る場合や、グラフィックソフトウェアで描画している時に極端にまっすぐな線が表示される場合には、Bluetooth 機能が最適な速度でタブレットからすべてのデータを送信できていない可能性があります。これは、その他の電波発生源からの妨害、電波経路にある障害物、またコンピュータから離れすぎているなど複数の理由が考えられます。

以下の対策を行って Bluetooth の通信を向上させ、タブレットの機能を最適化してください。

- Intuos4 Wireless と Bluetooth のアンテナまたはアダプタの電波経路上にある金属類を取り除く。
- USB 接続の Bluetooth アダプタ（ドングル）を使用している場合、アダプタを差したコンピュータを机の上または Intuos4 Wireless の近くに置く。
- Bluetooth v2.1 に適合し、EDR（高速データレート）プロトコルに対応する Bluetooth 機器を使用する。詳細については、お使いの Bluetooth 機器のメーカーにお問い合わせください。
- クラス 1 の Bluetooth アダプタ（ドングル）を使用する。
- Bluetooth 機能内蔵のコンピュータをお使いの場合、コンピュータの向きを最適な方向に変更する。
- タブレットをコンピュータの Bluetooth のアンテナに近づける。
- コンピュータに接続されているヘッドホンなど Bluetooth 機能内蔵のオーディオ装置を取り外す。
- WiFi ネットワーク、携帯電話など 2.4 GHz 無線周波数で動作するその他のデバイスの電源を切るか、コンピュータから遠ざける。

USB 接続での通信

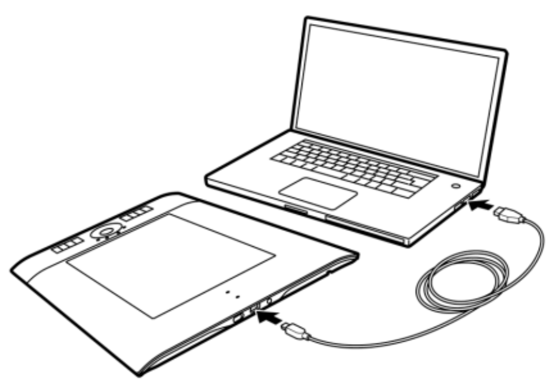
Bluetooth に対応していないコンピュータで Intuos4 Wireless を使用する場合、またワイヤレス通信が禁止されている状況（飛行機内など）で Intuos4 Wireless を使用する場合は、Intuos4 Wireless を有線通信で使用することができます。

USB 接続ケーブルの小さい端子をタブレットの USB ポートに接続し、大きい端子をコンピュータの USB ポートに接続します。タブレットの電源スイッチをオンにします。

コンピュータに接続すると、タブレットのすべての機能をお使いになることができます。タブレットの電池はケーブルを通して充電されます。

補足：USB 接続ケーブルでコンピュータとタブレットが接続されているときは、Bluetooth のアンテナとタブレットとの Bluetooth 接続は、自動的に切断されます。

必ず Intuos4 Wireless に付属の USB 接続ケーブルをお使いください。



お使いになる前に

このセクションには、タブレットを快適に使用し、ユーザとタブレットがコンピュータとやりとりする方法をさらによく理解する上で役立つ情報が記載されています。

正しい姿勢

疲労が軽減するように、作業環境を整えて楽に作業できるようにしてください。タブレット、入力デバイス、キーボードを手の届きやすい場所に配置してください。目を疲れさせずに、楽に見ることができるような場所へディスプレイを置いてください。画面のポインタがタブレット上の手の動きと同じ方向へ移動するようにタブレットを置いてください。



- 作業の合間に休憩をとり、筋肉を伸ばしたり、リラックスさせてください。
- ペンやマウスを持つときはなるべく力を抜いてください。
- 1日のうちで性質の異なる作業を入れ替えて行い、入力デバイスも持ち替えてください。
- 不快感を伴う不自然な姿勢や、反復動作を控えてください。
- 作業姿勢に不快感を感じたら、姿勢を変えてください。
- 右手で使う場合は、操作エリアがファンクションキーの右側に来るようにタブレットを置いてください。タブレットを通常のマウスの代わりに使う場合は、キーボードの右に置くことをおすすめします。
- 左手で使う場合は、操作エリアがファンクションキーの左側に来るようにタブレットを置いてください。詳細については、タブレットの向きを設定する をご覧ください。タブレットを通常のマウスの代わりに使う場合は、キーボードの左に置くことをおすすめします。
- タブレットで絵を描いたり、写真を加工したりする場合は、タブレットをキーボードの手前、ディスプレイに対して中央に置くことをおすすめします。

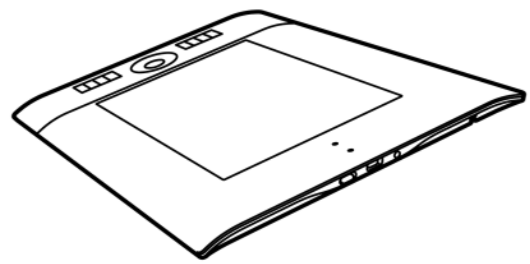
RSI に関しての補足：Intuos4 Wireless が原因と思われる反復性ストレスの徴候、障害、あるいは症状についての治療や予防の説明、約束、保証はいたしかねます。必ず医師の診断を受け、適切な処置をとるようにしてください。

タブレットの向きを設定する

ペンを持った利き手で操作中「ファンクションキー」を不意に押さないように、「ファンクションキー」を利き手と反対側に配置することをお勧めします。次のように、Intuos4 Wireless を右利き用または左利き用に設定してください。標準設定としてのタブレットの向きを変えたい場合は、タブレットドライバ CD-ROM からタブレットドライバを再インストールしてください。

次のようにしてタブレットの向きを変更することもできます。ただし初期設定での向きは変わりません。

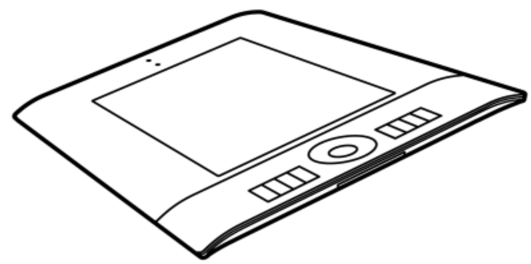
タブレットを右利き用に設定する



コントロールパネルを開いて、「マッピング」タブを選択します。「タブレットの向き」オプションを「ファンクションキーを左側」に設定します。タブレットの設定（ワコムタブレットのコントロールパネルオプションも含みます）が、タブレットドライバにより自動的に右利き用に調整されます。

次に、タブレットを回転させて、タッチホイールが左側に配置されるようにします。

タブレットを左利き用に設定する



コントロールパネルを開いて、「マッピング」タブを選択します。「タブレットの向き」オプションを「ファンクションキーを右側」に設定します。タブレットの設定（ワコムタブレットのコントロールパネルオプションも含みます）が、タブレットドライバにより自動的に左利き用に調整されます。

次に、タブレットを回転させて、タッチホイールが右側に配置されるようにします。

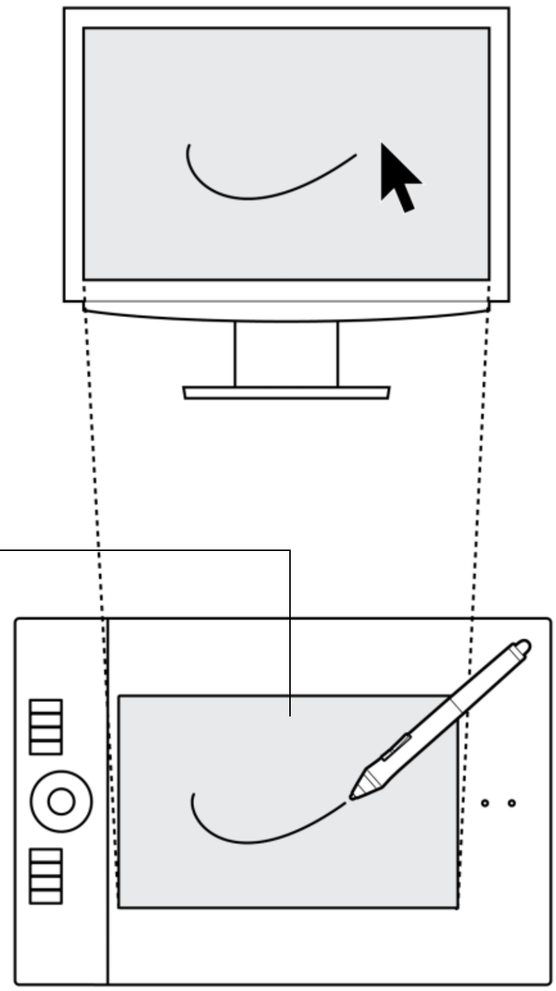
タブレットの操作エリアについて

お使いの Intous4 ペンおよびその他の入力デバイスは、タブレットの操作エリアでのみ使うことができます。

タブレットにペンを置くと、ポインタは画面の対応する場所にジャンプします。画面のポインタはペンの位置を示し、タブレット操作面のペンの動作に従います。これがペンの標準設定です。

「ペン入力のしかた」をご覧ください。

補足：ペン入力に対応したタブレットにおいては、操作エリアはコンピュータ画面の表示域に割り当てられます。標準設定では、画面全体、またはディスプレイが複数ある場合はすべてのディスプレイに割り当てられています。タブレット操作エリアとディスプレイのマッピングを設定するには、「タブレットの座標検出」をご覧ください。



操作エリア

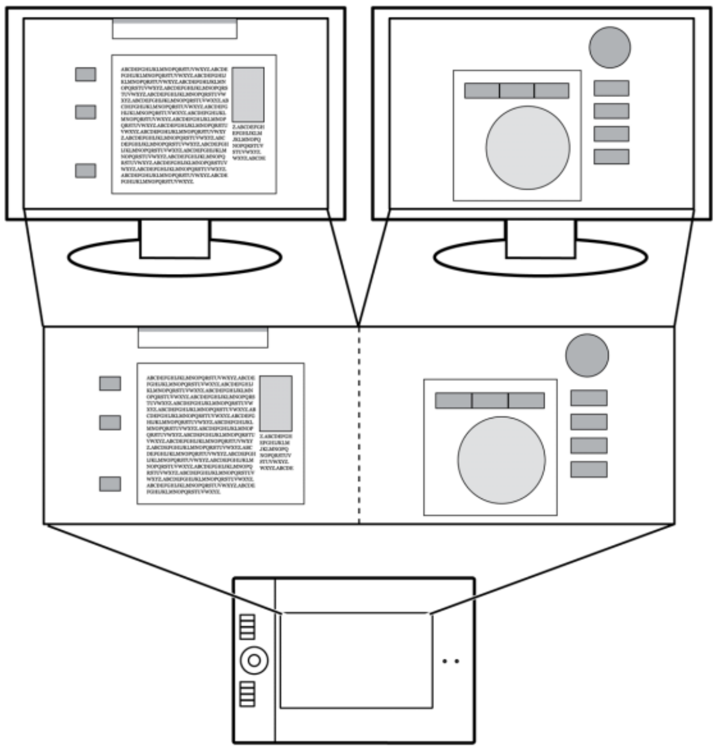
ペン入力を検出するタブレットの操作面の領域を指します。

Intuos4 Wireless の入力デバイスは、タブレットの操作エリアでのみ動作します。

マルチディスプレイへのマッピング

お使いのコンピュータに複数のディスプレイが接続されている場合、Intuos4 Wireless は、「画面のプロパティ」ダイアログのディスプレイ設定に基づいて、ディスプレイをマッピングします。

- 複数のディスプレイが設定されていて、拡張ディスプレイモードをお使いの場合、すべてのディスプレイを 1 つの大きなディスプレイと見なし、タブレットはその全体に割り当てられます。2 台のディスプライを拡張ディスプレイモードで使用する場合、デスクトップ表示は下の図のようになります。



- ミラーモードをお使いの場合、タブレットは各ディスプレイのスペース全体に割り当てられます。ポインタは各ディスプレイに同時に表示されます。

複数ディスプレイでのご利用について、コンピュータとオペレーティングシステムの設定に関する詳細については、コンピュータ本体とオペレーティングシステムの取扱説明書をご覧ください。

複数ディスプレイでのご利用のために、コンピュータを正しく設定したあと、コントロールパネルを開いて、適切なオプションを設定することによりタブレットのマッピングを調整できます。たとえば、 1 つのディスプレイまたは画面の一部のみにマッピングすることもできます。

ヒント：システムが複数のディスプレイで構成されている場合、「マッピング画面切り替え」機能をファンクションキーに割り当てます。これにより、システムデスクトップまたはプライマリディスプレイと他のディスプレイ間で、タブレットのマッピングとポインタを交互に切り替えることができます。マッピング画面切り替えを使うをご覧ください。

Intuos4 Wireless タブレットを使う

初めてタブレットと入力デバイスをお使いになる場合、次の章をお読みください。

ペンを使う
タブレットを使う

ペンを使う

ペンはコードレス、電池レスで、筆圧を感知します。ペンの基本的な使い方は、ポインタの移動、クリック、ダブルクリック、ドラッグの４つです。ペンを使うことに慣れていない場合は、次のページからの練習を行ってください。

ペンの持ち方
ポインタの移動
クリック
ドラッグ
サイドスイッチを使う
筆圧を使って描画する
ペンを傾けて描画する
消しゴム
画面を見ながらペンを使う

ペンの持ち方

鉛筆やボールペンと同じようにお持ちください。サイドスイッチが、親指、または人差し指で押せるような位置にあることを確認してください。ペンで線を引いたり位置を決めたりするときに誤ってサイドスイッチを押さないようにしてください。最も描きやすい角度にペンを傾けてご使用ください。

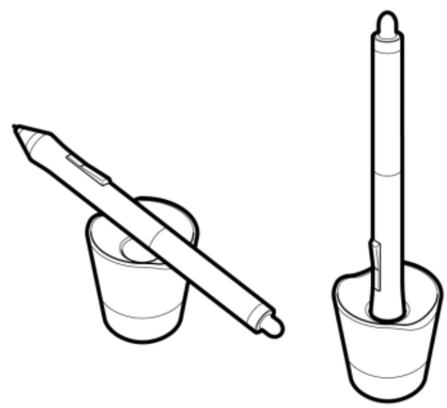


ペンの持ち方



テールスイッチ（消しゴム）の使い方

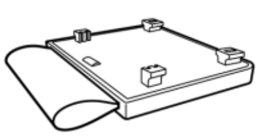
タブレットからすぐ手の届くところにペンスタンドを置いてください。ペンスタンドには、ペンを立てるか横にして置いておくことができます。



重要：Intuos4 ペンを使用しない場合、ペンスタンドに置くか机の上にペンを寝かせてください。ペンの筆圧感度を保つためには、ペン先や消しゴムが押されてしまうような入れ物でペンを保管しないでください。ペン先やテールスイッチ（消しゴム）が押された状態でペンを収納すると、故障する場合があります。

Intuos4 入力デバイスをタブレット上に置いたままにすると、通常のマウスなどを使用する際、画面上のポインタの位置決めができなくなる場合があります。また、コンピュータがスリープしなくなる場合があります。

また、タブレットのスイッチを切らずペンをタブレット上に置いたままにすると、タブレットの電池が消耗する原因になります。

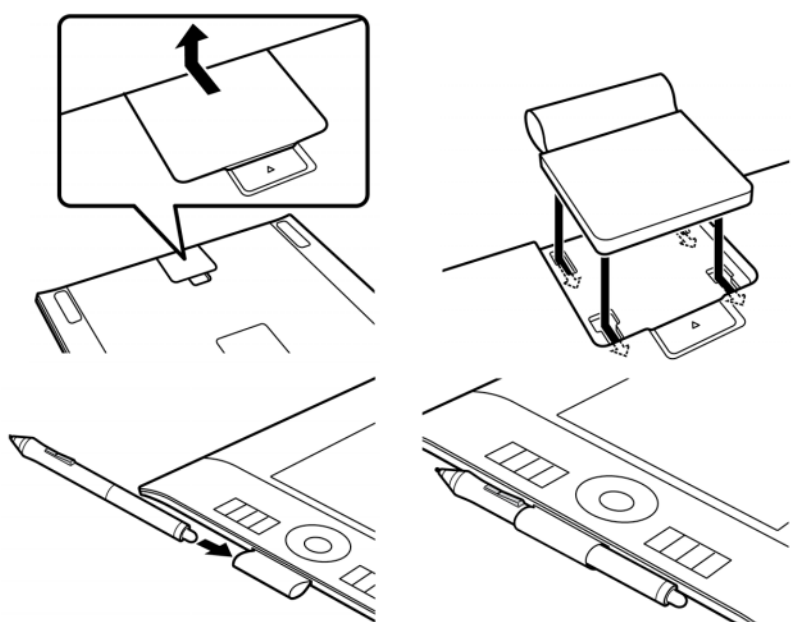


タブレットには着脱可能なペンホルダーも付属しています。ペンホルダーは、ペンスタンドを置く場所がない場合に便利なアクセサリです。ペンホルダーを使って、グリップペンやオプションのエアブラシをしっかり保持することができます。

オプションのペンホルダーを取り付ける：

- ペンホルダー取付部のカバーをタブレットから取り外します。
- ペンホルダーをペンホルダー取付部にはめ込んで取り付けます。ペンはホルダーの輪に通します。

ペンホルダーは、簡単にタブレットから取り外せます。ペンホルダーを外したら、タブレットを保護するために、ペンホルダー取付部には元通りカバーを取り付けてください。

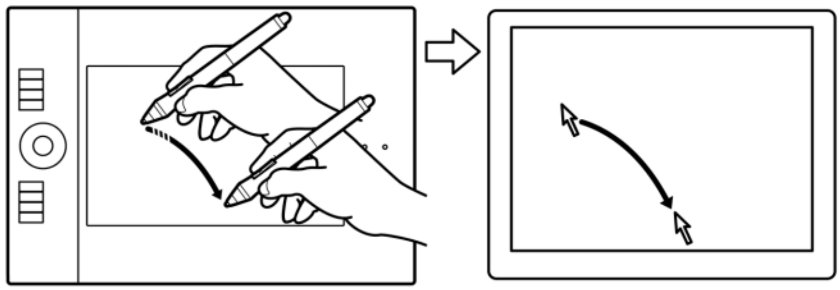


ポインタの移動

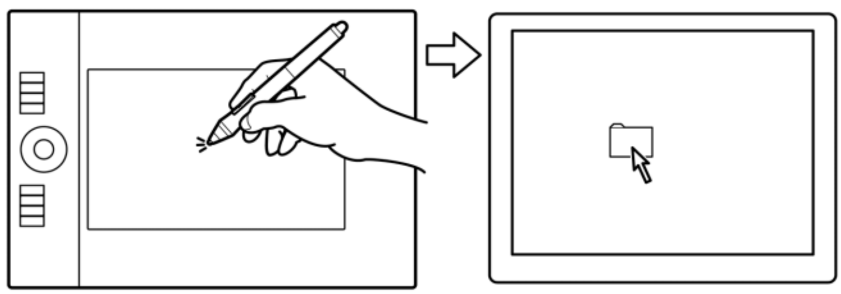
画面にカーソル（またはポインタ）を置きます。

ペンを持ち上げてペン先をタブレットの操作エリアに置きます。ポインタが新しい場所へジャンプします。

タブレット面でペンを動かして、画面のポインタを移動させます。タブレットの表面に触れずにペン先をタブレットの読み取り高さに保ちながら行ってみてください。



アイコンやフォルダを選択するには、ペンで画面のポインタをそのオブジェクトまで移動させ、ペンを押して選択します。

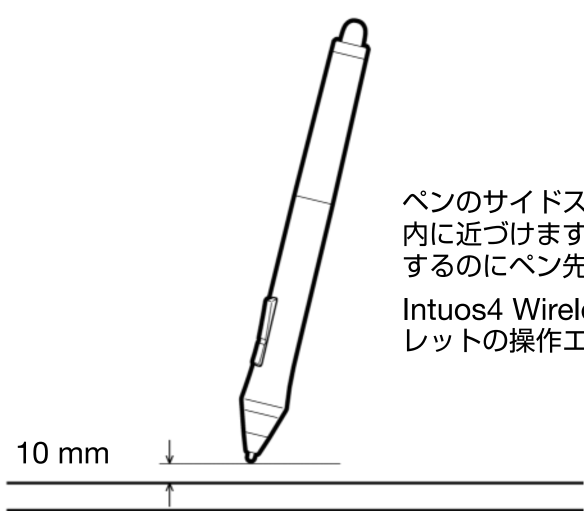


ヒント：ペンの操作に少し違和感がある場合は、画面を見ながらペンを使うを参照してください。

画面のポインタが、タブレット上の手の動きと同じ方向へ移動するように、ディスプレイの向きに合わせてタブレットを置くと、ポインタを簡単に操作できるようになります。

画面上のポインタの動きかたには、以下の 2 つの設定があります（タブレットの座標検出を参照してください）。

- ペンモードでは、タブレット面にペン先を置くと、画面のポインタが対応する位置に移動します。ポインタはペン先の位置を示し、ペン先の動きに合わせて移動します。これは Intuos4 ペンの標準設定です。



ペンのサイドスイッチを使う場合、ペン先をタブレット面から 10mm 以内に近づけます。画面のポインタを移動させたり、サイドスイッチを使用するのにペン先でタブレットに触れる必要はありません。

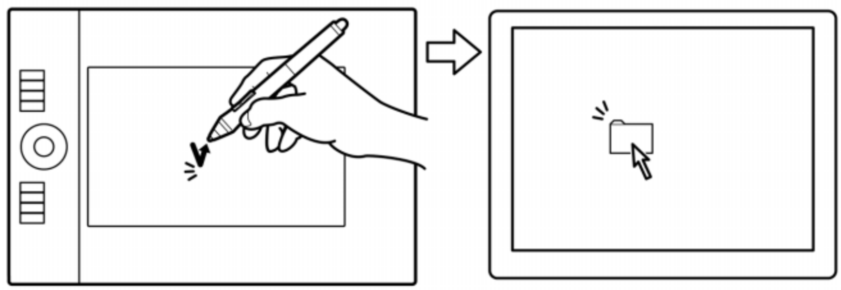
Intuos4 Wireless では、マウスを含むすべての入力デバイスは、タブレットの操作エリアでのみ動作します。

- マウスモードでは、通常のマウスのように、動いた方向と距離に応じてポインタが移動します。

クリック

画面上にあるものをハイライトさせたり、または選択する場合、クリックします。開くにはダブルクリックします。

クリック：クリックするには、タブレットを１度ペン先で軽くたたきます。または、強めにタブレットにペン先を押し当てます（ペン先のクリック音は聞こえません）。フォルダアイコン上に画面のポインタを移動させ、ペン先を押してアイコンをクリックしてみてください。フォルダアイコンを押すと、ハイライトされます。

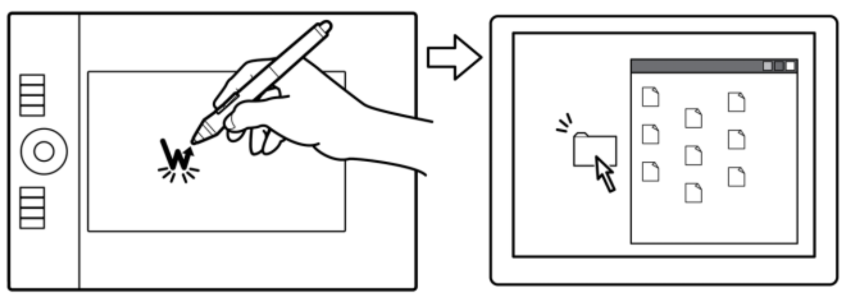


ヒント：ペンをアイコン上に移動した後、シングルクリックでアイコンを起動するように Windows を設定することができます。この機能を使用するには、フォルダを開いて、以下の設定を行なってください。

- **Windows 7 および Vista の場合：**「整理」プルダウンメニューから、「フォルダと検索のオプション ...」を選択します。「一般」タブで、「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。
- **Windows XP の場合：**任意のフォルダを開いて「ツール」メニューを選択し、プルダウンメニューから「フォルダオプション」を選択します。「全般」タブの「クリック方法」から「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。

ダブルクリック：ダブルクリックするには、ペン先で同じ場所を短く２回たたきます。マウスボタンで２回クリックするのと同じです。フォルダアイコンをダブルクリックして、開いてみてください。

ヒント：サイドスイッチの１つをダブルクリックに設定しておくと、ペン先で２回タブレットをたたくよりも簡単にダブルクリックすることができます。

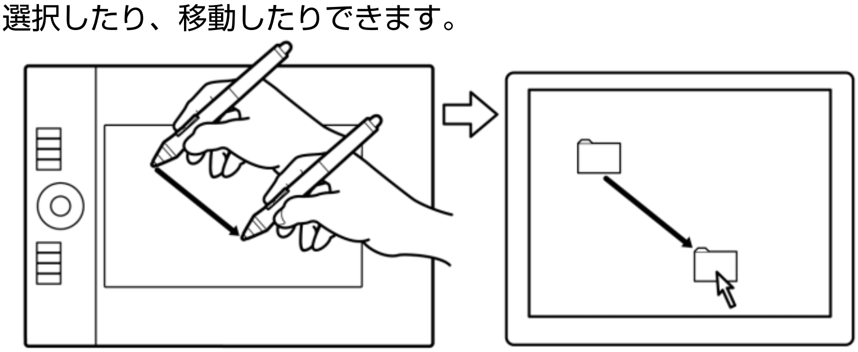


ドラッグ

ドラッグして、画面上のオブジェクトを選択したり、移動したりできます。

ペンで画面上のオブジェクトをドラッグするには、まずオブジェクトを選択します。次にペン先をタブレットに押し当てたままタブレット面の上を滑るように移動させます。選択したオブジェクトは、画面上を移動します。

テキストを選択するには、画面のポインタを行の開始位置に移動させます。次にタブレット上でペンをドラッグさせ、テキストをハイライトします。



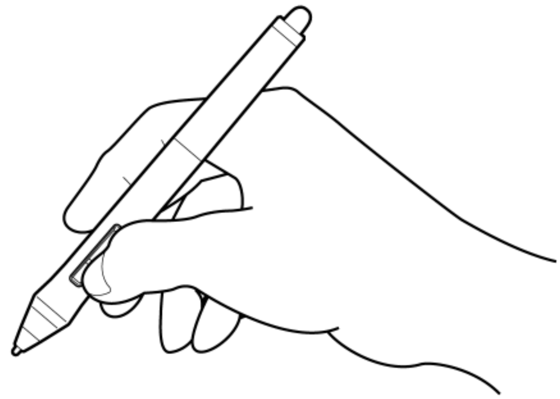
サイドスイッチを使う

Intuos4 グリップペンにはカスタマイズできる２種類の機能を備えたサイドスイッチが装備されています。スイッチをいずれかの方向に押して、機能を切り替えます。

補足：ペン先がタブレットの操作エリアから高さ 10mm 以内にある場合に、サイドスイッチを使用することができます。ペン先がタブレットに触れていなくても、サイドスイッチは使用できます。

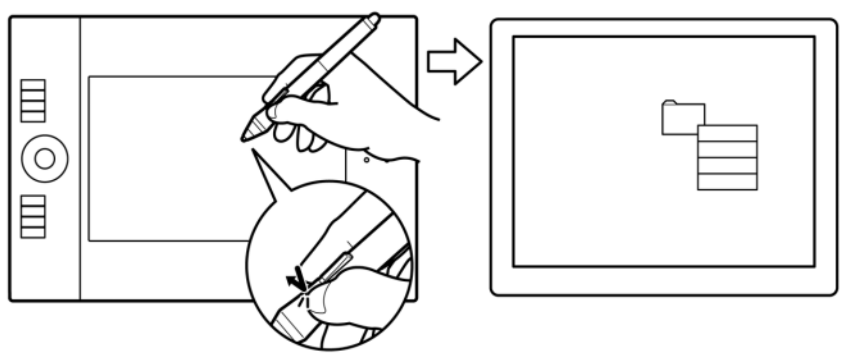
サイドスイッチの標準設定

上側：	「ダブルクリック」
下側：	「右ボタンクリック」



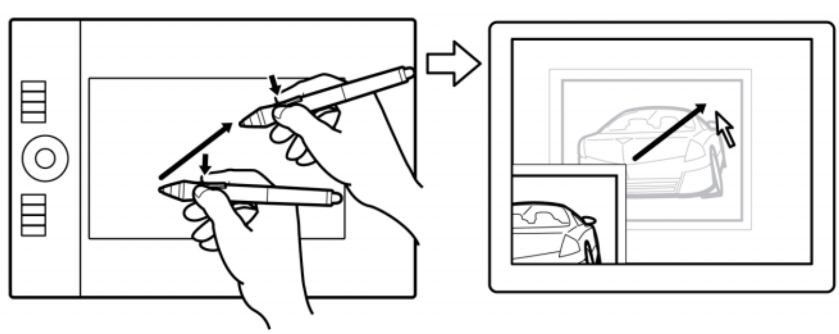
ダブルクリック：ダブルクリックするには、上側のサイドスイッチを押します。ペン先で２度タブレットの面をたたく方法よりも簡単に、ダブルクリック操作を行うことができます。

右クリック：特定のソフトウェア、または特定のアイコンのメニューを表示させるには、右クリックを使います。



サイドスイッチの機能設定：「スクロール / 移動」は、ペンのサイドスイッチを押しながら、ペン先をタブレットの操作エリアに押し当てて、ペンを移動させます。ウィンドウ内の書類または画像が任意の方向に移動します。タブレット上でのペンの動きに合わせて、ウィンドウ内の書類あるいは画像が移動します。ペンのサイドスイッチを放すか、またはタブレットからペン先を離すと、「スクロール / 移動」は終了します。

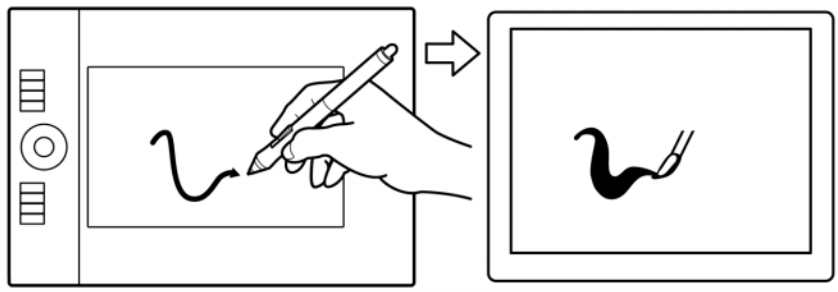
ソフトウェアによっては、ペン先の動きに対応する画面上のポインタと同じ方向に書類や画像が移動するだけの場合もあります。



新しいスイッチ機能を割り当てるには、サイドスイッチのカスタマイズをご覧ください。

筆圧を使って描画する

ペンは手の動きに応じて、ペンとブラシのストロークを作成できます。多くのグラフィックソフトウェアには、ペンに加えられた筆圧に反応する描画機能が備わっています。Microsoft Windows 7/Vista と Office 2007 のデジタルインク機能も筆圧に反応します。ソフトウェアによっては、スライダーで筆圧を調整することで、線をさまざまに特徴づけることができます（太さ、色、透明度など）。このような特徴はペンの筆圧機能でさらに調整できます。ペンに加える力で、線の太さ、色の混ぜ合わせ、透明度を変えられます。Microsoft Windows 7/Vista および Office 2007 以降のデジタルインクツールもペンにかかる筆圧に反応します。



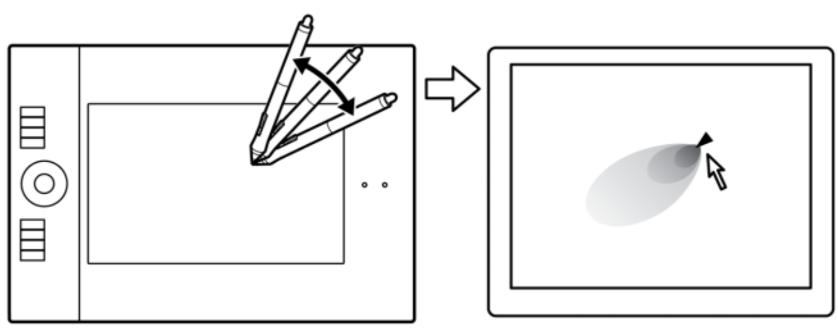
筆圧を使用して、絵や文字を書いたり、色を塗ったりするには、ペン先に加える力を変えながら、ペン先でタブレット面をなぞるようにしてペンを移動させます。線を太く、または色を濃くするには、強く押します。線を細く、または色を薄くするには、軽く押します。なお、ソフトウェアによっては最初にツールパレットから筆圧ツールを選択する必要があります。

ペン先の感触を調整するには、ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。

筆圧をサポートするグラフィックソフトウェアについては、ワコムのホームページをご覧ください。本書の製品情報もご覧ください。

ペンを傾けて描画する

ペンを垂直位置から傾けると、タブレットがこれを認識します。グラフィックソフトウェアのなかには、線の形や太さのコントロールに傾きを使用できるものがあります。これは、ペンを傾けた場合は線が太くなり、ペンを垂直にすると線が細くなるエアブラシと同じような機能です。ソフトウェアによっては、傾きを調整することで、ブラシの太さ、色、不透明度といった特性を決めることができます。



傾きをテストするには、傾きをサポートする Painter などのようなグラフィックソフトウェアで曲線を描いてみます。ソフトウェアの傾き認識機能が有効であることを確認し、次にブラシで線を描きながらペンの傾きを変えて、線の形や太さが変わることを確認します。

例として、Corel Painter でブラシの形を傾きに対応するように構成した場合、ペンを傾けることにより長く引き伸ばされたパターンが作成できます。これにより、塗面から角度が付いたエアブラシのスプレー効果をシミュレートすることができます。

使用するソフトウェアで、ペンの傾き加減を調整するには、傾き感度のカスタマイズをご覧ください。

傾きをサポートするソフトウェアについては、製品情報をご覧ください。

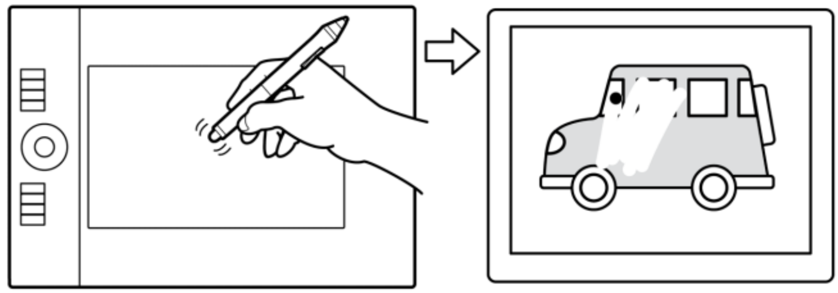
消しゴム

Intuos4 ペンのテールスイッチ（消しゴム）は、鉛筆の消しゴムのように働きます。

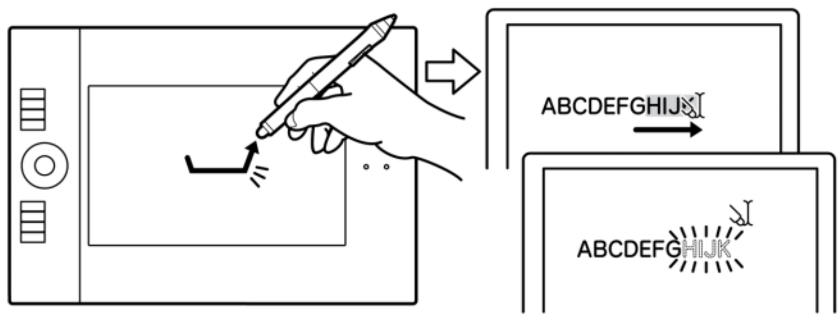
消しゴム機能をサポートするグラフィックソフトウェアでは、直感的に消すことができます。ペンのテールスイッチを使うと、自動的に消しゴムツールに切り替わります。

筆圧をサポートするソフトウェアで、ツールパレットから筆圧感度ツールを選択すると、ペンの筆圧変更と同様に、消す範囲の幅と強さを変化させることができます。

消しゴム機能の使用については、テールスイッチ（消しゴム）の感触を調整するをご覧ください。



Office 2007 またはそれ以降のバージョン、Windows 7/Vista のデジタルインクで書かれたメモやスケッチも、消しゴム機能で消すことができます。また、ソフトウェア内のテキストや表計算のセルの中のテキストを選択して消去することもできます。



消しゴム機能をサポートするグラフィックソフトウェアのリストについては、ワコムのホームページをご覧ください。消しゴム機能がサポートされていないソフトウェアでも、ポインタの移動や、線引き、アノテーション（書き込み）には、消しゴム機能を使うことができます。

画面を見ながらペンを使う

この練習は、ペンを使用するために、目と手の連動に慣れるために作られています。

1. グラフィックソフトウェアを開きます。直線ツールを使って 20 ～ 25mm の間隔で格子を描きます。通常のマウスを使ってもよいでしょう。
2. フリーハンドツールを選択して、格子の交点にペンで点を打ちます。
3. 格子の交点にペンで X 印をつけます。
4. 今度は、画面をクリアして好きな絵を描いてみてください。ペンを使うほどに、絵や字を書いたりポインタを操作することが楽になっていきます。

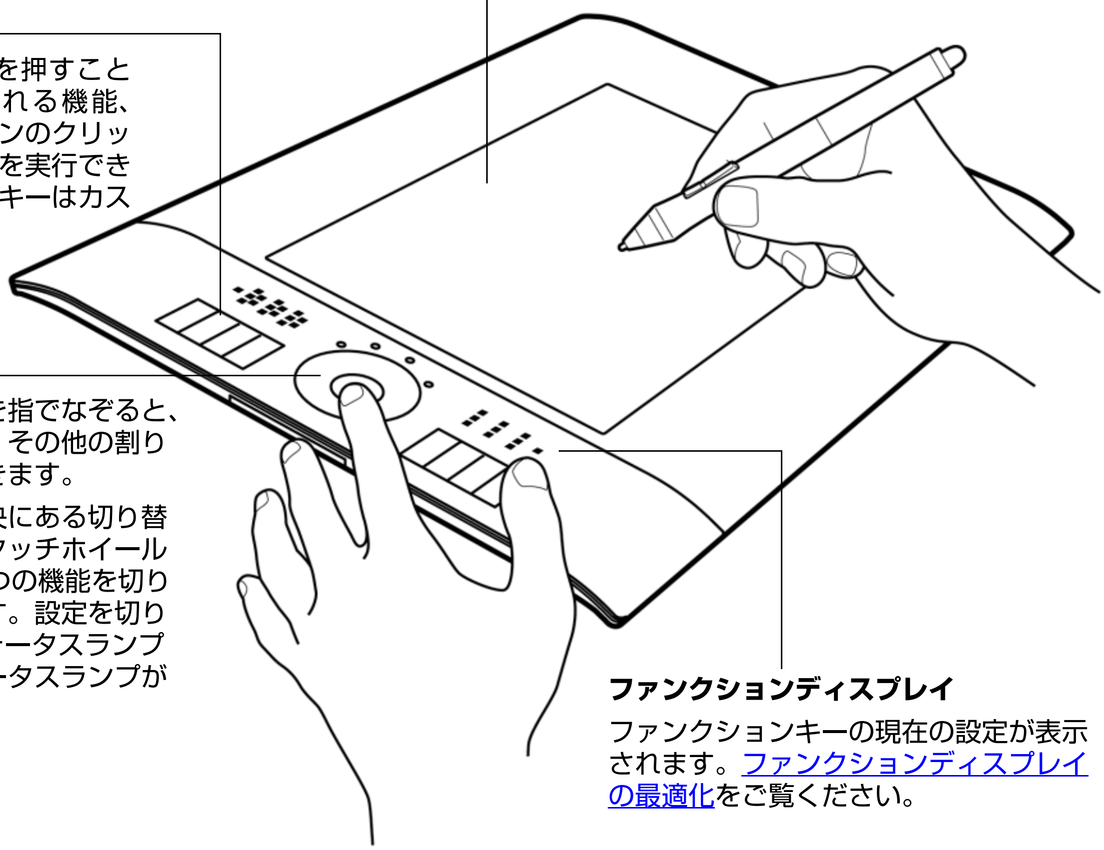
タブレットを使う

Intuos4 Wireless の中央部分が、ペンとマウスを使うことができる操作エリアです。タブレットの操作エリアにペンまたはマウスを置くと、ポインタが、画面上の対応するポイントに表示されます。使い方については、ペンを使うとタブレットを使う参照してください。

操作エリア

ファンクションキー

ファンクションキーを押すことによって、よく使われる機能、キーストローク、ボタンのクリック、修飾キー押下などを実行できます。ファンクションキーはカスタマイズが可能です。



タッチホイール

タッチホイールの上を指でなぞると、ズームやスクロール、その他の割り当てた機能を実行できます。

タッチホイールの中央にある切り替えボタンを押すと、タッチホイールに割り当てられた 4 つの機能を切り替えることができます。設定を切り替えると、4 つのステータスランプの内、対応するステータスランプが点灯します。

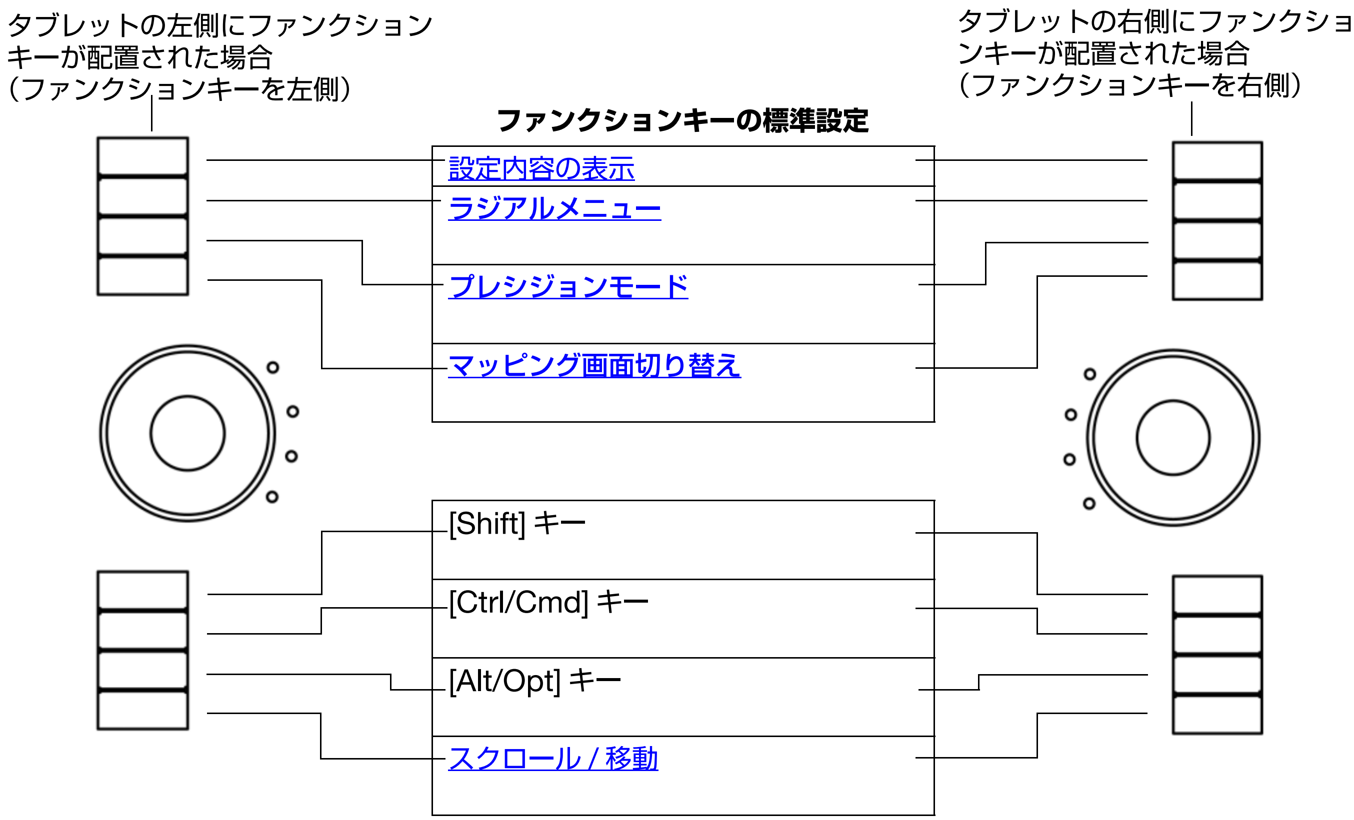
ファンクションディスプレイ

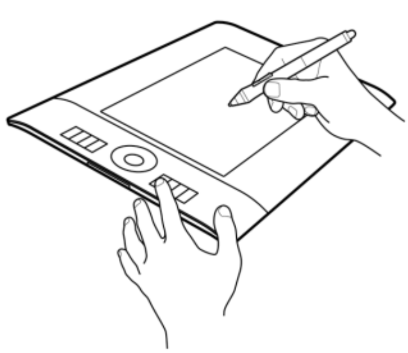
ファンクションキーの現在の設定が表示されます。ファンクションディスプレイの最適化をご覧ください。

タブレットの電源管理に関する詳細については、電池および電源管理をご覧ください。

ファンクションキーを使う

よく使われる機能やキーストロークは、機能を割り当てられたキーを押して実行します。作業時に、ファンクションキーを使って、ペンまたはその他の入力デバイスのプロパティを変更することもできます。ファンクションキーを組み合わせて操作することもできます。たとえばあるキーが CTRL キーの働きをし、別のキーが ALT キーストロークの働きをするように設定されている場合、両方のキーを同時に押すと CTRL+ALT の働きをします。

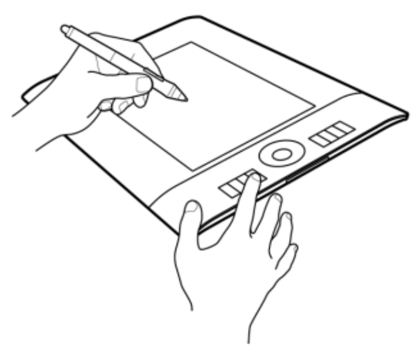




ファンクションディスプレイ

自動的に更新され、実行中のソフトウェアにおけるファンクションキーの設定が表示されます。ファンクションキーが無効の場合、そのキーに対しては何も表示されません。ファンクションディスプレイの最適化もご覧ください。

ファンクションキーの設定を変更するには、ファンクションディスプレイの最適化とファンクションキーのカスタマイズをご覧ください。



重要：ソフトウェアによっては、ファンクション機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細については、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

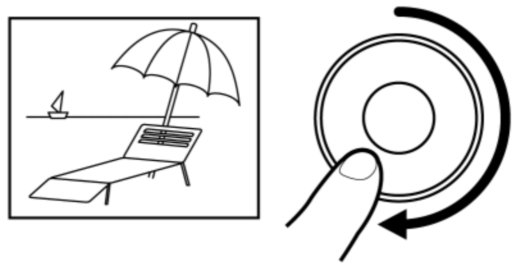
ヒント：Adobe Photoshop など多くのグラフィックソフトウェアのツールを使用中に Alt、Ctrl、Shift キーを押すと、ツールの変更や機能の追加などの機能拡張ができます。

タッチホイールを使う

タッチホイールを使って、表示中の文書や画像をスクロールしたり、拡大縮小したりすることができます。割り当てられたキーストローク機能を実行することもできます。

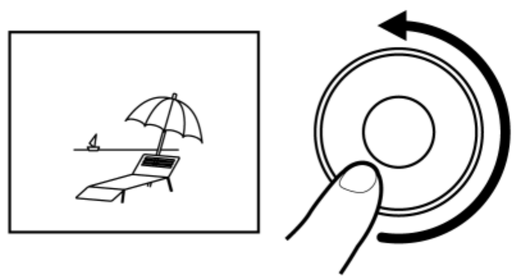
拡大の例

指でホイールを時計回りになぞると、多くのソフトウェアでは拡大、または下方向へスクロールが行えます。



縮小の例

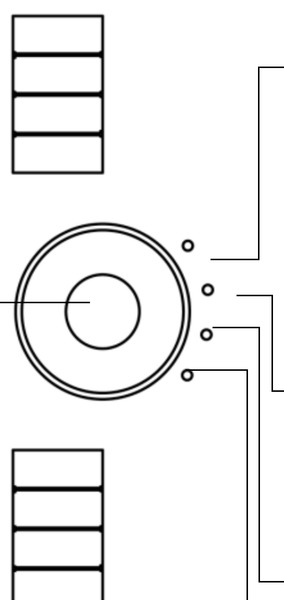
指でホイールを反時計回りになぞると、多くのソフトウェアでは縮小、または上方向へスクロールが行えます。



切り替えボタンを押すと、タッチホイールの 4 つの機能が切り替わります。

機能が切り替わると、対応するステータスランプが点灯します。機能が設定されていないランプは、飛ばして次に切り替わります。

タブレットがオートスリープモードに入った後に操作を再開するときは、切り替えボタンを押します。



タッチホイールの標準設定

設定 1：「オートスクロール / ズーム」

多くのグラフィックソフトウェアでズーム機能に、他のソフトウェアではスクロール機能に設定されます。

ページ単位のスクロールには、対応していません。

ソフトウェアのなかには、ズーム機能がスクロール機能とみなされスクロール機能が働いたり、あるいは全く働かない場合があります。同様に、スクロール機能がズーム機能とみなされたり、全く働かない場合もあります。

設定 2：「キーストローク、レイヤー切り替え」

Adobe Photoshopで、ファイルに複数のレイヤーがある場合、レイヤーウィンドウのレイヤーを上方向または下方向に切り替えることができます。円に沿って時計回りになぞると、上方向のレイヤーへと切り替わります。

設定 3：「キーストローク、ブラシサイズ」

Adobe Photoshop で、ブラシのサイズを大きくしたり小さくしたりできます。

設定 4：「キーストローク、カンバスの回転」

Adobe Photoshop で、画像全体を回転させたり反転させることができます (Adobe Photoshop CS4 またはそれ以降対応)。

タッチホイールの設定を変更するには、タッチホイールのカスタマイズをご覧ください。

重要：ソフトウェアによっては、タッチホイール機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細について は、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

Intuos4 Wireless をカスタマイズする

Intuos4 Wireless の基本的な使い方を習得したら、Intuos4 Wireless や入力デバイスの機能をカスタマイズします。この章では、コントロールパネルを使い、Intuos4 Wireless をカスタマイズする方法を説明します。

操作に慣れたユーザは、特定のソフトウェアに対する設定を作成することにより、Intuos4 Wireless を最適な状態でお使いいただくことができます。

コントロールパネルを開く

Intuos4 Wireless からコントロールパネルを開きます。

入力デバイスをカスタマイズする場合は、対象のペンまたはマウスを使って開きます。

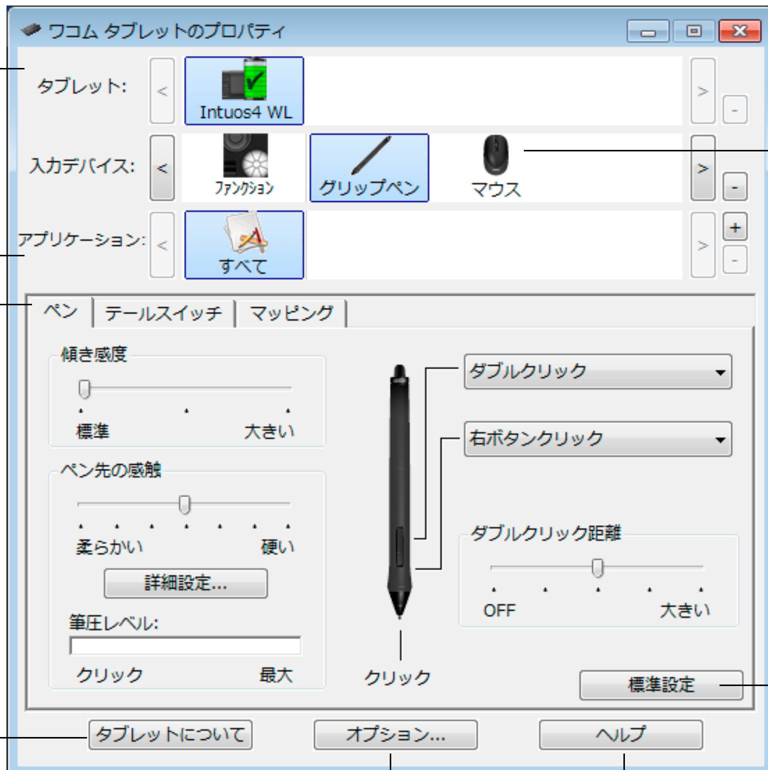
- **Windows：**Windows の「スタート」ボタンをクリックして、「すべてのプログラム」を選択します。次に「ワコム タブレット」→「ワコムタブレットのプロパティ」を選択します。
- **Macintosh：**「アップル」メニューあるいは「アプリケーション」フォルダから「システム環境設定」を開きます。「ワコムタブレット」アイコンをクリックします。コントロールパネルを開いて、Intuos4 Wireless のカスタマイズをはじめます。

補足：各ユーザごとに設定が行えます。ログインした後、各ユーザはコントロールパネルで個人の設定をカスタマイズすることができます。別のユーザに切り替えると、自動的にそのユーザの設定が読み込まれます。

コントロールパネル概要

コントロールパネルを使って、Intuos4 Wireless や入力デバイスをカスタマイズできます。

コントロールパネルの上方には、「タブレット」、「入力デバイス」、「アプリケーション」を表すアイコンが表示されます。



タブには、選択したペンやマウスに対してカスタマイズが可能な設定が表示されます。

マウスのカスタマイズ、マウスのカスタマイズ、タブレット機能のカスタマイズ、タブレットを画面にマッピングするをご覧ください。

タブレットとソフトウェアの情報を表示します。「診断」ダイアログボックスにアクセスするオプションも表示されます。

「オプション設定」ダイアログを表示します。

ファンクションキー、タッチホイール、ラジアルメニューの設定をカスタマイズするには「ファンクション」を選択します。

Intuos4 ペンの設定をカスタマイズするには「グリップペン」を選択します。

Intuos4 マウスの設定をカスタマイズするには「マウス」を選択します。

タブの設定を標準設定の状態に戻します。

オンラインマニュアル（本書）を表示します。

設定をいろいろと試して、最適な設定を見つけてください。変更はすぐに反映されます。標準設定の状態にタブを戻すには「標準設定」をクリックします。

ほとんどのコントロールパネルの項目で、項目の上に画面のポインタを静止させるとヒントがすぐにポップアップします。

キーボードのタブと矢印キーでコントロールパネルを操作することもできます。

コントロールパネルリストとタブ：コントロールパネルの「タブレット」、「入力デバイス」、「アプリケーション」リストから、目的のタブレット、入力デバイス、アプリケーション（ソフトウェア）を選択して設定を変更します。入力デバイスの設定を変更する場合は、カスタマイズしたいペンやマウスを使ってコントロールパネルを開きます。そのデバイスが自動的に「入力デバイス」リストで選択され、適切なタブが表示されます。入力デバイスが自動的に選択されない場合、「入力デバイス」リストから手動で選択してください。

別のデバイスに対する設定をカスタマイズする場合は、「入力デバイス」リストからアイコンをクリックして選択します（適切なタブが表示されます）。詳細についてはペンのカスタマイズ、マウスのカスタマイズ、タブレット機能のカスタマイズ をご覧ください。

「タブレット」リストには、現在、コンピュータに接続されていて、タブレットドライバがサポートしているタブレットのアイコンが表示されます。このリストの下に表示される設定はすべて、選択したタブレットに適用されます。

- コントロールパネルは、タブレットドライバに対応したタブレットがコンピュータに接続されないと表示されません。
- タブレットがコンピュータに接続されていないと、コントロールパネルリストからタブレットを削除することはできません

タブレットのプロパティの使い方もご覧ください。

「入力デバイス」リストには、「ファンクション」およびタブレットで使われているデバイスのアイコンが表示されます。複数のデバイスの使い方もご覧ください。

「アプリケーション」リストを使うと、特定のソフトウェアに対してのみ適用するペンやマウスの設定を定義できます。特定のソフトウェアに対する設定をご覧ください。

複数タブレットの設置とタブレットモードの変更もご覧ください。



現在、選択されているものがハイライトされます。

補足：コントロールパネルの「アプリケーション」リストは、操作に慣れたユーザ向けの機能です。

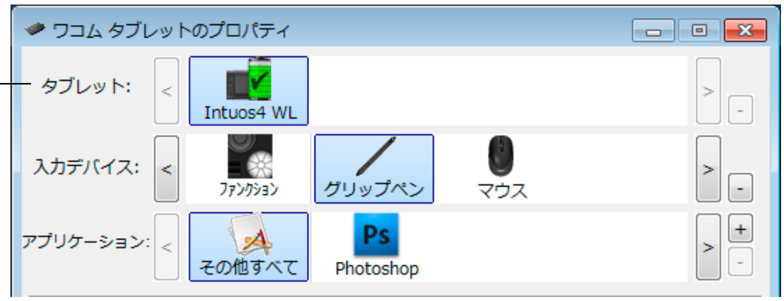
タブレットのプロパティの使い方

コントロールパネルでは、お使いのタブレットの電池残量を直接確認することができます。

「タブレット」リスト中のアイコンは、接続された各タブレットの電池残量を表示します。

- ステータスバーは、使用中のタブレットのおよその電池残量を示します。
- ステータスバーの警告記号が表示されたときは、使用中のタブレットの電池残量がほぼ空であることを示します。
- ステータスバーの稲妻マーク (電池のようなマーク) は、タブレットが USB 接続ケーブルを通して USB 給電で動作中であり、また内蔵電池が充電中であることを示します。
- ステータスバーの電源プラグ (電池のようなマーク) は、電池がフル充電であることと、タブレットが USB 給電で動作中であることを示しています。

以上は「タブレット」アイコンの基本的な見かたを説明しています。お使いのタブレットおよびオペレーティングシステムの実際の状態によっては、この他のパターンも表示されます。



Windows のシステムタスクバーまたは Macintosh のメニューバーに、ワコムアイコンも表示されます。

- ポインタをアイコン上に動かして、特定の詳細を確認できます。
- アイコンをクリックして、タブレットを操作するための様々なオプションにアクセスできます。
- **Windows** の場合、アイコンはタスクバーに表示されます。
- **Macintosh** の場合、アイコンはメニューバーに表示されます。

省電力機能およびタブレットモードの変更もご覧ください。

ペンのカスタマイズ

Intuos4 ペンを使用してコントロールパネルを開きます。ペンが「入力デバイス」リストで自動的に選択され、適切なタブが表示されます。ペンが自動的に選択されない場合、「入力デバイス」リストから選択します。タブを選択し、使用可能なオプションから選択します。

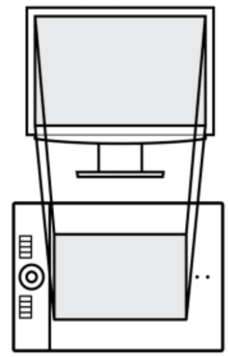


テールスイッチ（消しゴム）の感触を調整する

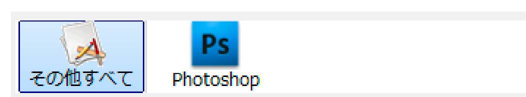
傾き感度のカスタマイズ

サイドスイッチのカスタマイズ

ペン先の感触とダブルクリックの調整



タブレットを画面にマッピングする

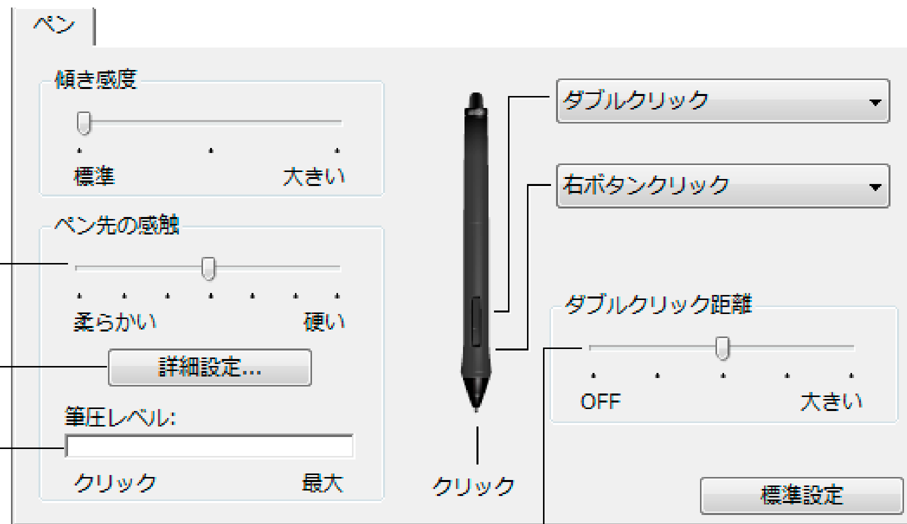


特定のソフトウェアに対する設定

ペン先の感触とダブルクリックの調整

「ペン」タブを選択します。

クリックしたり線を描いたりする際に必要な筆圧を、カスタマイズします。



「感触の詳細設定」ダイアログボックスが表示され、ペン先の感触をさらに細かくカスタマイズすることができます。

ペン先でタブレットの操作エリアを押して、設定した「ペン先の感触」をテストします。無理なく最大筆圧が得られるように、「ペン先の感触」をスライダで調整します。

ダブルクリックする領域の大きさを調整します。ダブルクリックアシストを作動しないようにするには、スライダを OFF の位置へドラッグします。

ヒント：

- 「ペン先の感触」を柔らかいほうへ設定すると、筆圧の感度が高まります。筆圧対応のグラフィックソフトウェアでは、この設定をお勧めします。
- ソフトウェアによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応する場合があります。ペンを少し押しただけでブラシが画面上で拡大する場合は、「ペン先の感触」を硬いほうへ設定してみてください。
- ダブルクリック：ダブルクリックを簡単にするには、ダブルクリックする範囲（ダブルクリック距離）を大きくします。

補足：グラフィックソフトウェアによっては、ダブルクリック距離を大きくしたことにより、ブラシストロークの開始が遅れるため、ドラッグ操作やインクのストロークの開始が遅れることもあります。このような場合はダブルクリック距離を小さく設定し、サイドスイッチを使用してダブルクリックしてみてください。（サイドスイッチを使うをご覧ください。）ファンクションキーにダブルクリックを設定することもできます。

テールスイッチ（消しゴム）の感触を調整する

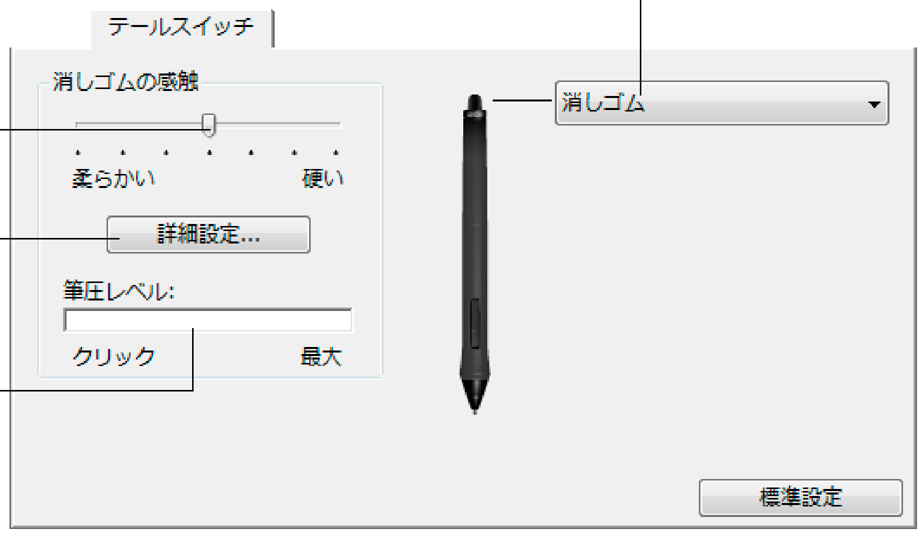
「テールスイッチ」タブを選択します。

テールスイッチ（消しゴム）を使用する場合に実行するボタン機能を選択します。

テールスイッチ（消しゴム）を使うときに必要な筆圧をカスタマイズします。スライダをドラッグして柔らかい、または硬いに設定します。

「感触の詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。テールスイッチ（消しゴム）の感触をさらに細かくカスタマイズすることができます。

デスクトップ上の空領域にポインタを置き、テールスイッチ（消しゴム）でタブレットの操作エリアを押して、現在の「消しゴムの感触」をテストします。無理なく最大筆圧が得られるように、「消しゴムの感触」をスライダで調整します。



ペン先とテールスイッチ（消しゴム）の詳細な設定

ペン先、あるいはテールスイッチ（消しゴム）の筆圧を設定する場合、「ペン」、または「テールスイッチ」タブから「詳細設定」ボタンをクリックして、「感触の詳細設定」ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスのオプションで、ペン先またはテールスイッチ（消しゴム）の筆圧の感触とクリックのしきい値設定を変更ができます。

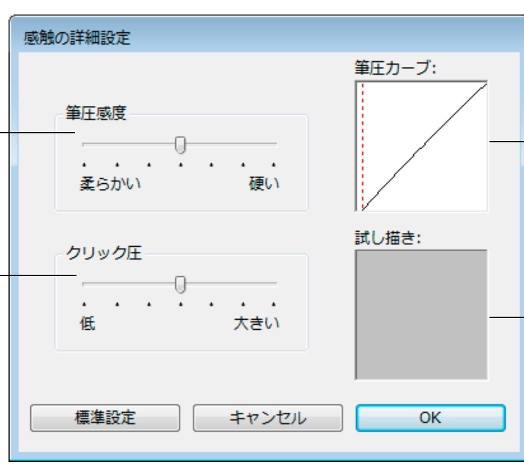
> **重要：**「ペン先の感触」、または「消しゴムの感触」のスライダは、詳細な筆圧の設定より優先されます。詳細な設定をカスタマイズしてから、スライダをドラッグすると、詳細設定で設定した内容が削除されます。

スライダをドラッグして、筆圧感度の設定を選択します。

柔らかいタッチの場合、柔らかい設定を選択します。

スライダをドラッグして、クリックのしきい値を調整します。

この設定により、ペン先でのクリックに必要な荷重が設定されます。



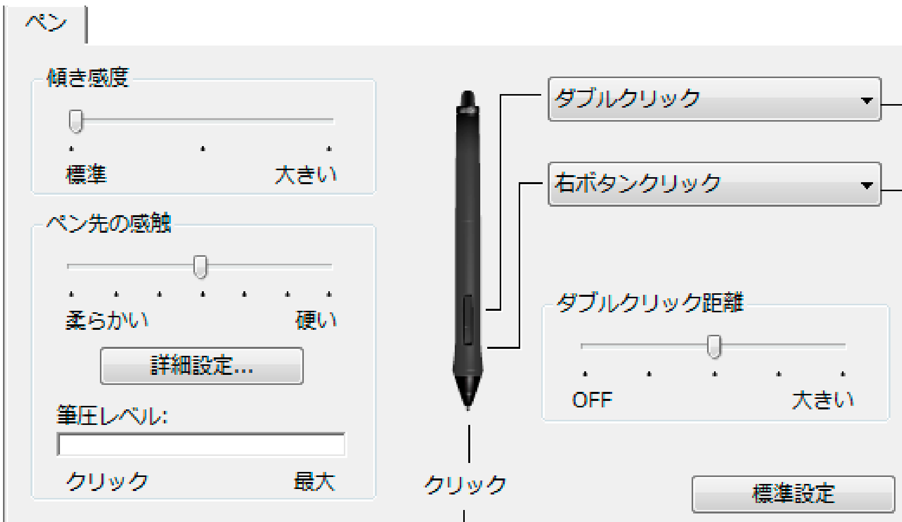
「筆圧カーブ」は、選択した筆圧感度の曲線と「クリック圧」の設定を図で示したものです。

急激な増加を表す曲線は、ペンの感度が高いことを示します。

ペン先、またはテールスイッチ（消しゴム）を使って、ボックス内を何度か試し描きしてみて、変更結果をテストしてください。

サイドスイッチのカスタマイズ

「ペン」タブを選択します。



上部、または下部のサイドスイッチを押した場合に働くボタン機能を選択します。

タブレットに触れずにペン先をタブレット面から 10mm 以内に近づけて上部または下部のサイドスイッチを押すと、選択した機能が動作します。

ヒント：簡単にダブルクリックを行うには、「ダブルクリック」を選択して、サイドスイッチが自動的にダブルクリックになるように設定します。

ペン先に割り当てられた機能を変更するには、文字の上をダブルクリックします。

注意：

- クリックが設定されていないと、ペンでウィンドウの操作ができなくなる場合があります。ペンのボタンのいずれか 1 つを、必ず「クリック」機能に設定してください。
- グラフィックソフトウェアで線を描くためには、ペン先が「クリック」に設定されている必要があります。

補足：右クリックや他のクリック機能を実行する際のペンの操作方法を変えることができます。詳細についてはオプション設定をご覧ください。

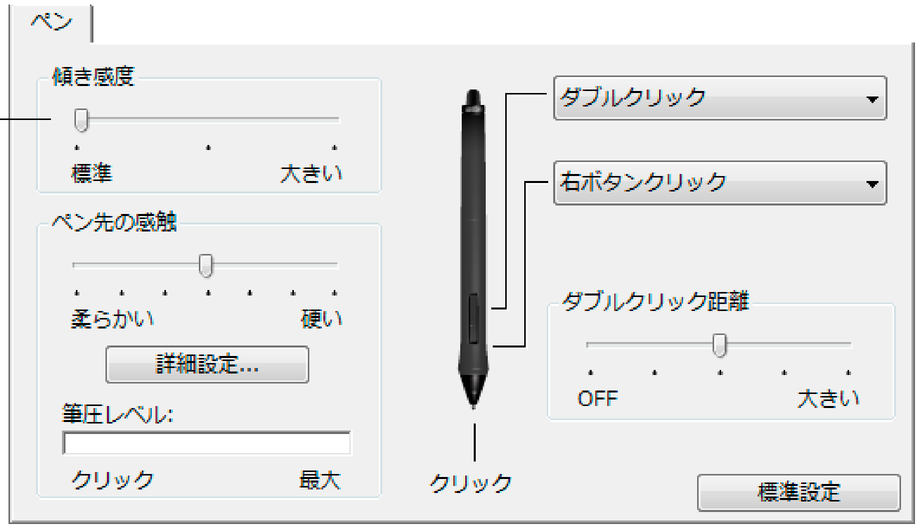
傾き感度のカスタマイズ

Intuos4 ペンの傾き感度を調整するには、「ペン」タブを選択します。

傾きに対応するソフトウェアで、ペンをどれくらい傾けるかを決めて、ペンの傾き効果が最大限に発揮できるようにします。高い感度では、低い感度ほどペンを傾ける必要はありません。

スライダをドラッグして、「傾き感度」の高低を調整してください。次に、傾きをサポートするソフトウェアで新しい設定をテストします。傾きの設定はペン先およびテールスイッチ（消しゴム）の両方に適用されます。

補足：傾きはペンを動かす方向に反応します。ソフトウェアによっては、ブラシの方向やその他の特性をコントロールするために、傾きが使えます。

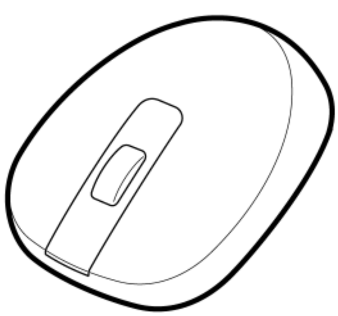


傾きをサポートするソフトウェアの最新情報については[ワコムのホームページ]をご覧ください。

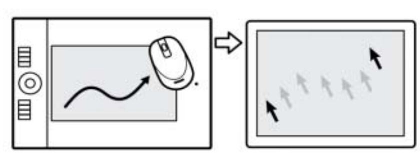
マウスのカスタマイズ

Intuos4 マウスでコントロールパネルを開いてください。「マウス」が「入力デバイス」リストで自動的に選択され、適切なタブが表示されます。マウスが自動的に選択されない場合、「入力デバイス」リストから選択してください。タブを選択し、使用可能なオプションから選択してマウスをカスタマイズします。

＊製品構成によっては、マウスは付属していません。



[マウスボタンのカスタマイズ]



[マウスモードの設定]



[特定のソフトウェアに対する設定]

マウスボタンのカスタマイズ

Intuos4 マウスでコントロールパネルを開き、「マウス」タブを選択します。

マウスボタンのボタン機能を選択します。



「ホイール」で、ホイールオプションを設定します。標準設定は「スクロール」です。

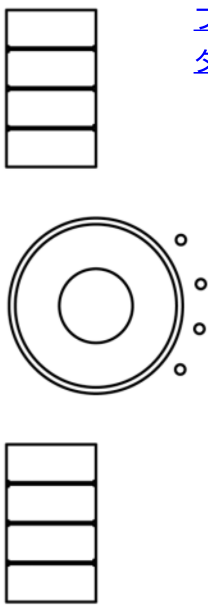
「スクロール」	以下の項目を設定します。 「スクロールスピード」: ホイールを 1 ノッチ（目盛り）回転させたときのスクロールの速度を選択します。 「同時押しキー」: スクロールしながら押す修飾キーを選択します。ズーム操作、または他の操作をソフトウェア内で実行する場合に使えます。 （Macintosh : [option]、[command（アップルキー）]、[control]、[shift] キーを利用できます。）
「キーストローク」	「キーストローク」オプションを選択して、機能をホイールに割り当てます。繰り返しの多い機能を使用する場合に役立ちます。設定したキーストロークは、ホイールの 1 ノッチ（目盛り）につき 1 つ送られます。 **ヒント：**キーストローク動作の速度を 2 倍にするには、「キーストロークを登録」ダイアログボックスで 2 度キーストロークを入力してください。
「無効」	ホイール機能を無効にします。

マウスボタンは複数同時押しが可能です。たとえば、 1 つのボタンに [Ctrl] キーを、別のボタンに [Alt] キーストロークをシミュレートするよう設定した場合、両方のボタンを押すと、[Ctrl]+[Alt] が実行されます。

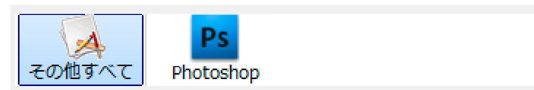
補足：左手操作用の Intuos4 マウスを設定するには、必要に応じてボタン機能を再度割り当てます。コントロールパネルを開いて、「オプション」をクリックして、「利き手の設定」で「左」を選択します。

タブレット機能のカスタマイズ

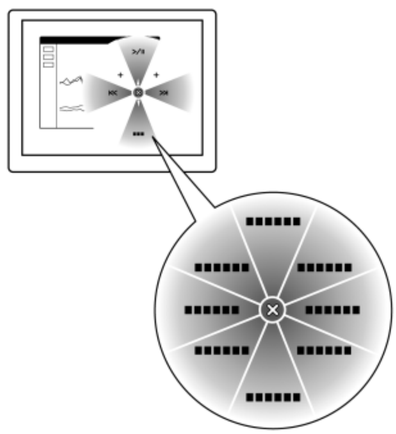
ファンクションキー、タッチホイール、他のタブレット機能をカスタマイズするには、コントロールパネルを開いて、「入力デバイス」リストから「ファンクション」アイコンを選択します。カスタマイズするタブを選択して、利用可能なオプションを選択して設定を変更します。



[ファンクションキーのカスタマイズ]
[タッチホイールのカスタマイズ]



[特定のソフトウェアに対する設定]



[ラジアルメニューの使い方と設定]

ファンクションキーのカスタマイズ

「ファンクションキー」タブを選択すると、現在設定されている各ファンクションキーの機能がプルダウンメニューに表示されます。また、タブレットのファンクションディスプレイには現在のファンクションキーの設定が表示されます。

Intuos4 Wireless の使用中、ファンクションディスプレイは自動的に更新され、画面の最前面のソフトウェアに対するキーの設定が表示されます。ファンクションキーに「無効」が設定されている場合、そのキーについては何も表示されません。

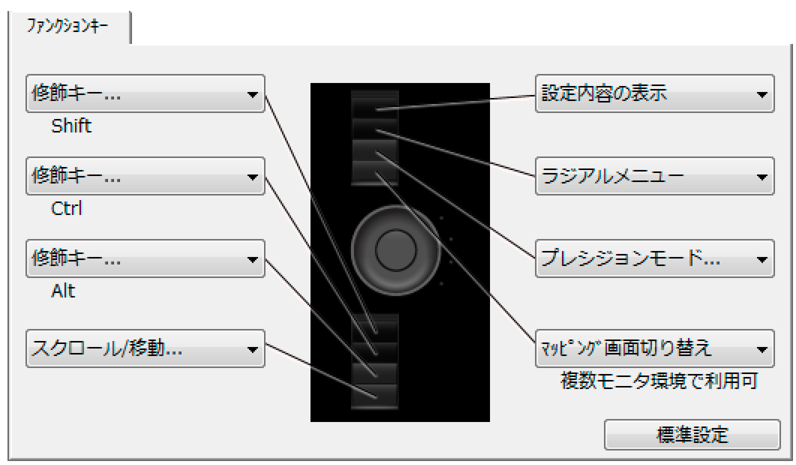
補足：タッチホイールのステータスランプとファンクションディスプレイの明るさを調節する場合は、コントロールパネル下部にある「オプション」ボタンを選択し、「オプション」ダイアログボックスを表示させます。必要に応じて「ファンクションディスプレイの明るさ」で、スライダをドラッグして調節してください。

プルダウンメニューを使用し、キーを押した場合に実行される機能を選択します。選択は、プルダウンメニュー内またはメニューの下に表示されます。

標準設定は、ファンクションキーを使うをご覧ください。

補足：ファンクションキーは、特定のアプリケーションごとに設定することができます。設定については、特定のソフトウェアに対する使用をご覧ください。

「ファンクションキー」タブ（右利き用）



タブレットの向きが「ファンクションキーを右側」に設定されている場合、ファンクションキーは上下逆に表示されます。

「ファンクションキー」タブ（左利き用）



重要：ソフトウェアによっては、ファンクションキー機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細については、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

タッチホイールのカスタマイズ

「タッチホイール」タブを選択すると、現在設定されているタッチホイール機能が表示されます。ズーム機能、スクロール機能あるいはキーストローク機能を実行するようにタッチホイールをカスタマイズすることができます。

補足：タッチホイール機能は、ソフトウェアごとに設定できます。このタブで行った変更は、コントロールパネルの「アプリケーション」リストで選択されているアイコンに適用されます。

このページでは、右利き（ファンクションキーを左側）用に構成されたタブを例にしています。



ポインタの速度を、各機能ごとに設定できます。

これによって、ズーム速度やスクロール速度、キーストロークイベントをソフトウェアに送る速度を調整できます。

ヒント：Adobe Photoshop CS3 以降での作業中、ポインタの位置周辺で 画像を拡大 / 縮小するには、「Photoshop」メニュー→「環境設 定」→「一 般」を 選択します。続いて「スク ロールホイールでズーム」オプショ ンをチェックして、「OK」をクリックします。

タッチホイール使って実行する機能を選択します。標準設定は次の通りです。

「オートスクロール / ズーム」	多くのグラフィックソフトウェアではズーム機能が、他のソフトウェアではスクロール機能が設定されます。ページ単位のスクロール操作はサポートされません。 画面を拡大するか、または下方向へスクロールするには、円に沿って時計回りに指を動かします。画面を縮小するか、上方向へスクロールするには、反時計回りに指を動かします。 **補足：**ソフトウェアのなかには、ズーム機能がスクロール機能とみなされスクロール機能が働いたり、あるいは全く働かない場合があります。同様に、スクロール機能がズーム機能とみなされたり、全く働かない場合もあります。
「キーストローク」「レイヤー切り替え」	作業中のファイルに複数のレイヤーがある場合、レイヤーウィンドウのレイヤーを上方向、または下方向に切り替えることができます。
「キーストローク」「ブラシサイズ」	ブラシのサイズの大小が調整できます。
「キーストローク」「カンバスの回転」	画像全体を回転させたり、または反転させることができます (Adobe Photoshop CS4 またはそれ以降対応)。

タッチホイールに他の操作を設定するには、「キーストローク」オプションを選択し、キーストローク機能を定義します。ソフトウェアによるキーストロークショートカットのサポートについては、ソフトウェアに付属する取扱説明書をご覧ください。

「スキップ」を選択すると、切り替えの順番からスキップされるようにタッチホイールの切り替えボタンを設定できます。

詳細についてはタッチホイールを使うをご覧ください。

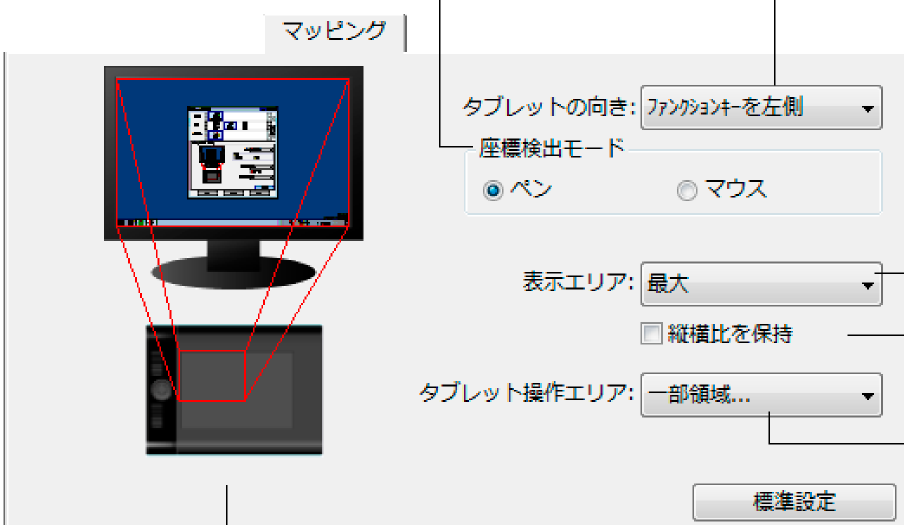
重要：ソフトウェアによっては、タッチホイール機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細については、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

タブレットを画面にマッピングする

「マッピング」タブを選択して、タブレット操作エリアでの入力デバイスの動作とディスプレイ画面でのポインタの動作の関係を設定します。

標準設定では、タブレットの操作エリア全体がディスプレイ全体にマッピングされます。複数のディスプレイを使用中の場合、タブレットはすべてのディスプレイにマッピングされます。マルチディスプレイへのマッピングをご覧ください。

選択する「座標検出モード」により、画面のポインタの動き方が異なります。ペンモードでは、入力デバイスの位置に対応して画面のポインタが移動します。タブレットに入力デバイスを置くと、ディスプレイ画面上のポインタは対応する位置へ移動します。これは絶対座標と呼ばれ、ペンの標準設定です。



タブレットの向きを選択します。「タブレットの向き」はタブレット毎に設定され、この設定は、すべての入力デバイスとソフトウェアに適用されます。その他の「マッピング」タブの設定は、特定のデバイスとソフトウェアに対して設定できます。

表示エリア：タブレットに割り当てるディスプレイ画面の領域を選択します。

縦横比を保持：チェックすると、タブレットと画面は縦横比を保持します。

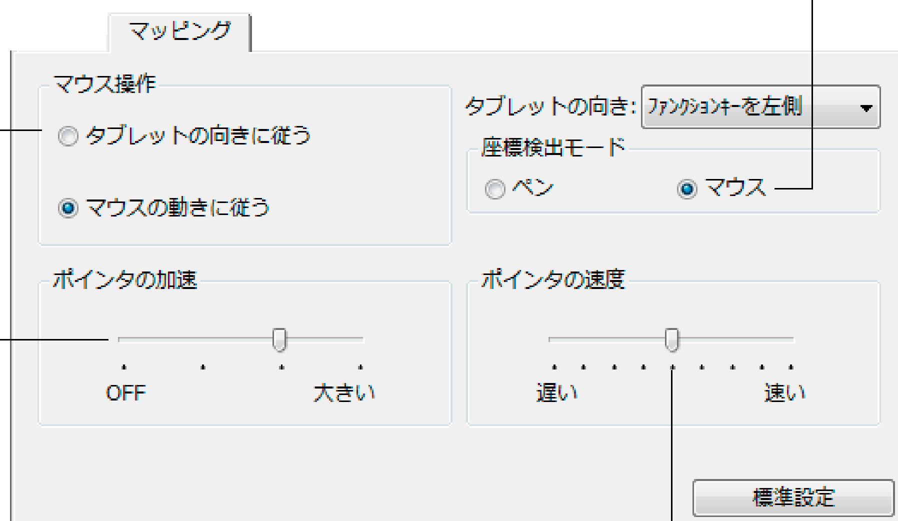
ディスプレイ画面に割り当てるタブレット操作エリアを選択します。

タブレットとディスプレイ画面の画像は直ぐに更新され、選択したマッピングの関係が表示されます。

「マウスモード」を選択すると、マウスの操作について設定できます（「マウス操作」オプションは Intuos4 マウスに対してのみ適用します）。

- 「タブレットの向きに従う」を選択すると、タブレットの上部へマウスを移動させると、ポインタも画面の上へ移動します。このモードでは、タブレットの操作エリアすべてがマウス操作の領域になります。
- 「マウスの動きに従う」を選択すると、マウスの向きに対し上へ移動させると、ポインタも画面の上に移動します。このモードでは、操作エリアの一部分で、マウスを操作できます。これは、Intuos4 Wireless の標準設定です。

マウスモードを選択すると、通常のマウスを使うように、画面上のポインタを移動させることができます。



ポインタの加速を設定します。

ポインタの速度を設定します。

補足：

- 画面のラジアルメニューを使用して、ペンモードとマウスモードを切り替えることもできます。
- ペンモードとマウスモードをよく切り替える場合は、ペン、マウスまたはタブレットのボタンに「ペン⇔マウスモード」機能を割り当てることもできます。

タブレットの向き

「マッピング」タブの「タブレットの向き」を変更し、その向きに合わせてタブレット本体を回転させます。この機能を使用すると、左利き用、または右利き用にタブレットを設定できます。または、縦長のディスプレイで作業できるようにタブレットを設定することもできます。タブレットの向きを設定するをご覧ください。

ファンクションキーを左側	タブレットは横長位置で、タッチホイールとファンクションキーは左側になります。これは、右利きのユーザのための設定です。
ファンクションキーを上側	タブレットを時計回りに 90 度回転させ、タッチホイールとファンクションキーを上側に配置します。
ファンクションキーを右側	タブレットは横長位置で、タッチホイールとファンクションキーは右側になります。このオプションを選択すると、タブレットの操作とコントロールパネルオプションが左利き用に自動的に設定されます。 **補足：**Intuos4 マウスを使用する場合、コントロールパネルの「オプション」ボタンをクリックして、デバイスを右利き、また左利き用に設定します。オプション設定をご覧ください。
ファンクションキーを下側	タブレットを反時計回りに 90 度回転させ、タッチホイールとファンクションキーを下側に配置します。

コントロールパネルで「タブレットの向き」を設定したら、試しにタブレット上でペンを上方向へ移動させて、タブレットの向きが正しく設定されたことを確認してください。画面上のポインタが上方向に移動すれば、正しく設定されています。選択した「向き」は共通の設定であり、すべてのソフトウェアに適用されます。

補足：ログインおよびユーザ切り替え画面で、タブレットの向きは、ドライバのインストール時に選択された標準設定を使用します。標準設定のタブレットの向きを変更する場合、タブレットドライバ CD を使ってドライバを再インストールする必要があります。詳細はタブレットの向きを設定するをご覧ください。

表示エリア

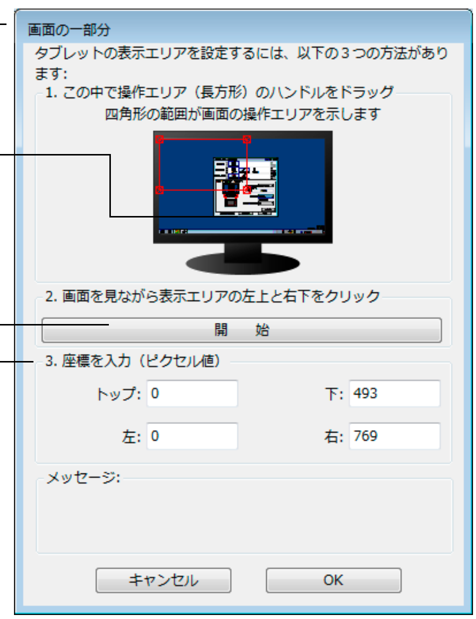
「マッピング」タブの「表示エリア」オプションで、タブレットをディスプレイ画面のどの部分に割り当てるか定義できます。

最大	複数のディスプレイ全体を 1 つの大きな画面とします。標準設定です。詳細についてはマルチディスプレイへのマッピングをご覧ください。
モニタ 1	1 つ選んだディスプレイの領域全体に割り当てられます。複数のディスプレイがシステムに接続されている場合、検出されるそれぞれのディスプレイにオプションを適用できます。
一部分	タブレットに対してディスプレイ画面の一部分を割り当てることができます。「一部分」を選択すると、「画面の一部分」ダイアログボックスが表示されます。

次の中から画面の一部分を定義する方法を選択してください。

- 前面の四角形の角をドラッグして、表示エリアを選択する方法です。背景の図は、画面全体を表します。
- 表示エリアを指定するのに画面のポインタを移動する方法です。「開始」ボタンを選択します。画面の一部分を定義しながら、メッセージに従って、マッピングに使用する表示画面の領域を設定します。
- 画面表示エリアの上、下、左、右の境界に対してピクセルの値を入力する方法です。値は、画面の上の左隅から測定されます。メッセージに従って確認してください。

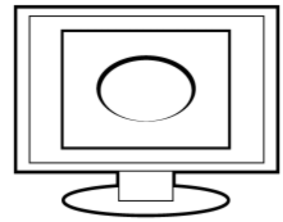
画面の一部領域を定義したあと、表示エリアのその他の領域にアクセスするには、他の入力デバイスなどを使用してください。



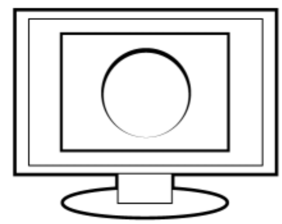
縦横比を保持

「マッピング」タブの「縦横比を保持」ボックスをチェックするか、またはチェックをはずして、タブレットと画面との関係を設定します。

「縦横比を保持」のチェックをはずした場合、正確な縮尺、比率は保持されません。選択したタブレットの操作エリアが、選択した画面の表示エリアに割り当てられます。タブレットに円を描くと、画面に楕円が描かれる場合があります。これが標準設定です。



「縦横比を保持」をチェックすると、タブレットと画面との間で、縦横の正確な比率が保持されます。タブレットに描かれた円は、表示画面の円と一致します。設定によりますが、このオプションが選択されている場合、タブレットの操作エリアで利用できない領域ができることがあります。



補足：Intuos4 Wireless は、16：10 の縦横比表示での利用に最適化されていても、標準設定の場合ディスプレイの設定に合わせて自動で調整されます。

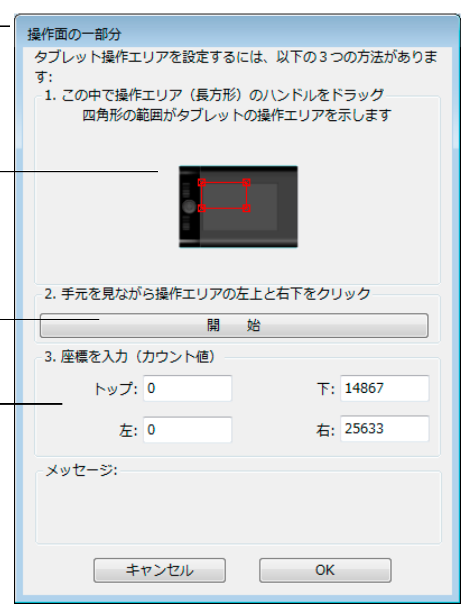
タブレット操作エリア

「マッピング」タブの「タブレット操作エリア」オプションで、画面に割り当てるタブレットの操作領域を定義することができます。

最大	タブレットの操作エリア全体を画面の表示部に割り当てます。標準設定です。
一部分	「一部分」を選択すると、「操作面の一部分」ダイアログボックスが表示されます。

次の中から、タブレットの一部分を定義する方法を選択してください。

- 前面の四角形の角をドラッグして、画面に割り当てるタブレット操作エリアを設定する方法です。
- 「開始」ボタンをクリックして、ペンでタブレット上の操作エリアを指定する方法です。表示されるメッセージに従って、割り当てるタブレットの領域を設定します。
- タブレット操作エリアの上、下、左、右の境界に数値を入力する方法です。



ボタン機能



サイドスイッチ、ファンクションキー、タッチホイール、ラジアルメニューの設定に利用可能なオプションを説明します。ここに示すオプションは、一部の設定には利用できないことがあります。

機能名	内容
クリック	
• **クリック**	クリックを行います。ポインタの操作やクリックが行えるように、必ずボタンの１つに設定してください。
• **右ボタンクリック**	右クリックを行います。クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。
• **中ボタンクリック**	中ボタンクリックを行います。
• **ダブルクリック**	ダブルクリックを行います。ペン先で２度たたく代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。
• **クリックロック**	スイッチを１回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放す動作になります。クリックロックは、オブジェクトをドラッグする、またはテキストブロックを選択する場合に便利です。
• **第４ボタンクリック**	マウスの第４ボタンを押すことに相当します。
• **第５ボタンクリック**	マウスの第５ボタンを押すことに相当します。

機能名　**内容**

キーストローク ....

キーストロークをシミュレートできます。このオプションを選択すると、「キーストロークを登録」ダイアログボックスが表示されます。

１つのキーストロークか、またはキーストロークを組み合わせて「キー」ボックスに入力できます。キーストロークには、文字、数、F3 のようなファンクションキー、修飾キー（Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl]、Macintosh では [shift]、[option]、[command]、[control] キー）を組み合わせることができます。

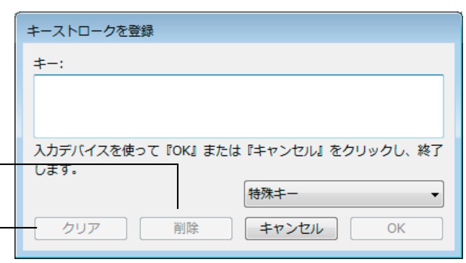
「特殊キー」メニューから、特別なキーストローク、またはキーストロークの組み合わせを選択することもできます。

キーストロークを入力したら、「OK」をクリックします。

> **重要：**[Enter] キー (Windows) と [Return] キー (Macintosh) は、キーストロークとして定義できるため、「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択する場合に使用しないでください。必ず入力デバイスを使用して「OK」ボタンをクリックしてください。

ダイアログが表示されたら、キーストローク定義に名前を入力します。名前は、それぞれコントロールまたはラジアルメニューに表示されます。

キーストローク機能は、ソフトウェアごとに設定できます。詳細については 特定のソフトウェアに対する設定をご覧ください。



キーストローク入力ボックスに入力した最後の内容のみ削除します。

キーストローク入力ボックスをクリアにします。



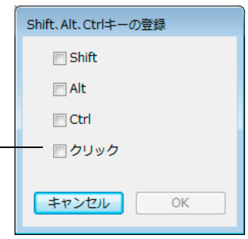
タッチホイールまたはマウスホイールにキーストロークを割り当てる場合、ダイアログボックスには 2 つの「キー」入力ボックスが表示されます。

上記で述べたように、タッチホイール上での時計回りおよび反時計回りの回転動作やマウスホイールの奥と手前への回転動作にキーストローク機能を割り当てます。

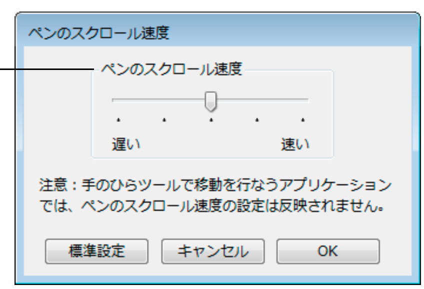
割り当てた一組のキーストロークに名前を入力して、「OK」をクリックします。

ソフトウェアでサポートされているキーストロークショートカットについては、ソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

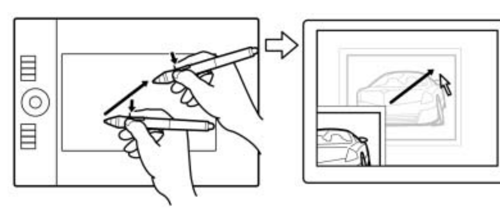
機能名	内容
修飾キー	修飾キー（Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl] キー、Macintosh では [shift]、[option]、[command]、[control] キー）をシミュレートできます。 多くのソフトウェアでは、修飾キーを使用してメニューやツールを切り替えます。 1 つ以上のキーオプションを選択します。「クリック」ボックスをチェックすると、スイッチを押すと必ずマウスのクリックが実行されるようになります。

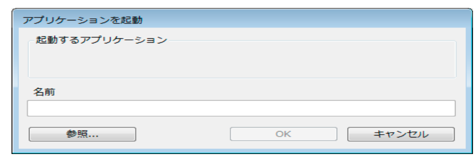


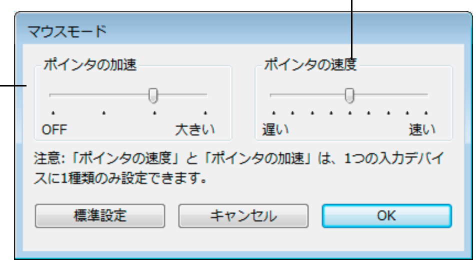
機能名	内容
ラジアルメニュー	画面上にラジアルメニューを表示します。ラジアルメニューの各階層メニューは、８つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。
戻る	ブラウザで「戻る」機能を実行します。
進む	ブラウザで「進む」機能を実行します。
スクロール / 移動（ペンのみ）	「スクロール / 移動」に設定されたサイドスイッチを押して、タブレットの操作エリアでペン先を滑らせるように動かすと、文書または画像をウィンドウ内で自由に移動させることができます。 「スクロール / 移動」を選択すると、「ペンのスクロール速度」ダイアログボックスが画面に表示されます。 設定値を小さくすると、スクロールの速度が遅くなります。画像を正確にコントロールしなければならないような細かい作業に有効です。



ペンが動く方向に従って文書や画像がスクロール、または移動します。目的位置までスクロールまたは移動させたら、サイドスイッチを指から離すか、ペン先をタブレットから離してください。



機能名	内容
オートスクロール／ズーム	この機能をタッチホイールに設定すると、ほとんどのグラフィックソフトウェアではズーム操作が、他のソフトウェアではスクロール操作が行われるようになります。
スクロール	タッチホイールにスクロール動作を設定します。
ズーム	タッチホイールにズーム動作を設定します。
デスクトップを表示	開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。
タスク切り替え	起動中のソフトウェアの中で、前面に表示させたいソフトウェアをタスク切り替えダイアログから選択できます。Aero を搭載した Windows Vista システムでは、3D フリップが起動して、前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。
開く／起動	ダイアログボックスを開いて、起動する特定のソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択できます。 「参照」ボタンをクリックして、起動するソフトウェアを選択します。「起動するアプリケーション」ボックスに、選択したソフトウェアが表示されます。「OK」をクリックします。  ダイアログボックスが閉じ、選択した「開く／起動 ....」オプションがボタンオプションとして割り当てられます。スイッチやボタンを押すだけで、割り当てたオプションが実行されます。 ラジアルメニューに選択した場合、ラジアルメニューリストに表示されるようになります。
Ink 文字認識 ON/OFF	(Macintosh) Ink の「手書き認識」機能をオンとオフに切り替えます。Ink は筆跡を認識して、テキストに変換し、ドキュメントに挿入します。この機能を使用するには、Ink をオンにする必要があります。Ink の使い方については、Macintosh のヘルプをご覧ください。
Expose	(Macintosh)：画面に開いているウィンドウをタイル表示します。ダイアログボックスで「キーストローク ....」→「特殊キー」メニューと選択して、このオプションを表示します。
筆圧一定	ボタンを放すまで、筆圧を一定に保ちます。たとえば、ブラシが好みのサイズになるまで、筆圧を変えながら線を描きます。次にボタンを押すと、ボタンを放すまで同じブラシのサイズで描き続けることができます。
プレシジョンモード	現在のペン先位置周辺のマッピングの比率を変更します。ペンを大きく動かしても画面上のポインタは、その 2 分の 1 の距離だけ移動します。このモードを有効にするには、機能が割り当てられたボタンを押し続けます。ボタンを放すと、通常のマッピングに戻ります。 ペンやマウスが「マウスモード」の場合、ポインタの動作について、加速は「OFF」、速度は「遅い」で動作するように調整されます。

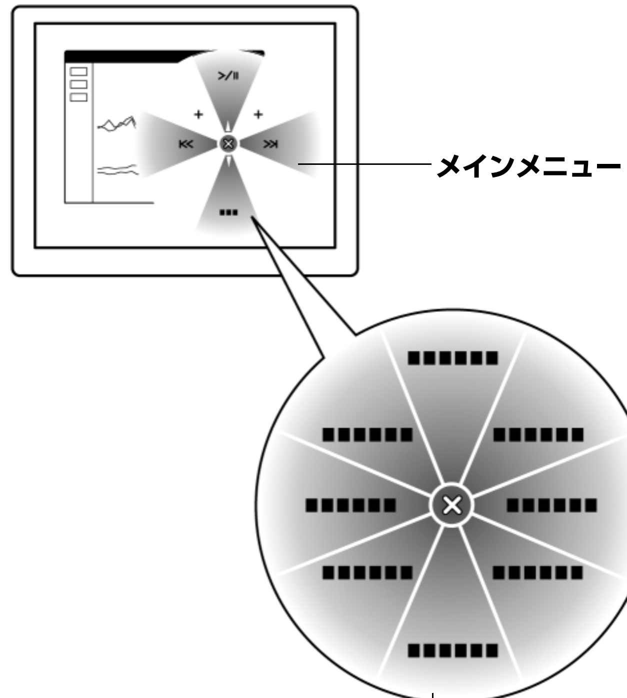
機能名	内容
マッピング画面切り替え	マルチディスプレイ環境で使用します。この機能が割り当てられたファンクションキーを押すと、ディスプレイ間でタブレットのマッピングやポインタの位置を切り替えることができます。マッピング画面切り替えを使うをご覧ください。
ペン⇔マウスモード	ペンモードとマウスモードを切り替えます。初めてこの機能をデバイスボタンに設定すると、「マウスモード」ダイアログボックスが表示され、マウスの加速とスピードを調節できます。 マウスモードの場合は、ポインタの速度を設定します。 マウスモードの場合は、ポインタの加速を設定します。  **補足：**「マウスモード」は、コントロールパネルの多くのダイアログからアクセスして設定できます。マウスの加速と速度の設定は、カスタマイズ中の入力デバイスとソフトウェアにつき、１つしか設定できません。 「マウスモード」の「ポインタの加速」と「ポインタの速度」の設定は、システム設定からは独立しています。コントロールパネル内で設定を変更しても、システム側の同内容の設定に影響しません。しかし、システム側で同内容の項目の設定を変更すると、お使いのタブレット設定に影響する場合があります。
消しゴム	テールスイッチ（消しゴム）の標準設定です。テールスイッチ（消しゴム）の使用については、消しゴムをご覧ください。
設定内容の表示	タブレットのファンクションキーとタッチホイールの図が表示され（ディスプレイ画面上）、各ボタンに対する機能の設定を確認できます 。

機能名	内容
タブレット PC	
• Tablet PC 入力パネル	(Tablet PC 入力パネルをサポートする Windows 7 および Windows Vista システム) この機能を割り当てたボタンを押すと、Tablet PC 入力パネルが開きます。
• Windows Journal	(Windows Journal を含んだ Windows 7 および Windows Vista) Windows Journal を開きます。
• Tablet PC の設定に従う	(Tablet PC 入力パネルをサポートする Windows 7 および Windows Vista システム) 以下のダイアログの設定に従い、ボタン機能を設定します。 • 「Tablet PC 設定」と「ペンと入力デバイス」コントロールパネル
無効	すべてのボタン機能を無効にします。
アプリケーションの設定に従う	ソフトウェアにボタンの数の情報を送ります。この機能は、CAD プログラムのように、Intuos4 マウスに対するサポートが組み込まれたソフトウェアで働きます。 また、高度な統合ソフトウェアによっては、ファンクションキーとタッチホイールを直接コントロールすることができるようになります。
スキップ	タッチホイールの機能切り替え時にスキップさせる（順番を飛ばす）機能を選ぶことができます。
標準設定	設定を標準（お買い上げ時の設定）に戻します。

ラジアルメニューの使い方と設定

ラジアルメニューは円型のポップアップメニューです。ラジアルメニューをカスタマイズすると、編集、ナビゲーション、メディア操作などが簡単に行えるようになります。

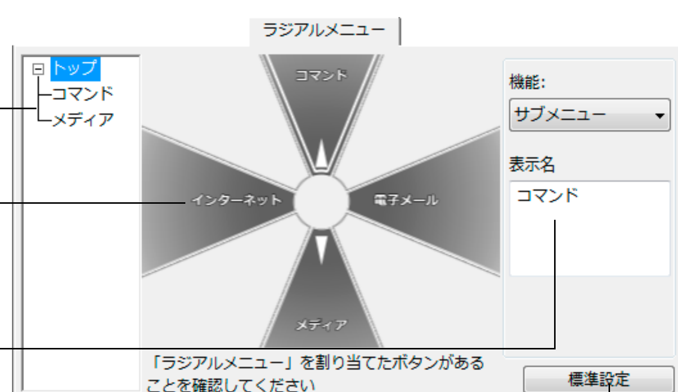
- ラジアルメニューを表示するには、ペンのスイッチ、マウスのボタン、またはファンクションキーに「ラジアルメニュー」を設定します。ボタンを押すと、ラジアルメニューがポインタの位置を中心として表示されます。
- ラジアルメニューはデスクトップ全体に、円形で表示されます。メニューの各レベルを構成する 8 つの項目に含まれる、様々な機能やオプションが選択可能です。
- ラジアルメニュー内でメニュー項目をクリックします。項目によってはサブメニューが表示され、利用可能なオプションをさらに選ぶことができます。ラジアルメニューを呼び出すボタンを押し続けると、ラジアルメニューを表示したままメニュー項目をクリックできます。
- ラジアルメニューからオプション機能を選択すると、メニューは終了します。機能を選択せずにメニューを終了する場合、メニュー中央の「X」ボタンをクリックするか、またはオプション機能が割り当てられていない空の項目をクリックしてください。
「ラジアルメニュー」が割り当てられたボタンを押して、再びメニューを表示することができます。



「ラジアルメニュー」タブで、ラジアルメニューに割り当てるオプション機能を設定します。

1. メニューまたはサブメニューを選択します。
2. メニュー項目を選択して、設定をカスタマイズします。
3. 実行する「機能」を選択します。

   補足：「Enter (Return)」キーを押すと、複数行のテキストを追加できます。



現在、表示されているラジアルメニュー を標準設定に戻します。

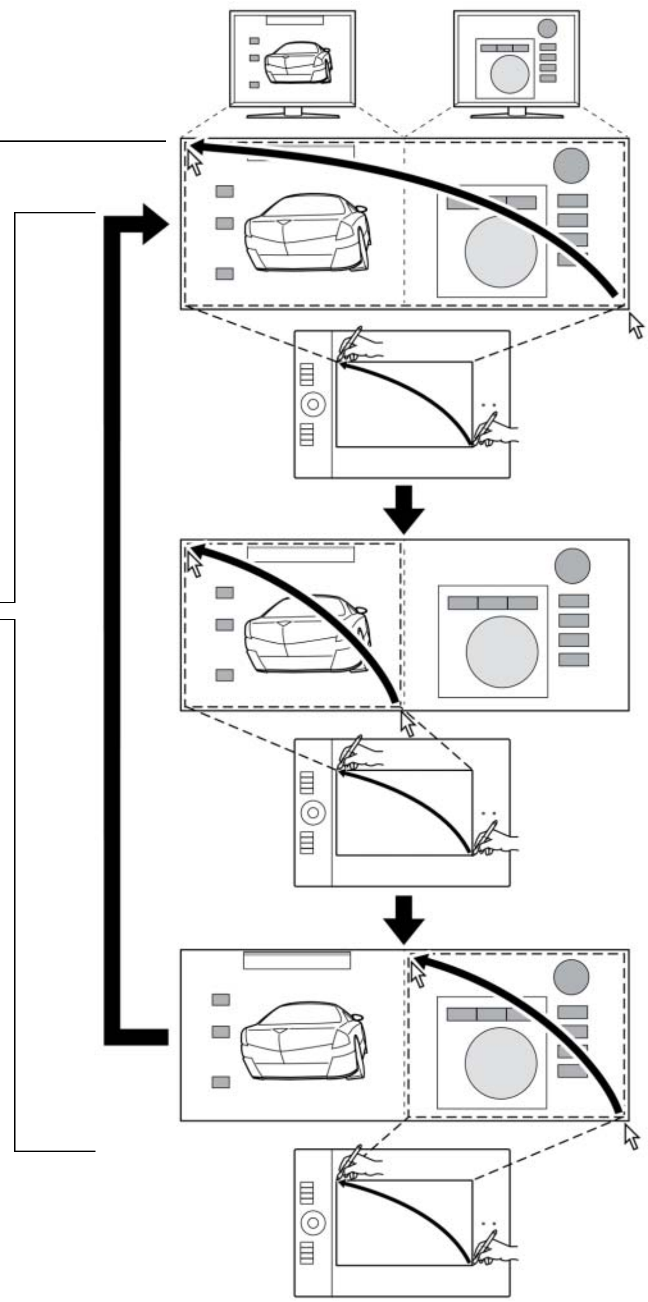
マッピング画面切り替えを使う

「マッピング画面切り替え」は、システムがマルチディスプレイで構成されている場合にお使いになれます。この機能を使うと、タブレット 1 台でディスプレイ全体、またはディスプレイ 1 つずつで作業を行えます (マルチディスプレイへのマッピングをご覧ください)。

ファンクションキーを「マッピング画面切り替え」に設定すると、ボタンを押すことで、基本マッピング (「マッピング」タブの設定) や、その他のディスプレイマッピングを順番に切り替えられます。

例：

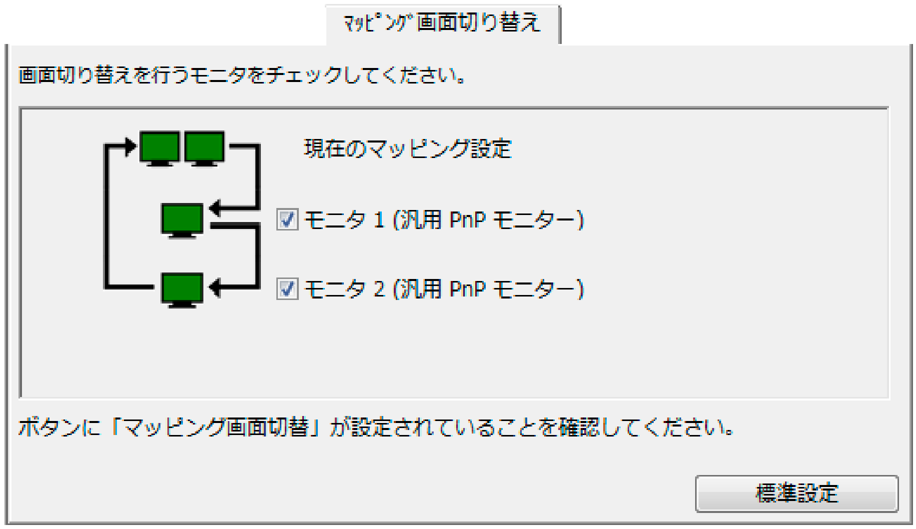
1. マルチディスプレイの表示領域全体が拡張モードに設定されていて、Intuos4 Wireless の操作エリアに割り当てられています。
2. 「マッピング画面切り替え」機能が割り当てられたボタンを押すと、タブレットのマッピングを次のディスプレイへ切り替えます。



Intuos4 Wireless がマルチディスプレイ環境に接続されている場合、コントロールパネルには「マッピング画面切り替え」タブが表示されます。このタブで、ディスプレイを切り替える順番を設定します。

「マッピング画面切り替え」タブの標準設定では、すべてのモニタが選択されています。モニタのチェックをはずすと、そのモニタは順番切り替えの対象ではなくなります。

- 基本マッピングとは、「マッピング」タブで設定されているタブレットとモニタの関係を言います。「マッピング」タブで、1台のモニタをプライマリディスプレイに設定していない限り、標準設定ではすべてのモニタが切り替えの対象となります。
- 次のモニタに切り替えると、ペンやマウスの有効な操作エリアが該当するモニタに割り当てられます（ペンモードの場合のみ）。
- チェックされた最後のモニタまで切り替えた後、もう 1 度切り替えると、基本マッピング（現在のマッピング設定）に戻ります。



重要：「マッピング画面切り替え」で「特定のアプリケーションに対する設定」を使用している場合、「アプリケーションリスト」（「その他すべて」も含む）上のカスタマイズ済みのアプリケーション（ソフトウェア）に「マッピング画面切り替え」が割り当てられたボタンがあるかを確認してください。「特定のアプリケーションに対する設定」を作成する前に、ファンクションキーに「マッピング画面切り替え」を割り当てることをお勧めします。

次の動作のいずれかを行うと、切り替えの順番は基本マッピングに戻ります。

- 筆圧をサポートするグラフィックソフトウェアを起動したとき
- システムをログアウトするか、再起動したとき
- ユーザを切り替えたとき（ファーストユーザスイッチ）
- システムをスリープモードにしたとき
- 「マッピング」タブまたは「マッピング画面切り替え」タブの設定を変更したとき
- システム上のディスプレイの解像度または数を変更したとき
- 「ペン⇔マウスモード」機能を使用したとき
- ラジアルメニューから「ペンモード」または「マウスモード」を選択したとき

ヒント：「ディスプレイ全体」オプションを含めずに、ディスプレイ間を切り替えるには、「マッピング画面切り替え」タブ上の 1 番目のディスプレイ を無効にします。次に、「マッピング」タブで 1 番目のディスプレイに対して現在の「表示エリア」を設定します。

複数デバイスでの作業

コントロールパネルは、Intuos4 デバイスのカスタマイズと管理に役立つように設計されています。コントロールパネルを開く際に使用したデバイスが自動的に選択され、そのデバイスに適したタブが表示されます。

デバイスを選択して設定を変更します。

「入力デバイス」リストには、タブレットの「ファンクション」アイコンとタブレット上で使用された Intuos4 デバイスが表示されます。

特定のアプリケーション(ソフトウェア)に対する設定が追加されていない場合、「すべて」アイコンが表示され、デバイスに対する設定はすべてのソフトウェアに適用されます。



選択したデバイスを削除します。リストに項目が 1 つしかない場合、ボタンは働きません。「ファンクション」アイコンは削除できません。

タブの設定は、選択したデバイスとアプリケーション（ソフトウェア）に対してのみ適用されます。

ヒント：デバイスのアイコンをダブルクリックし、新しい名前を入力することで、デバイス名を変更できます。「ファンクション」アイコンの名前は変更できません。

コントロールパネルの「入力デバイス」リストにデバイスを追加するには、Intuos4 Wireless 上で追加するデバイスを使用してください。

- 「入力デバイス」リストに追加されたデバイスを選択する場合、そのデバイスの適切な設定がタブに表示されます。変更された設定は、デバイスに適用され、直ちに実行されます。
- 同一のデバイスには同一の設定が適用されます。

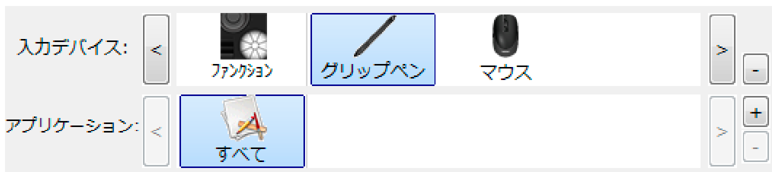
選択したデバイスを「入力デバイス」リストから削除するには、「入力デバイス」リストの [–] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから、「削除」をクリックして、選択を確認します。選択したデバイスは、そのデバイス向けに作成した設定とともにリストから削除されます。（削除したデバイスをタブレットの上に戻すと、「入力デバイス」リストに再び追加されます。）

すべての Intuos4 ペンにはそれぞれのデバイス ID があります。Corel Painter など対応しているソフトウェアでは、各ペンに個別にブラシツールを割り当てたり、ソフトウェアごとにペンを使い分けることもできます。

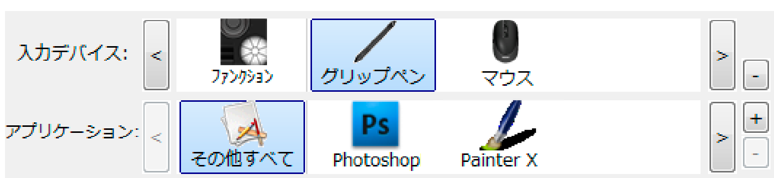
特定のソフトウェアに対する設定

使用する Intuos4 入力デバイスは、特定のソフトウェア向けにカスタマイズできます。たとえば、あるソフトウェアでは、ペン先の筆圧を硬めに設定して、他のソフトウェアでは柔らかく設定できます。「アプリケーション」リストに対象のソフトウェアを追加し、追加したソフトウェアに対して入力デバイスの設定を行います。

- **ソフトウェアごとの設定を行わずデバイスを「入力デバイス」リストから選択した場合、**「アプリケーション」リストに「すべて」アイコンが表示されます。「すべて」アイコンは、選択中の入力デバイスで操作するソフトウェアすべてを表します。下の例では、入力デバイス「グリップペン」に「特定のソフトウェアに対する設定」を追加していません。「グリップペン」で操作されるすべてのソフトウェア内では、「グリップペン」の設定は共通です。



- **特定のソフトウェアに対する設定が、「アプリケーション」リストに加わると、**「すべて」アイコンは「その他すべて」に変わります。新しく追加されたソフトウェアに対してアイコンが表示されます。



上記の例では、特定のソフトウェアに対する設定が、「グリップペン」に追加されています。「その他すべて」アイコンを選択して設定を変更する場合、その変更は、「アプリケーション」リストに追加したソフトウェア以外のすべてのソフトウェアで適用されます。ソフトウェアのアイコンを選択してタブの設定を変更する場合は、そのソフトウェアを使用する間のみ設定が適用されます。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、選択した入力デバイスとソフトウェアに対して個別のグループが作成されます。詳細については次のセクションをご覧ください。

特定のソフトウェアに対する設定を作成する
特定のソフトウェアに対する設定を変更する
特定のソフトウェアに対する設定を削除する

ヒント：画面の最前面にあるソフトウェアに対して、ファンクションキーまたはタッチホイール機能の設定を確認するには、ファンクションキーに「設定内容の表示」を設定してそのキーを押すと確認できます。

特定のソフトウェアに対する設定を作成する

初めに、特定のソフトウェア向けの設定を作成するタブレットと入力デバイスを選択します。次に「アプリケーション」リストの［+］ボタンをクリックすると、「アプリケーションを登録」ダイアログボックスが表示されます。

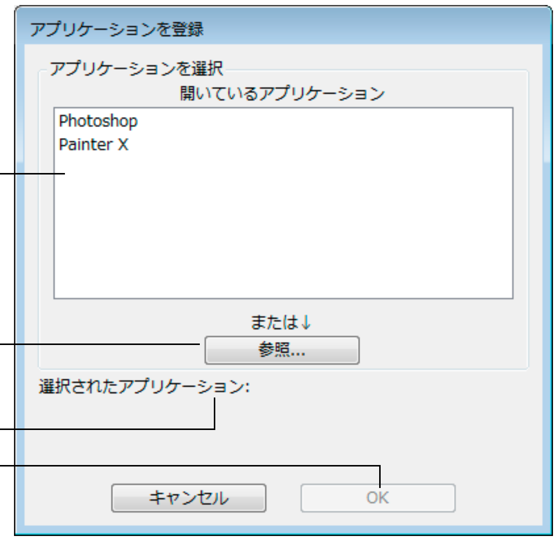
ソフトウェアを選択するには、次の２つの方法のうちいずれかを選択します。

- 設定を作成するソフトウェアを起動します。次に「開いているアプリケーション」ボックスからそのソフトウェアを選択します。
- 「参照」を選択して、コンピュータにインストールされているソフトウェアの実行ファイルを選択します。

「選択されたアプリケーション」欄に、選択したソフトウェアの名称が表示されます。

「OK」をクリックして、終了します。

補足：２つのソフトウェアが同じ実行ファイル名をもつ場合、２つのソフトウェアはカスタマイズされた設定を共有します。



ソフトウェアを追加したあと、各デバイスを「入力デバイス」リストから選択すると、追加したソフトウェアのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。追加したソフトウェアを選択して、次にデバイスと追加したソフトウェアに対してタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、この方法でカスタマイズされなかったソフトウェアには「その他すべて」の入力デバイスの設定が適用されます。

ヒント：任意のソフトウェアに対して設定を作成してみてください。それによりペンが使いやすくなったら、さらに別のソフトウェア向けにも設定をしてみてください。

特定のソフトウェアに対する設定を変更する

指定のソフトウェアに対して入力デバイスの設定を変更するには、デバイスとソフトウェアを選択して、次にタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を削除する

特定のソフトウェアに対する設定を削除するには、

1. 「入力デバイス」リストから、設定を削除したいデバイスを選択します。次に「アプリケーション」リストから、削除するソフトウェアを選択します。
2. 「アプリケーション」リストで、[−] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして、選択を確認します。ソフトウェアは、作成した入力デバイスの設定とともにリストから削除されます。

ヒント：１つの入力デバイスから特定のソフトウェアに対する設定をすべて削除するには、「入力デバイス」リストからデバイスを削除します。
次に入力デバイスをタブレットの上に戻すと、デバイスは、標準設定の状態で「入力デバイス」リストに追加されます。

トラブルシューティング

トラブルが発生した場合、以下のことを行ってください。

1. ペンタブレットドライバが正しく読み込まれなかった場合、画面に表示されるエラーメッセージで推奨される処置をまず行ってください。それでも問題が解決されない場合は、本章のトラブルシューティング手順を参照ください。
2. トラブルシューティング情報をご覧ください。問題が記載されている場合、その指示に従ってください。
3. Windows の場合「お読みください」、Macintosh の場合「Read Me.rtf」を開いて、最新情報をお読みください。
4. タブレットと入力デバイスを診断します。タブレットのテストと入力デバイスのテストをご覧ください。
5. Intuos4 Wireless と新しいハードウェア、またはソフトウェア製品間に互換性の問題が発生した場合、更新したタブレットドライバのダウンロードに関する情報について、ドライバのダウンロードをご覧ください。ワコムは新しい製品との互換性を維持するためにドライバソフトウェアを定期的に更新しています。
6. お住まいの地域向けワコムのホームページで、FAQ（よくある質問）を参照してください。
7. このマニュアルの解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合、ワコムのサポート窓口にお問い合わせください。

タブレットのテスト
入力デバイスのテスト
トラブルシューティング情報
テクニカルサポート
ドライバのダウンロード

タブレットのテスト

お使いのコンピュータに Bluetooth 機能が内蔵されている、または Bluetooth アダプタ（ドングル）を使ったワイヤレス通信ができることを確認します。

1. **タブレットの接続をチェック** 付属の USB 接続ケーブルで、コンピュータ本体の USB ポートとタブレットの USB ポートを接続します。タブレットが USB デバイスとして認識されると、タブレットのステータスランプが点灯します。ランプが点灯したら、次のステップ 2 に進んでください。

   コンピュータの電源を入れ、システムが完全に読み込まれても、ステータスランプが点灯しない場合：

   - タブレットの電源スイッチがオンになっていることを確認してください。
   - タブレットの USB 接続ケーブルが、コンピュータの有効な USB ポートにしっかりと接続されていることを確認してください。Intuos4 Wireless は、コンピュータ本体に設置されている USB ポートに接続する必要があります。
   - タブレットを、別の USB ポートに接続するか、または別のコンピュータの USB ポートに接続してみてください。
   - コンピュータの電源を入れて、オペレーティングシステムの起動が終了しても、タブレットのステータスランプが点灯しない場合、USB ポートが機能していないかもしれません。タブレットが有効な USB ポートに接続されていることを確認してください。

2. **ワイヤレスモードの状態をチェック** タブレットが適切に接続されていて、お使いのコンピュータがタブレットを Bluetooth 対応デバイスとして登録すると、タブレットのステータスランプが点灯します。ステータスランプが点灯しない場合には以下のことを行ってください。

   - タブレットの電源スイッチがオンになっていることを確認してください。
   - 電池残量を確認してください。充電状態ランプが緑色に点灯しているときは、電池はフル充電状態です。赤色に点灯しているときは、電池残量が少なくなっています。電池残量が少ない場合には、USB 接続ケーブルを使用して充電を行ってください。USB 接続ケーブルが正しく接続されているときは、充電状態ランプは黄色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。
   - ワイヤレス通信ランプが青色に点灯しているときは、Bluetooth 接続は正常に動作しています。青色に点灯しないときは正常に動作していません。Bluetooth のコントロールパネルを開き、Intuos4 Wireless と接続されていることを確認します。接続されていれば、手順 3 を行ってください。
   - タブレットを再起動します。
   - タブレットの電源スイッチをオフにし、USB 接続ケーブルと内蔵の電池をタブレットから取り外して 10 秒以上放置します。続いてケーブルと電池を元に戻し、再起動し確認してください。

3. **必要に応じて、Bluetooth 接続のトラブルに対応**
   - タブレットを Bluetooth のアンテナに近づけます。タブレットとアンテナ間の電波の通り道に金属類や高密度の障害物がないかを確認してください。
   - Bluetooth 機能内蔵のコンピュータをお使いの場合、Bluetooth 機能が有効かを確認してください。
     Bluetooth アダプタ（ドングル）を使用している場合、お使いのコンピュータの有効な USB ポートに接続され正しく動作することを確認してください。
   - Bluetooth 機器に付属の取扱説明書を確認、または別の Bluetooth 対応デバイスを使って Bluetooth 機器が正しく動作することを確認してください。
   - お使いの Bluetooth 設定が Bluetooth および HID プロファイルをサポートすることを確認してください。
   - 別の方法でタブレットとコンピュータのペアリングを試みてください。Bluetooth 通信を確立するをご覧ください。
4. **グリップペンのチェック**
   - タブレットの操作エリアの上でペンを移動してみてください。画面上のポインタが、ディスプレイ画面で対応する方向へ移動すれば正常です。
   - タブレットにペン先を押しあてます。ステータスランプが明るく点灯すれば正常です。
   - 次に、ペン先に筆圧をかけずに、タブレットの面からおおよそ 6mm 以内のところで保留にしたまま、サイドスイッチを押します。ステータスランプが、再度明るく点灯すれば正常です。
   - ペンを回転させ、テールスイッチ（消しゴム）をタブレットに押しあてます。ステータスランプが明るく点灯すれば正常です。
   - 入力デバイスのテスト をご覧ください。
5. **タッチホイールをチェック**

   入力デバイスのテストをご覧ください。
6. **ファンクションキーをチェック**

   入力デバイスのテストをご覧ください。
7. **Intuos4 マウスまたは他の入力デバイスをチェック**

   入力デバイスのテストをご覧ください。
8. これらのテストのいずれかに不合格の場合、タブレット、または入力デバイスの故障が考えられます。

   テクニカルサポートをご覧ください。
9. テスト前にタブレットをカスタム設定でお使いになっていた場合は、テストが終わってからコントロールパネルを使って設定を元に戻してください。

入力デバイスのテスト

入力デバイスが思うように動作しない場合、初めにコントロールパネルを開き、割り当てた機能をチェックするか、あるいは入力デバイスを標準設定の状態に戻すことをお勧めします。

- 入力デバイスを標準設定の状態に戻すには、コントロールパネルの「入力デバイス」リストの右端にある [–] ボタンをクリックしてリストから入力デバイスを削除します。
- 入力デバイスが削除されたあと、再び入力デバイスをタブレットに置きます。入力デバイスは標準設定の状態でリストに再び追加されます。

入力デバイスをテストするには：

- コントロールパネルを開いて、「タブレットについて」ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されますので、「診断」ボタンをクリックして、「診断」ダイアログボックスを開きます。「診断」ダイアログボックスには、タブレットと入力デバイスの、電池残量を含む現在の状態が表示されます。
- 複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄で入力デバイスをテストするタブレットを選択してください。
- タブレットや入力デバイスをテストする際は、「診断」ダイアログボックスに表示される情報をご利用ください。

補足：入力デバイスのボタンをテストする場合、ボタンが「ラジアルメニュー」または「開く／起動…」に設定されていると、ボタンを押すとその機能が実行されます。このような場合、テストの前にボタンの機能を変更してください。



ペンのテスト
タッチホイールのテスト
ファンクションキーのテスト
マウスのテスト

ペンのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスの「入力デバイス情報」欄を見ながら、Intuos4 入力デバイスをタブレットの操作エリアから高さ 10mm を越えないように浮かせます。「読み取り高さ」、「入力デバイス名」、「入力デバイスのタイプ」、「シリアル No」の値が表示されます。複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄で、デバイスをテストするタブレットが選択されていることを確認してください。
2. タブレットの操作エリアでペンを移動させると、X 座標と Y 座標のデータの値が、デバイスの位置を反映して変化します。
3. Intuos4 ペンのボタンをテストします。ペン先でクリックしたり、サイドスイッチを押したり、あるいはテールスイッチ（消しゴム）をタブレットの上で押すと、タブレットのステータスランプが明るく点灯します。
   - タブレットエリアをペン先でクリックします。「入力デバイス情報」の「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します（筆圧は圧力が全くかかっていない状態から最大圧力をかけた状態まで、0% からおよそ 100%まで変化します）。
   - タブレットにペン先を押しあてずに、サイドスイッチを押します。「スイッチ」の状態が変わります。（Intuos4 ペンの両方のサイドスイッチに対してこれを行います。）

ペン	ペン先＝ 1 サイドスイッチ（下側）＝ 2 サイドスイッチ（上側）＝ 3 テールスイッチ（消しゴム）＝ 1
エアブラシ	ペン先＝ 1 サイドスイッチ＝ 2 テールスイッチ（消しゴム）＝ 1

   - タブレットにペンのテールスイッチ（消しゴム）を押しあてます。スイッチの状態と筆圧の値が変わります（筆圧は 0% から 100%まで変わります）。
   - エアブラシの場合は、ホイールを奥に回します。ホイールを完全に奥まで回すと、値はおよそ 0 まで減少します。ホイールを手前に回していき、完全に手前まで回すと、ホイールの値はおよそ 1000 まで増加します。
4. X 軸方向の傾きをテストします。X の「傾き」の値は、ペンを垂直位置から右方向へ傾けると、およそ 0 から＋ 60 まで変わります。ペンを垂直位置から左方向へ傾けると、X の「傾き」の値は、およそ 0 から－ 60 まで変わります。
5. Y 軸方向の傾きをテストします。Y の「傾き」の値は、ペンを垂直位置からタブレットの手前に傾けると、およそ 0 から＋ 60 まで変わります。ペンを垂直位置からタブレットの向こう側へ傾けると、Y の「傾き」の値は、およそ 0 から－ 60 まで変わります。
6. アートペンをテストする場合はペンを垂直に持ち、ペン軸を中心に回転させてペンの回転をテストします。「回転」の値が変化します。
7. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

タッチホイールのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたままタッチホイールのテストをして、「タブレット情報」欄を観察してください。複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄でテストするタブレットが選択されていることを確認します。
2. タッチホイールの周りを一周するように指を滑らせます。タッチホイールに触れて、指先を滑らせるように動かすと、現在の指の位置が「左側トラックパッド」または「右側トラックパッド」に数値で示されます。
3. タッチホイールの切り替えボタンを押して、カスタマイズ可能な 4 つの機能を切り替えます。設定を切り替えるたびに、対応するステータスランプが点灯します。「診断」ダイアログボックス内にも、ボタンの状態が「左側ボタン」に表示されます。

   補足：タッチホイール機能に「スキップ」が設定された場合、対応するステータスランプは点灯しません。
4. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

   重要：ソフトウェアによっては、タッチホイールの設定が無効になったり、制限される場合があります。タッチホイールのテストを行うときは、コントロールパネル以外のソフトウェアを終了させることをおすすめします。詳細については、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

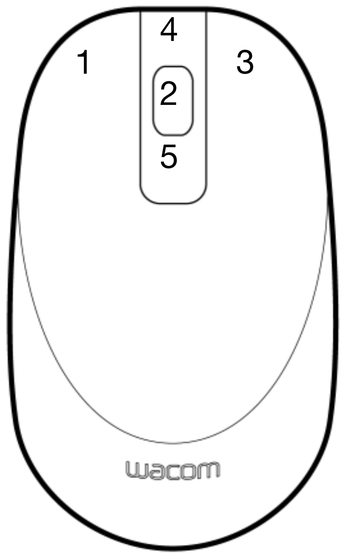
ファンクションキーのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたまま、各ファンクションキーをテストして、「タブレット情報」欄を観察してください。複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄でテストするタブレットが選択されていることを確認します。
2. ファンクションキーを 1 つずつ押して、テストします。キーを押すと、「左側キー」カテゴリーのとなりに番号が表示されます。
3. タブレット上でも、ファンクションキーに対応するアイコンが表示されるか確認してください。
4. 終了後、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

   重要：ソフトウェアによっては、ファンクションキーの設定が無効になったり、制限される場合があります。ファンクションキーのテストを行うときは、コントロールパネル以外のソフトウェアを終了させることをおすすめします。詳細については、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。

マウスのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたまま、Intuos4 マウスをタブレットの操作エリアに置きます。各ボタンをクリックして、ボタンをテストします。タブレットのステータスランプが明るく点灯すれば正常です。また「スイッチ」の状態が変わります。



2. 「診断」ダイアログボックスを最初に開いた場合、「ホイール」の状態は 0 のはずです。ホイールを手前に回すと、「ホイール」の状態は 0 から＋ 1 に変われば正常です。
3. ホイールを奥へ回すと、「ホイール」の状態は－ 1 まで変化すれば正常です。
4. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

トラブルシューティング情報

Intuos4 Wireless または入力デバイスで問題が生じた場合、次の表を参照し、解決策をお試しください。また、必ず「Read Me」ファイルを参照して、最新の情報を確認してください。

問題のより詳細な情報については、ワコムのホームページ（http://tablet.wacom.co.jp/support）をご覧ください。

通信の問題
一般の問題
Windows の問題
Macintosh の問題

通信の問題

コンピュータに内蔵 Bluetooth 機能がない。	お使いのコンピュータでワイヤレス通信を使うには、Bluetooth アダプタ（ドングル）を取り付ける必要があります。アダプタは、ヒューマンインタフェースデバイス（HID）プロファイルを使用する Bluetooth に対応します。
電源スイッチをオンにすると、ワイヤレス通信ランプは 2 ～ 5 秒点灯した後消灯します。	タブレットとコンピュータの通信ができなくなった場合には、Bluetooth の接続設定を確認します。 • Bluetooth 機能内蔵のコンピュータをお使いの場合、Bluetooth が有効か確認してください。Bluetooth アダプタ（ドングル）を使用している場合、正しく接続され動作することをマウスやキーボードなどの別の Bluetooth 対応入力デバイスでテストしてください。 • Bluetooth のコントロールパネルを開き、タブレットが認識されていることを確認します。 • タブレットを Bluetooth アンテナに近づけ、タブレットとアンテナ間の電波の通り道に金属類や高密度の障害物がないことを確認してください。 Bluetooth 通信を確立するを繰り返し行ってください。
電源スイッチをオンにすると、ワイヤレス通信ランプが青色に点滅します。	タブレットのペアリングボタンを押す、あるいは Bluetooth のコントロールパネルからペアリングを削除したため、タブレットとコンピュータにペアリングが解除、または通信が切断されました。 Bluetooth 通信を確立するを参照し、再度ペアリングを行ってください。

電源スイッチをオンにしても、充電状態ランプが点灯しない。	何度か電源スイッチを押してもランプが点灯しない場合には、電池残量が少ない可能性があります。 USB 接続ケーブルを直接コンピュータ本体の USB ポートに接続してください。続いて電源スイッチをオンにしても充電状態ランプが点灯しない場合には、電池不良の可能性があります。
タブレットがペアリング可能デバイスのリストに表示されない。	• タブレットは、「PTK-540WL」という名前のアイコンでペアリングリストに表示されます。 • ワイヤレス通信ランプが点滅していない場合、タブレットの側面のペアリングボタンを押し、タブレットを検出可能にしてください。タブレットは 3 分間 Bluetooth 検出モードになり、ワイヤレス通信ランプが青色に点滅します。 • Bluetooth の設定が、ヒューマンインタフェースデバイス（HID）プロファイルを使用する Bluetooth に対応していることを確認してください。 • タブレットと Bluetooth アンテナが適正な距離で、その間に金属類がないことを確認してください。
ワイヤレス通信を試みたとき、ペアリングに失敗した内容のメッセージが表示される。	コードレス電話や電子レンジなどのワイヤレスデバイスが障害になっている可能性がないかチェックしてください。障害になっているようであれば、そのデバイスの電源を切るかコンピュータから遠ざけてください。 再度ワイヤレス通信を行ってください。
ペアリングは成功したが、ワイヤレスタブレットが正しく動作しない。	タブレットドライバが正しくインストールされているか確認してください。 Bluetooth 通信を最適化するをご覧ください。
USB 接続ケーブルでタブレットとコンピュータ本体の USB ポートを接続しているとき、USB 接続ケーブルを抜くとすぐに電源が切れる。	• 電池収納部を開けて、電池が正しく取り付けられているか確認してください。 • 電池に液漏れや破損がないか確認してください。 • 電池を一晩充電してから再度試してください。問題が解消されなければ、電池の寿命、または破損の可能性がありますので、新しい電池と交換してください。電池の購入については、部品と付属品の注文をご覧ください。 • タブレットとコンピュータが正しくペアリングしているか確認してください。

タブレットの電源をオンにすると、充電状態ランプが点灯したままになり、ポインタを操作できない。	• ペンを使うを参照し、入力デバイスを正しく使用しているか確認してください。 • タブレットを再起動します。 • 電池残量が少ない場合には、USB 接続ケーブルでタブレットとコンピュータ本体の USB ポートを接続してください。 • タブレットの電源スイッチをオフにし、USB 接続ケーブルと内蔵の電池をタブレットから取り外して 10 秒以上放置します。続いてケーブルと電池を元に戻し、再起動し確認してください。

一般の問題

USB 接続ケーブルを接続しても、充電状態ランプが点灯しない。	USB 接続ケーブルがタブレットとコンピュータ本体の USB ポートに正しく接続されているか確認してください。 タブレットをコンピュータ本体の別の USB ポートに接続してください。 問題が解決しない場合は、電池の交換を行ってください。
タブレットの充電状態ランプが赤色に点滅する。	電池残量がほぼゼロになっています。USB 接続ケーブルを接続するか、タブレットの電源をオフにしてください。
タブレットのステータスランプが点灯しない。ペン、マウス、タッチホイール機能切り替えボタンをタブレット上で使用しても、ランプが点灯しない。	タブレットの電源が入っているか確認してください。 **ワイヤレス接続の場合、**充電状態ランプが点灯し、Bluetooth ワイヤレス接続が有効か確認してください。 **USB 接続ケーブルで接続している場合、**USB 接続ケーブルでタブレットと有効な USB ポートを正しくつないでいるか確認してください。必ずコンピュータ本体の USB ポートに接続してください。
タブレットを接続した後、USB デバイスを動作させるのに必要な電力が不足していることを示すメッセージが表示される。	タブレットがコンピュータ本体の USB ポートに接続されていることを確認してください。

タブレットの充電中、必ずコンピュータがスリープモードになり停止する。	システムの電源または節電設定を確認し、タブレットの充電中はコンピュータがスリープモードになるよう設定されていれば、設定を変更してください。
ペンを使ってタッチホイールを操作できない。	タッチホイールは指で操作してください。ペンでは操作できません。
ペンがマウスモードでのみ動作する。筆圧感度を使って線が描けない。	タブレットドライバがインストールされていないか、または適切に読み込まれていません。 • タブレットドライバがインストールされていて、コントロールパネルが開けるか確認してください。またインストールされている場合、設定ファイルユーティリティーを削除して下さい。 • タブレットドライバがインストールされていない場合は、タブレットドライバ CD をコンピュータに挿入し、タブレットドライバをインストールします。
ペンが筆圧を検出して描けない。	ソフトウェアによっては筆圧機能をオンにすることが必要なものもあります。または、ペンの前に選択したツールが筆圧検出ツールとして反応することがあります。 ソフトウェアによっては筆圧に対応していない場合があります。お使いのソフトウェアが筆圧に対応しているかどうかわからない場合は、ソフトウェアに付属の取扱説明書等をご覧ください。
クリックが利かない。	「ペン先の感触」を柔らかくしてください。ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。
ペン先でダブルクリックが利かない。	• サイドスイッチでダブルクリックしていただくことをお勧めします。クリックをご覧ください。 • タブレットの操作エリアの同じ場所を 2 回、速くたたいていることを確認してください。 • ペン先の「ダブルクリック距離」を大きくします。ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。 • 「ペン先の感触」を柔らかく設定します。ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。 • ファンクションキーの 1 つを「ダブルクリック」に設定して、ダブルクリックを実行します。 • **Windows**：1 回のクリックでプログラムが起動するように設定します。クリックをご覧ください。
ペンがあらゆるものを選択して、止まらない。	コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「硬い」方へ移動させます。あるいは、「詳細設定」を選択して「クリック圧」の設定を大きくします。芯の抜き差しも行って下さい。正常に戻らない場合、入力デバイスのテストをご覧ください。またはワコムサポートセンター へご連絡ください。 ペン芯がすり減っている可能性があります。芯を交換するをご覧ください。

テールスイッチ(消しゴム)があらゆるものを選択する。消し続ける。	コントロールパネルを開いて、「テールスイッチ」タブを選択します。「消しゴムの感触」スライダを「硬い」方へ移動させます。あるいは、「詳細設定」を選択して「クリック圧」の設定を大きくします。正常に戻らない場合は、入力デバイスのテストをご覧ください。またはワコムサポートセンター へご連絡ください。
ペンのストロークやブラシストロークの開始が遅れる。	コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ダブルクリック距離」を少なくしてください (ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください)。動作しない場合、「ダブルクリック距離」のスライダを「OFF」へドラッグして「ダブルクリックアシスト」をオフにします。 Ink 機能をオフにしてください。
クリックしたり描画したり、文字を書く場合、ペンを強く押さなければならない。	コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」のスライダを「柔らかい」へ移動させます。また、「詳細設定」を選択して、「筆圧感度」と「クリック圧」の設定を減少させます。
ペン先が利かない。	• 必ずペンタブレットに付属のペン、またはオプションのペンを使用して下さい。それ以外のペンは基本的に Intuos4 Wireless で正しく機能しません。 • コントロールパネルの「ペン」タブで、「クリック」機能がペン先に割り当てられていることを確認してください。 • テールスイッチ(消しゴム)が動作するかを確認してください。 • ペン先を押したとき、ステータスランプが明るく点灯することを確認してください。明るくならない場合、タブレット本体に問題がある可能性があります (入力デバイスのテストをご覧ください)。
入力デバイスに対して機能の設定を変更しても反映されていない。	設定が変更を、使用中のデバイスとソフトウェアに対して行っているか確認してください。複数デバイスでの作業と特定のソフトウェアに対する設定をご覧ください。
ペンのサイドスイッチが利かない。	必ずペンタブレットに付属のペン、またはオプションのペンを使用して下さい。それ以外のペンは基本的に Intuos4 Wireless で正しく機能しません。 ペン先がタブレットの操作エリアから 10mm 以内にあるときに、サイドスイッチを押しているか確認してください。ペン先でタブレットを押さずにこれを行ってください。 コントロールパネルで、サイドスイッチが、使用中のソフトウェアと入力デバイスで実行する機能に設定されていることを確認してください。 「サイドスイッチエキスパートモード」も確認してください。「ペン先とともにクリック」が選択されている場合は、クリック操作を行うためには、サイドスイッチを押しながらペン先をタブレット表面にタッチする必要があります(サイドスイッチのカスタマイズをご覧ください)。 サイドスイッチを押すと、タブレットのステータスランプが明るく点灯することを確認してください。点灯しない場合、タブレット本体に問題がある可能性があります(入力デバイスのテストをご覧ください)。

画面のポインタがジャンプして引き戻される。	Intuos4 入力デバイスを使用しないとき、または他のデバイスを利用しているとき、Intuos4 入力デバイスをタブレットの上に置かないでください。タブレットの上に置いたままにすると、通常のマウスなどを使ったときに、画面でポインタを操作できなくなる場合があります。
ポインタが画面上の思う位置に移動しない。またはペイントソフトウェアで、描いた線とポインタの位置が合わない。	コントロールパネルを開いて、「マッピング」タブを指定します。「ペンモード」が選択され、選択したデバイスとソフトウェアに対して「表示エリア」が「最大」に設定されていることを確認してください。効果がない場合、「標準設定」ボタンをクリックしてください。それでも効果がない場合、タブレットの設定ファイルを削除してください。 ペンが機能するかどうかを確認します。入力デバイスのテストをご覧ください。
コンピュータが節電モードにならない。	Intuos4 入力デバイスを使用しない場合、タブレットの上にデバイスを置いたままにしないでください。置いたままにすると、タブレットはデータを送り続け、コンピュータは節電モードにはなりません。
画面のポインタが揺れたり、飛び回ったりする。	まれに、タブレットはコンピュータディスプレイやラジオ局から電磁波の影響を受ける場合があります。ディスプレイからの電磁波による影響に気付いた場合、タブレットをディスプレイから少なくとも 30cm ほど離してみてください。あるいは、ディスプレイのリフレッシュレートまたは解像度を変更してください。 ポインタが遅れたりジャンプする場合、Bluetooth 通信を最適化するをご覧ください。
一部のソフトウェアでポインタまたはペンストロークが遅れたり、ポインタが飛び回ったりする。	Bluetooth 通信を最適化するをご覧ください。
マルチディスプレイで Intuos4 Wireless を使用している場合、他のディスプレイ上でペン先が機能しない。	ファンクションキーの 1 つが「マッピング画面切り替え」に設定されていて、そのボタンを誤って操作した可能性があります。詳細についてはマッピング画面切り替えを使うをご覧ください。 「マッピング」タブの「表示エリア」が「最大」に設定されていることを確認してください。 マウスモードでペンを使って、他のディスプレイを操作することもできます。マウスモードにするには、初めにサイドスイッチを「ペン⇔マウスモード…」に設定します。次に、スイッチを使ってペンモードとマウスモードを切り替えます。

ソフトウェアによって、ファンクションキーやタッチホイールがコントロールパネルの設定と異なる動作をする。	ソフトウェアによっては、ファンクションキーやタッチホイールの設定が無効になったり、制限されることがあります。 • ファンクションキーの設定がソフトウェアによって無効にされた場合は、ファンクションディスプレイに新たな機能名称か、または「アプリケーションの設定に従う」と表示されます。 • タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うをご覧ください。 特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合は、目的のソフトウェアに対して設定を行ったかどうか確認してください。
コントロールパネルから「タブレットの向き」を設定したにも関わらず、ログイン画面では、設定したのとは違う向きで動作する。	インストール済みのタブレットドライバのアンインストールを行い、コンピュータを再起動します。タブレットドライバ CD からタブレットドライバを再インストールし、標準設定のタブレットの向きを変更してください。詳細については、タブレットの向きを設定するをご覧ください。

Windows の問題

タブレットの設定ファイルが壊れている。 または、設定ファイルを標準設定の状態にもどす。	「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を使用して、再設定を行います。開いているアプリケーションをすべて閉じ、Windows の「スタート」ボタンをクリックし「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」から「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。 • 作業を始める前にタブレット設定のバックアップを作成することをお勧めします。「タブレット設定ファイルユーティリティ」ダイアログボックスで、「バックアップ」をクリックし、画面の指示に従って設定します。 • 続いて以下の手順でタブレットの設定を削除します。 **シングルユーザの場合** 「タブレット設定ファイルユーティリティ」ダイアログボックスで、「環境設定」の「削除」ボタンをクリックし、現在のユーザ設定を削除します。 **マルチユーザの場合** 「すべてのユーザ設定」の「削除」ボタンをクリックし、マルチユーザの設定を削除します。すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、administrator 権限が必要です。現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。 以前の設定ファイルのバックアップがある場合は、「ログインユーザーの設定ファイル」の「復元」ボタンをクリックするとタブレットの設定を素早く復元できます。
コンピュータのマウスコントロールパネルの右手と左手の設定を変更した後、ペン先が適切に機能しなくなり、Intuos4 マウスのボタン機能が反転する。	Intuos4 入力デバイスの設定を正しく認識させるには、Windows を再起動します。

Macintosh の問題

コンピュータを起動すると、ドライバの読み込みに失敗したか、あるいはタブレットの設定ファイルがまだ作成されていないという内容のダイアログボックスが表示される。	タブレットが、起動時に検出されませんでした。 **ワイヤレス接続を使用している場合、**必ず Bluetooth タブレットのワイヤレス接続を有効にしてください。ワイヤレス通信ランプおよびステータスランプが点灯していることを確認します。「移動」メニューから、「ユーティリティ」フォルダを選択し、「システムプロファイラ」を起動します。「内容」一覧の「ハードウェア」セクションで「BLUETOOTH」を選択すると、Bluetooth 対応タブレットが一覧表示されます。一覧表示されない場合、ワイヤレス接続の状態を確認してください。 **付属 USB 接続ケーブルで接続している場合、**USB 接続ケーブルがタブレットとコンピュータの USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。また、タブレットのステータスランプが点灯していることを確認してください。 「移動」メニューから、「ユーティリティ」フォルダを選択して「システムプロファイラ」を起動します。「内容」一覧の「ハードウェア」から「USB」を選択します。ワコム USB タブレットがリストに表示されます。表示されない場合、USB 接続ケーブルの接続を確認するか、あるいはタブレットをコンピュータ本体の別の USB ポートに接続してみてください。 これで解決しない場合は、ワコムのテクニカルサポートに連絡してください。テクニカルサポートをご覧ください。
Apple ノートパソコンをお使いの場合、ふたを閉めた後に Intuos4 Wireless のスイッチを切ることができない。	Apple ノートパソコンをお使いの場合、ふたを閉める前にタブレットのスイッチを切ってください。 Apple ノートパソコンのふたを閉めると、タブレットのスイッチは 5 分後に自動的に切れます。エラーではありません。 以下の方法を使うと、Bluetooth 対応デバイスにコンピュータを復帰させないようにすることができます。これは、コンピュータがスリープモードになったときや Apple ノートパソコンのふたを閉めたときに、タブレットのスイッチが直ちに切れるようにする設定です。 Bluetooth 対応デバイスにコンピュータを復帰させないようにする 1. アップルメニューから「システム環境設定」を選択します。 2. システム環境設定パネルの「ハードウェア」から「BLUETOOTH」をクリックします。 3. Bluetooth のコントロールパネルの、「詳細」をクリックします。 4. 「BLUETOOTH デバイスに、このコンピュータを復帰させる」のチェックが外れていることを確認してください。 Bluetooth のコントロールパネルを終了し、「システム環境設定」を終了します。

タブレットの設定ファイルが壊れている。 または、設定ファイルを標準設定の状態にもどす。	「ワコムタブレットユーティリティ」を使用して、お使いの環境設定を調べます。開いているアプリケーションをすべて閉じ、メインメニューの「アプリケーション」を開きます。続いて「ワコムタブレット」を開き、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。 • 作業を始める前にタブレット設定のバックアップを作成することをお勧めします。「ワコムタブレットユーティリティ」では、「現在のユーザ」または「すべてのユーザ」を選択します。次に、「バックアップ」をクリックし、設定指示に従います。 • 次に、下記のとおり、タブレット設定を削除します。 **シングルユーザー：**ユーティリティが起動したら、「ログインユーザー」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。ログアウトしてから、再度ログインします。タブレットドライバが読み込まれると、新しい設定ファイルが標準設定で作成されます。 **マルチユーザー：**ユーティリティが起動したら、「すべてのユーザー」を選択してから「削除」ボタンをクリックします。ログアウトしてから、再度ログインします。タブレットドライバが読み込まれると、新しい設定ファイルが標準設定で作成されます。 設定ファイルのバックアップを取っておけば、ユーティリティの中の「復元」ボタンをクリックして「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」の設定ファイルを素早く復元することができます。 **補足：**「WacomTablet.Prefpane」ファイルを「ライブラリ」フォルダの「PreferencePanes」フォルダから手動で削除しないでください。このファイルは、タブレットドライバをアンインストールする場合と、今後「ワコムタブレットユーティリティ」を使用する場合にのみ削除されます。
Ink が、Intuos4 Wireless で正しく動作しない。	Ink の設定ファイルに問題があるかもしれません。次のようにして、損傷した設定ファイルを削除します。手書き入力認識を有効にすると、設定ファイルが再び作成されます。 1. 「システム環境設定」画面を開き、「すべてを表示」を選び、「Ink」を選択します。次に「手書き認識」を「切」にします。 2. 「移動」メニューから、「ホーム」を選択します。「ライブラリ」を開いて、「Preferences」フォルダを開きます。次の「preference」ファイルを削除します。 • com.apple.ink.framework.plist • com.apple.ink.inkpad.plist • com.apple.ink.inkpad.sketch 3. 再度、「システム環境設定」→「Ink」を選択します。「手書き認識」を「入」にします。 4. ワコムタブレットとペンを使って、Ink 機能をテストします。 この処理で Ink の問題が解決されずに、さらにサポートが必要な場合はアップルコンピュータに連絡してください。

テクニカルサポート

ペンタブレットに問題がある場合、始めにクイックスタートガイドを読んで、タブレットドライバが正しくインストールされていることを確認してください。次に、トラブルシューティングの処理を見直してください。

このマニュアルで解決法が見つからない場合、「Read Me」ファイル（タブレットドライバ CD にあります）に、問題に関する最新情報が記載されていることがあります。ワコムのホームページの製品 FAQ（よくある質問）もチェックしてください。

インターネットに接続できる場合は、ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードできます。ドライバのダウンロードをご覧ください。

問題が解決せず、ワコムタブレットが正しく動作していないと思われる場合、ワコムサポートセンターに連絡してください。連絡先については、ワコムタブレットに付属するタブレットドライバ CD に収録されている「Read Me」ファイルをご覧ください。

電話によるサポートを受ける場合、次の情報を用意してください。

- 本書
- ペンタブレットのシリアルとモデル番号（タブレット本体の背面をご覧ください）
- ドライバのバージョン（タブレットドライバ CD をご覧ください。あるいはコントロールパネルの「タブレットについて」ボタンをクリックしてください。）
- コンピュータの製造元と型式、およびオペレーティングシステムのバージョン
- コンピュータに接続された周辺機器のリスト
- 問題が発生した時に使用していたソフトウェアとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生した時に起こったことをどう処置したか
- どのように問題を解決しようとしたか

ドライバのダウンロード

ワコムはお使いの製品と新しい製品との互換性を図るために、定期的にタブレットドライバの更新を行っています。機能を最適に使用するためにドライバを定期的に更新することをお勧めします。新しいタブレットドライバ（利用可能な場合）は、ワコムのホームページからダウンロードできます。

ワコムのホームページ：　http://tablet.wacom.co.jp/download

付録

このセクションでは、タブレットとデバイスのお手入れ、タブレットドライバのアンインストール、保証などに関する情報とヒントを説明しています。

タブレットドライバのインストール

詳細については、付属のクイックスタートガイドをご覧ください。また Bluetooth 通信を確立するをご覧ください。

電池寿命について

電池はご使用につれ劣化し蓄電能力を失っていきます。ご使用状況にかかわらず、充電式リチウムイオン電池の標準寿命は約 2 ～ 3 年です。

電池が劣化して充電できなくなった場合には、新しいタブレット用電池を購入する必要があります。交換用電池のご注文については、部品と付属品の注文をご覧ください。

- 充電式リチウムイオン電池の寿命と性能は、電池の使用と再充電を繰り返し行っても改善はされません。
- 電池を使用していないときに、低温保管、およびフル充電ではなく余裕のある状態で電池を保管すると、劣化の速度を遅らせることができます。
- 画面に電池残量が少ないという警告が表示されたり、充電状態ランプが赤色に点滅し始めたときは、速やかに充電を行ってください。電池残量を減らさないために、タブレットはオートシャットダウンモードに入ります。タブレットのオートシャットダウンモードでも、タブレットは少量の電力を消費し続けます。電源スイッチをオフにしてから充電を行ってください。
- 電源スイッチがオンの場合、タブレットにはいつでも電池から電流が流れています。オートスリープやオートシャットダウンモードの場合でも電流が流れ、電池からは電流が放電されています。タブレットを数日間使用しない場合は、あらかじめ電池を充電し、タブレットの電源スイッチをオフにしておくことをお勧めします。
- 電池の残量が少ない状態で、電源スイッチがオンのまま電池が長期間（1 週間以上）タブレット内にあると、電池から少量の電流が流れ、電池が放電しやすくなります。この場合、電池の内部保護回路が作動し、電池を充電することができなくなります。電池を長期間使用するために、１週間以上タブレットを使用しない場合は、タブレットの電源をオフにしてください。
- 長期間（1 カ月以上）使用しない場合は、電源をオフにする前に、半分以上電池を充電することをお勧めします。この場合には電池を取り外す必要はありません。電源をオフにすることで、電池がタブレットの回路から遮断され、放電することがなくなります。長期保存時は、少なくとも年に 1 回以上充電することをお勧めします。
- 充電式リチウムイオン電池は、過放電されると充電ができなくなります。これは、電圧が最低安全レベル以下になると電池の内部保護回路が働き、充電を防止するためです。

  警告：必ず充電式リチウムイオン電池の安全上の注意をご覧ください。

タブレットの電池交換

タブレットの電池が寿命で充電や蓄電ができなくなった場合、電池を交換する必要があります。必ずお使いのタブレット専用の充電式リチウムイオン電池をご使用ください。交換用電池のご注文については、部品と付属品の注文をご覧ください。電池は、お近くの電器店でもご購入いただけます。

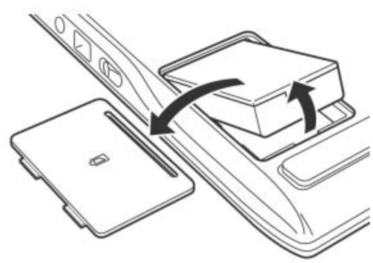
重要：必ずお使いのタブレット専用の電池をご使用ください。

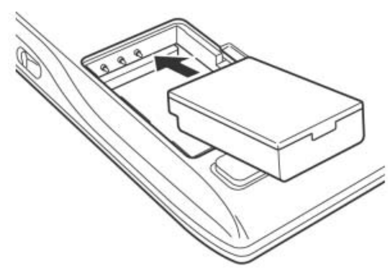
電池を交換する：

1. タブレットの裏側の電池カバーを開けます。指先でラッチバーを内側に押し、カバーを外側に開いて取り外します。
2. 古い電池を取り出します。
3. 新しい電池の端子部をタブレット側の端子部と合わせ、図のように電池収納部にセットします。電池を逆側から挿入するとタブレットを破損するおそれがありますので、必ず電池の端子側から挿入してください。
4. 電池カバーを閉じます。

重要：電池を交換するときに、硬い物の上などに電池を落とさないようにご注意ください。電池内部が破損するおそれがあります。また落とした電池は、破損したように見えない場合でも新しい電池と交換してください。万一タブレット内部でショートや液漏れが発生した場合、タブレットが故障する恐れがあります。

警告：必ず充電式リチウムイオン電池の安全上の注意をご覧ください。





多くの地域で自主的または強制的リサイクルプログラムを実施しています。ご使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って、充電式リチウムイオン電池の安全上の注意をお読みの上適切にリサイクルしてください。電池はお子様の手の届かない所に保管し、使用済みの電池は直ちにリサイクルしてください。

タブレットと入力デバイスのお手入れ

Intuos4 入力デバイスとタブレットは清潔にお使いください。ちりや砂ぼこりは、タブレットの表面を傷つけます。柔らかい布を水や刺激の少ない石けん水で濡らし、固く絞って、定期的にタブレットを拭いてください。タブレット、ペン、マウスなどを長い期間ご利用いただくことができます。アルコール、シンナー、あるいはベンゼンのような揮発性の液体は、プラスチックケースを傷めますので使用しないでください。

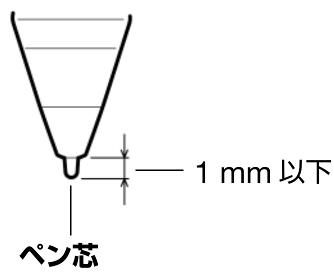
タブレットを清潔にし、涼しい場所で、極端な温度変化を避けて保管してください。Intuos4 入力デバイスとタブレットは分解しないでください。ペンを強くねじると、ペンが壊れる可能性があります。製品を分解すると、保証が無効になります。

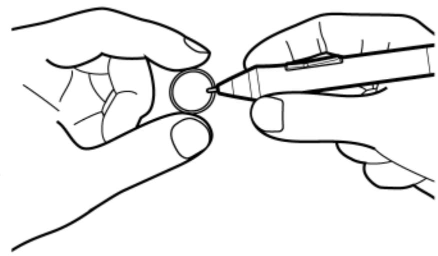
重要：タブレットや入力デバイスに液体をこぼさないように注意してください。タブレットのファンクションキーやタッチホイール、ペンのスイッチを濡らさないよう、特にご注意ください。精密な電子部品が使われているため、液体が中に入ると故障の原因となります

芯を交換する

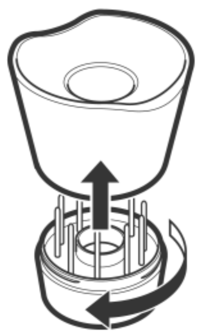
ペン芯は、使っていく間に磨り減っていきます。過度の筆圧を加えると、より早く磨耗します。芯が短くなりすぎた場合（約 1mm 以下）、平らになった場合は交換してください。

1. 芯抜き、ピンセットなどで芯を挟んで、ペンからまっすぐに引き抜きます。



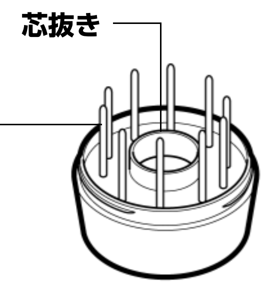


2. ペンスタンドの底部分を回して外し、芯抜きと替え芯を取り出します。

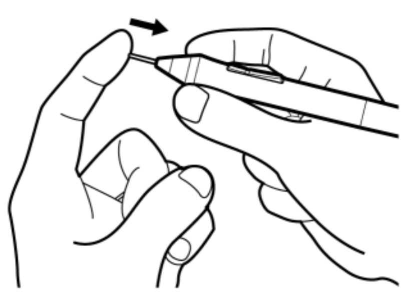


交換用の芯

- 標準芯（5 本、黒色）
- ハードフェルト芯（3 本、グレー）
- エラストマー芯
  （1 本、中心が白色、外縁が黒色）
- ストローク芯（1 本、白色）



3. 新しい芯を、止まるまで差し込んでください。



補足：ストローク芯にはバネが組み込まれているため、Intuos4 ペンあるいはエアブラシで作業するときに独特の手応えが加わります。ストローク芯は、標準のペン芯と同じ方法で取り付けることができます。

警告：子供がペン芯やサイドスイッチを飲み込まないようにご注意ください。

交換部品の注文については、利用可能な部品と付属品をご覧ください。

重要：ペンを使用していない間は、ペンスタンドに置くか机の上に寝かせてください（オプション品のエアブラシは、机の上に寝かせてさい）。ペンをタブレット上に置いたままにすると、タブレットの電源を切れなくなったり、電池が消耗する原因になる場合があります。
ペン先がテールスイッチに接触するような入れ物に入れて、保管しないでください。ペン先やテールスイッチを押した状態でペンを収納すると、ペンが故障する場合があります。

また、ペンスタンドが使いにくい場合は、付属のペンホルダーをタブレットに取り付けペンホルダーの輪にペンをセットすると、安全に保管することができます。

タブレットドライバのアンインストール

タブレットとタブレットドライバをシステムから削除するには、以下の方法で行ってください。

重要：タブレットドライバをシステムからアンインストールすると、ペンタブレットのタブレット機能は動作しませんが、マウスとしては機能します。

Windows 7 と Windows Vista（64 ビット版を含む）：「スタート」ボタンをクリックして、「コントロールパネル」を選択します。コントロールパネルから「プログラムのアンインストール」を選択します。ダイアログボックスから「ワコムタブレット」を選択します。「アンインストール」ボタンをクリックして、画面の指示に従い、タブレットドライバを削除します。タブレットドライバをアンインストール後に、必ずコンピュータを再起動してください。

Windows XP（64 ビット版を含む）：
「スタート」をクリックして、「コントロールパネル」を選択します。次に、「プログラムの追加と削除」を選択します。「プログラムの追加と削除」ウィンドウで、「ワコムタブレット」を選択して「削除」ボタンをクリックします。画面の指示に従い、タブレットドライバを削除します。ドライバが削除されたら、タブレットをコンピュータからはずします。タブレットドライバをアンインストール後に、必ずコンピュータを再起動してください。

Macintosh：

「Finder」の「移動」メニューから「アプリケーション」を選択して、「ワコムタブレット」フォルダを開きます。「ワコムタブレットユーティリティ」アイコンをダブルクリックして、タブレットドライバの項目の「削除」ボタンを選択します。管理者の「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。削除が終了したら、「OK」をクリック し、コンピュータからタブレットをはずします。タブレットドライバをアンインストール後に、必ずコンピュータを再起動してください。

補足：Intuos4 Wireless とコンピュータの接続を完全に削除するには、オペレーティングシステムの Bluetooth デバイスコントロールパネルからペアリング情報を削除する必要があります。

パスワードとは Mac のログインパスワードです。

タブレット設定ファイルの管理

ワコムタブレット設定ファイルユーティリティを使用すると、シングルユーザーまたはマルチユーザーのタブレット設定ファイルの管理が行えます。

Windows の場合は、起動中のソフトウェアをすべて終了します。次に、「スタート」アイコンをクリックし、「すべてのプログラム」を選択します。「ワコムタブレット」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。

- ログインユーザーの設定ファイルを削除するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。
- マルチユーザーの設定ファイルを削除するには、「すべてのユーザーの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。すべてのユーザーの設定ファイルを削除するには、administrator 権限が必要です。最後に現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。
- 現在の設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「バックアップ」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「復元」をクリックします。

表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。

Macintosh で設定ファイルユーティリティを開くには、最初に「アプリケーション」フォルダを開きます。次に「ワコムタブレット」フォルダを開いて、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

- 設定ファイルを削除するには、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」のいずれかを選択してから、「削除」ボタンをクリックします。ログアウトしてから再度ログインします。タブレットドライバが読み込まれると、新しい設定ファイルが標準設定で作成されます。
- 設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」のいずれかを選択してから、「バックアップ」ボタンをクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」のいずれかを選択してから、「復元」ボタンをクリックします。

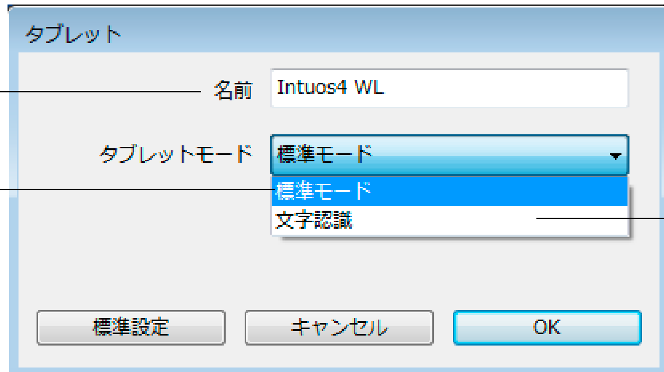
表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。

タブレットモードの変更

コントロールパネルの「タブレット」リストで、タブレットアイコンをダブルクリックして、「タブレットモード」ダイアログボックスを表示させます。「タブレットモード」の設定は、すべてのデバイスとソフトウェアに適用されます。

必要に応じて、タブレットアイコンの新しい名前を入力します。

グラフィックソフトウェアで推奨します。これが標準設定です。



最大のデータ速度です。手書き認識ソフトウェアで必要になる場合があります。

EDR（高速データレート）プロトコルに対応する Bluetooth v2.0 以上の接続のみでサポートされます。

複数タブレットの設置

「タブレット」リストには、サポートされたタブレットでシステムに検出されたものがアイコンで表示されます。

- システムは USB ポート上の接続されたタブレットを検索します。新しいタブレットが検出されると、自動的に初期化されます。
- 複数のタブレットが設置されていると、コントロールパネルを開くために使用したタブレットが、デフォルトのタブレットとして選択されます。

入力デバイスとソフトウェアをカスタマイズするタブレットのアイコンを選択します。

- コントロールパネルは、サポートされているタブレットがコンピュータに接続されていないときは表示されません。
- 接続されているタブレットの設定を、表示または変更することができます。



タブレットを追加する場合は、追加するタブレットをコンピュータに接続してください。システムが自動的にタブレットを認識して初期化し、コントロールパネルにタブレットアイコンを表示します。

重要：複数のタブレットを Windows システムに追加する場合、追加されたタブレットではソフトウェアによってテールスイッチ（消しゴム）が機能しない場合があります。最初にコントロールパネルに設置されたタブレットでは、正しく機能します。

ドライバから複数あるタブレットのうちの１つを削除するには：コントロールパネルで、削除するタブレットを選択します。「タブレット」リストのとなりにある［—］ボタンをクリックします。

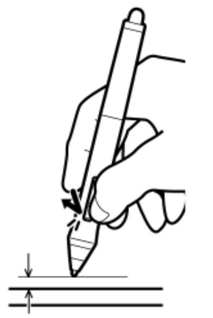
- 削除するタブレットがコンピュータに接続されていない場合には、リストから削除することはできません。
- タブレットをドライバに再度追加するには、先にコンピュータを再起動する必要があります。ご注意ください。

オプション設定

「オプション」ダイアログボックスを表示するには、コントロールパネルで「オプション」ボタンを押します。

「サイドスイッチエキスパートモード」では、右クリックや他のクリック機能を実行する際のペンの操作方法を変えることができます。

- **「浮かした状態でのクリック」を選択した場合**：ペンをタブレット面から少し浮かせた状態でサイドスイッチをクリックします。

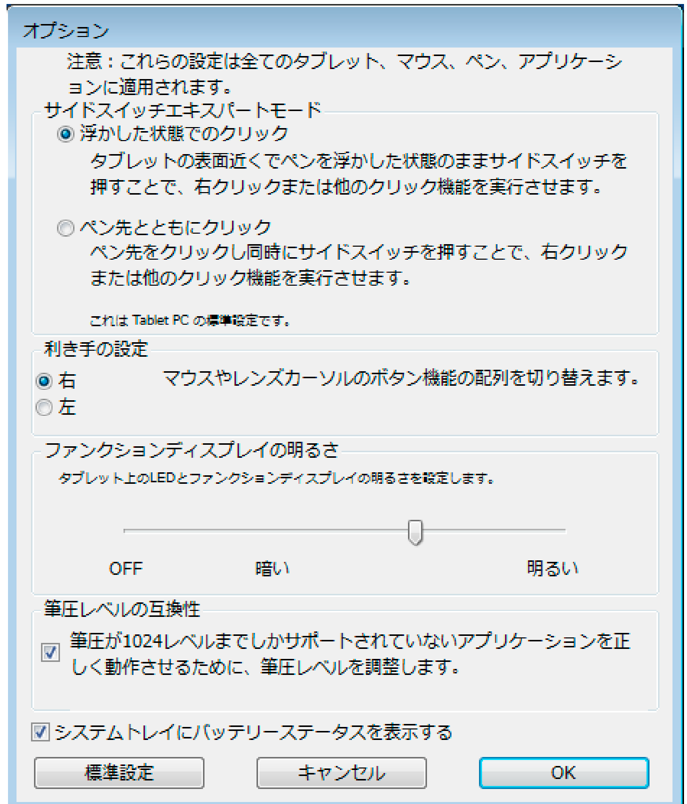


浮かした状態でのクリック

- **「ペン先とともにクリック」を選択した場合**：正確なクリック位置を決めることが可能です。クリック操作を行うには、サイドスイッチを押しながら、ペン先をタブレット表面にタッチします。



ペン先とともにクリック



「利き手の設定」では、Intuos4 マウスを右手、または左手で使えるように、ボタンの向きを変更します。

「ファンクションディスプレイの明るさ」では、接続されたすべてのタブレット上にあるタッチホイールのステータスランプや、ファンクションディスプレイの明るさを設定できます。スライダが左端にあるときは、タッチホイールのステータスランプが暗くなり、ファンクションディスプレイは消灯します。ファンクションディスプレイの最適化もご覧ください。

補足：タブレットの省電力モードでは、タッチホイールのステータスランプやファンクションディスプレイの明るさは次のように変化します。

1 分間入力がない場合	ファンクションディスプレイやステータスランプの明るさを低減
2 分 30 秒入力がない場合	ファンクションディスプレイのステータスランプがオフになります ステータスランプの明るさを低減
入力中	明るさの設定レベルを元に戻す

- サポートする筆圧レベルが 1024 レベルまでのグラフィックソフトウェアを使用する場合は、「筆圧レベルの互換性」チェックボックスを必ず選択してください。これを選択しないでソフトウェアを使用すると、ペンの感度が高くなり過ぎてしまいます。
- Windows の「システムトレイアイコン」または Macintosh の「メニューバーアイコン」は、標準設定ではワコムアイコンをシステムタスクバー（Windows）またはメニューバー（Macintosh）に表示するように設定されています。アイコンを削除するには、チェックボックスからチェックを外してください。

ファンクションディスプレイの最適化

ペンタブレットのファンクションディスプレイは、有機発光ダイオード（OLED）を使用しています。ディスプレイは、高度な性能を長時間維持できるように設計されていますが、長い間点灯し続けたピクセルは、明るさが低下していきます。点灯していないピクセルとの明るさの違いを最小に抑えるためには、「ファンクションディスプレイの明るさ」で、必要な最低限の明るさに設定することをお勧めします。詳細はオプション設定をご覧ください。

補足：5 分間入力が行われない場合、ペンタブレットの消費電力機能により、ファンクションディスプレイは自動的に明るさが低下します。ペンタブレットが 10 分間操作されない場合、ファンクションディスプレイは消灯します。

タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う

ソフトウェアによっては、ペンタブレットのファンクションキーまたはタッチホイール機能を直接操作するように設計されているものがあります。この処理を組み込んだソフトウェアで作業を行う場合、ファンクションキーまたはタッチホイールは、コントロールパネルで設定されている機能とは異なる動きをする場合があります。

- ファンクションキーの機能がソフトウェアによって書き換えられた場合、ファンクションディスプレイは自動的に更新され、新しい機能名か、または「アプリケーションの設定に従う」のいずれかが表示されます。ソフトウェアによっては、ファンクションキーのいくつか、またはすべてがソフトウェアにより書き換えられることがあります。
- タッチホイールの機能がソフトウェアによって書き換えられた場合、すべてのタッチホイール機能がその影響を受けます。ソフトウェアが 4 つのタッチホイール機能のうち 1 つ、2 つまたは 3 つだけ変更されると、残りの機能はスキップされます。
- ソフトウェアが実行中または画面の最前面にある場合のみ、このソフトウェアはファンクションキーあるいはタッチホイールの機能をコントロールします。そのソフトウェアを終了する（または作業するために別のソフトウェアのウィンドウ枠を選択する）と、コントロールパネルの設定は以前の状態に戻ります。
- 画面の最前面にあるソフトウェアに対して、ファンクションキーまたはタッチホイール機能の設定を確認するには、「設定内容の表示」にファンクションキーを設定してそのキーを押します。

通常、このような処理を組み込んだソフトウェアでは、ワコムのペンタブレットの使用にあたり、この機能を選択しないかまたは無効にできます。機能についての具体的な詳細、およびこの機能をカスタマイズする、または無効にする方法についてはソフトウェアで提供される取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェア操作時に表示される説明、またはソフトウェアの取扱説明書に、この機能を無効にする方法が記載されていない場合、コントロールパネルを使って、特定のソフトウェアに対する設定を作成し、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアの動作に優先させることができます。

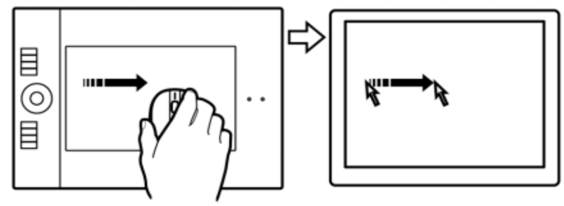
特定のソフトウェアに対する設定を作成するための情報については、特定のソフトウェアに対する設定をご覧ください。

重要：特定のソフトウェアに対する設定をタブレットコントロールできる処理を組み込んだアプリケーションで作成した場合、「アプリケーションの設定に従う」をファンクションキーまたはタッチホイールに設定すると、このアプリケーションによってこれらの機能がコントロールされます。

マウスを使う

Intuos4 マウスはコードレスで電池レスです。Intuos4 Wireless タブレット上で動作します。

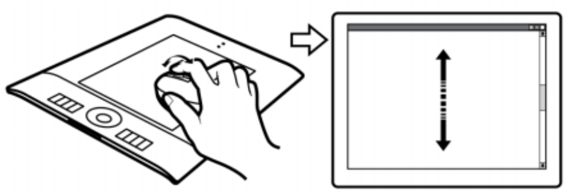
注意：製品構成によってはマウスが付属していません。



ホイール

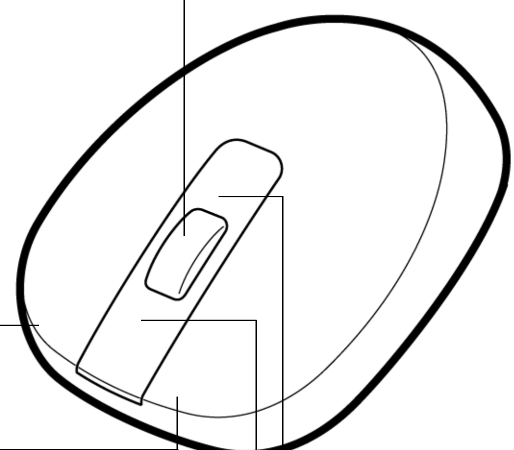
ホイールは、回すことと、押すことができます。

- ホイールを回すと、ほとんどのウィンドウとソフトウェアでスクロールすることができます。ホイールを手前に回すと下方向に、逆に回すと上方向にスクロールします。



- ホイールを押すと、「中ボタンクリック」が実行されます。

ヒント：ホイールマウスをサポートする Microsoft Office では、［Ctrl］キーを押しながらホイールを回転させると、ズーム操作を実行することができます。



右ボタン

押すと、コンテキストメニューが表示されます。

左ボタン

標準設定で「クリック」が設定されています。オブジェクトの選択で使用します。

奥と手前のボタン

インターネットブラウザの「進む」と「戻る」に相当します。

マウスボタンの標準設定

左ボタン：	「クリック」
右ボタン：	「右ボタンクリック」
中ボタン：	「中ボタンクリック」
奥：	「進む」
手前：	「戻る」

重要：Intuos4 マウスを使用しないときは、机の上に置いてください。Intuos4 入力デバイスをタブレットの上に置いたままにすると、通常のマウスなどを使うとき、ポインタの位置決めができなくなる場合があります。また、コンピュータがスリープしなくなる場合があります。

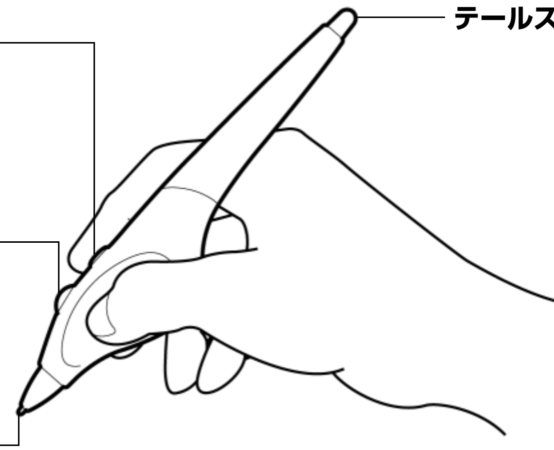
マウスのカスタマイズもご覧ください。

エアブラシとアートペンを使う

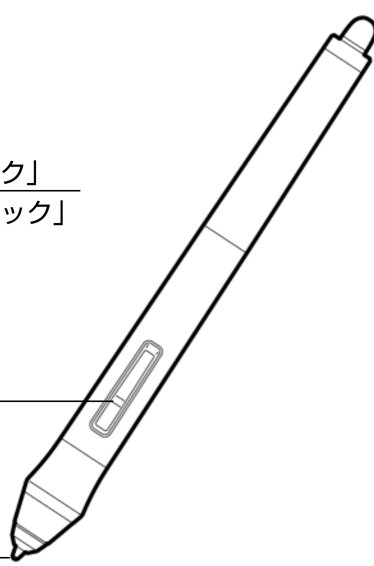
オプション品の Intuos4 エアブラシはペンのように使うことができます。エアブラシにはホイールが付属しており、ホイールを使って、エアブラシの太さなどに変化を与えることができます。

ソフトウェアのサポートにより、エアブラシの写実的な描写がシミュレートできます。たとえば、エアブラシを傾けると、スプレーパターンを長くできます。ホイールを回転させると、スプレーの強さが調節でき、ペン先の筆圧により、ブラシのサイズがコントロールできます。

エアブラシを親指と中指で持ちます。人差し指で回転させやすい位置にホイールを配置します。筆圧を使用して、色を塗ったり、絵を描いたりしやすいような位置までエアブラシを傾けます。



オプション品の Intuos4 アートペンは、ペンに与える筆圧、傾き、回転に対応します。



アートペンは、ペン軸 360°の回転をサポートします。回転の検出をサポートするソフトウェアで使用すると、アートペンを少し回転させるだけで、線の幅を狭くしたり太くしたりできます。

たとえば、絵を描いているとき、非円形のブラシの回転を様々に変えることにより、ストロークの線幅を変化させることができます。ソフトウェアで選択したブラシの形の特徴に応じて、カリグラフィペン、幅広のフェルト芯アートペンやその他の非円形のブラシまたはツールをシミュレートできます。

重要：Intuos4 エアブラシまたはアートペンを使用していないときは、机の上に横にして置いてください。入力デバイスの感度を保持するために、ペン先やテールスイッチ（消しゴム）に接触するような入れ物に入れて、保管しないでください。また、タブレット上に Intuos4 ペンやマウスを置いたままにすると、通常のマウスなどを使う場合、ポインタの位置決めができない場合があります。

ワコムのホームページで、エアブラシのホイール、アートペンの回転をサポートしているソフトウェアを確認できます。

Windows でのペン入力機能およびデジタルインク機能

Windows 7 および Windows Vista では、ペン入力をサポートしています。Windows 7（Starter を除く）および Windows Vista（Home Basic を除く）が稼働するコンピュータと、Intuos4 Wireless を組み合わせることでペン入力機能を最大限に活用できます。さらに Windows 7 および Windows Vista、Office 2007 またはそれ以降のバージョン、そして Intuos4 Wireless を組み合わせることで、効果的な書類作成やプレゼンテーション、コミュニケーションを可能にします。

- **手書きメモ帳機能**　Windows 7 および Windows Vista の「Windows Journal」をタブレットで操作すれば、手書きメモや図形をファイルに直接書き込むことができます。ペン、マーカー、ハイライトツール、消しゴムなど便利なデジタル機能を備え、Windows Journal の強力な検索エンジンでは手書きの内容も検索することができます。
- **手書き文字認識機能**　Windows 7 および Windows Vista の「手書き文字認識機能」は、タブレットで書いた手書き文字を、素早くテキストに変換する機能です。クセ字を学習する高性能な手書き認識エンジンも搭載され、書いた文字を正確に認識します。
- **ジェスチャー機能**　タブレット上でペンを動かすだけで、コンピュータ操作を可能にする「ペンフリック」機能を備えています。上下左右斜めの 8 方向へのペンの動きにショートカットなどを設定でき、キーボードを使わずに簡単操作ができます。カスタマイズするときは、「ペンと入力デバイス」コントロールパネルの「フリック」タブを選びます。
- **Office 2007 デジタルインク機能**　「2007 Microsoft Office system」またはそれ以降のバージョン（OS：Windows 7 ／ Vista）での各ソフトウェア（Word・Excel・PowerPoint・Outlook）では、ペンタブレットを接続することで、ペンによる手書き文字や図形などを自在に書き込めるデジタルインク機能が使用できます。ファイル上での手書き校正などが可能になります。

Windows Vista でペンを使いこなしていただくために、「Windows トレーニングツール」や「Tablet PC チュートリアル」など付属の資料をお読みください。「スタート」メニューから、「すべてのプログラム」→「Tablet PC」→「Tablet PC ペントレーニング」と選択すると、Tablet PC ペントレーニングが起動します。

補足：ワコムタブレットドライバでは、Windows 7 および Windows Vista での描画性能改善のために、下記の次善策をとっています。

- ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」機能は、Wintab API を使うグラフィックソフトでは無効になります。
- Windows Vista の「ペンと入力デバイス」コントロールパネルで、ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」の両方の機能を無効にして、Windows Journal や他のインク機能で描画する場合、筆圧が無効になります。

* タブレットペン機能は、Windows 7 Starter 以外の全 Windows 7 のエディション、Windows Vista Home Basic 以外の全 Windows Vista のエディションでサポートされています。

Windows Tablet PC 入力パネルについて

Windows 7 または Windows Vista Tablet PC 入力パネルによって、Intuos4 Wireless を使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力することができます。以下のようにして入力パネルを起動することができます。

- 画面のポインタをテキスト操作エリアに移動すると表示される入力パネルのアイコンをクリックします。
- 標準設定で表示画面の左端に配置されている入力パネルのタブをクリックします。
- Windows のタスクバーに配置されている「Tablet PC 入力パネル」アイコンをクリックします。アイコンが見えない場合は、タスクバーを右ボタンクリックして、「ツールバー」、「Tablet PC 入力パネル」を選択します。

入力パネルのカスタマイズは以下の手順で行います。

1. 初めに、入力パネルを開いて、メニューバーの「ツール」をクリックします。
2. 「オプション」を選択して、入力パネルオプション・ダイアログボックスを開きます。
3. 作業しやすいように、入力パネルの設定をカスタマイズします。

Microsoft Windows、および Office 2007 またはそれ以降のバージョンの使用については、システムおよび Microsoft Office に付属の資料を必ずご参照ください。 マイクロソフト社が提供している Tablet PC チュートリアルなどの Windows Vista トレーニングツールもご活用ください。

Windows でのペンの使用に関する詳細については、
ワコムの Web サイト www.wacom.co.jp/windows もご覧ください。

製品仕様

Intuos4 Wireless タブレット（PTK-540WL モデル）

読取方式	電磁誘導方式
ファンクションディスプレイ	128 x 64 ドット (x2)、白色
読取可能範囲（W x D）	203.2 x 127mm
外形寸法（W x D x H）	約 363 x 253 x 15 mm
質量	約 900g（電池含む）
縦横比	16：10
読取分解能	200lpmm
読取精度（ペン）	+/- 0.25 mm
読取精度（マウス）	+/- 0.5 mm
傾き検出角度 （すべてのペン）	+/- 60 °
読取可能高さ（ペン）	10 mm
標準読取速度（ペン）	133 ポイント / 秒
最大読取速度（ペン）	200 ポイント / 秒（USB 接続、および EDR（高速データレート）プロトコルに対応する Bluetooth 仕様 v2.0 以上接続のみでサポートされます。）
ファンクションキーストローク	約 0.25 mm
インタフェース準拠規格	Bluetooth ワイヤレス技術（Bluetooth 2.1 + EDR） USB
コネクタ	USB タイプ A ～ USB mini-B
ケーブル長さ	約 2.5m
電源電圧／消費電流	5V ／ 500 mA 以下　コンピュータの USB ポートから供給
電池	充電式リチウムイオン電池、3.7V、1800 mAh
通信環境	HID プロトコルを使用した Bluetooth ワイヤレス技術
使用環境	温度：5 ～ 40 ℃ 充電可能温度：5 ～ 35 ℃ 保管温度：-20 ～ 60 ℃ 湿度：30 ～ 80% （結露がないこと） 保管湿度：30 ～ 85%（結露がないこと）
適合規格	FCC15B Class B, FCC15C, CE, VCCI Class B, ICES-003, RSS-210, BSMI, NCC, C-Tick, KCC, GOST-R, FAC, Japan Radio Law, SRRC, RoHS, Korean RoHS, Chinese RoHS

Intuos4 グリップペン (KP-501E-01)

ペン先の動作ストローク	約 1.0 mm 以下
筆圧レベル	2048 レベル
消しゴムの動作ストローク	約 2.0 mm
外形寸法 (L x D)	156.5 x 14.9 mm
質量	約 17 g

Intuos4 マウス (KC-100)

外形寸法 (L x D x H)	102.9 x 61.8 x 38.6 mm
質量	約 83 g
ボタンの動作ストローク	約 1.3 mm 以下
ホイールのタイプ	回転式、 1 周 24 ピッチ

Intuos4 エアブラシ (KP-400E-01)

ペン先の動作ストローク	0.2 mm 以下
ホイールの回転ストローク	10 mm
ホイールの回転検出レベル	約 1024 レベル
筆圧レベル	2048 レベル
消しゴムの動作ストローク	約 1.5 mm
外形寸法 (L x W x D)	162.5 x 17.5 x 32.5 mm
質量	約 23 g

エアブラシはオプション品です。

Intuos4 インクペン (KP-130-01)

ペン先の動作ストローク	0.2 mm 以下
筆圧レベル	2048 レベル
外形寸法 (L x D)	151.5 x 12.5 mm
質量	約 12 g

インクペンはオプション品です。

Intuos4 アートペン（KP-701E-01）

ペン先の動作ストローク	1.0 mm 以下
筆圧レベル	2048 レベル
消しゴムの動作ストローク	約 2.0 mm
回転機能	360 度
外形寸法 (L x D)	156.3 x 15.9 mm
質量	約 20 g

アートペンはオプション品です。

Intuos4 クラシックペン（KP-300E-01）

ペン先の動作ストローク	1.0 mm 以下
筆圧レベル	2048 レベル
消しゴムの動作ストローク	約 2.0mm
外形寸法 (L x D)	150.7 x 12.2 mm
質量	約 12 g

クラシックペンはオプション品です。

ワコムのタブレット製品は、欧州連合 RoHS 指令（2002/95/EC）に対応しています。

製品情報

筆圧、傾き、消しゴムなどの Intuos4 Wireless の機能をサポートするソフトウェアについてはワコムのホームページをご覧ください。http://tablet.wacom.co.jp/

部品と付属品の注文

Intuos4 Wireless はクリエイティブな仕事に携わる方に最適なデバイスです。Intuos4 グリップペンやその他のオプションデバイスを組み合わせ、イラスト作成や画像編集を行うことができます。Intuos4 グリップペンやオプションデバイスにはそれぞれ固有のデバイス ID が書き込まれ、それぞれに設定を記憶することも可能です。Intuos4 Wireless の機能を最大限に使いこなすために、以下の利用可能な部品と付属品もご覧下さい。

これらのオプションデバイスやその他部品を購入するには、ワコムのホームページをご覧下さい。
http://tablet.wacom.co.jp

利用可能な部品と付属品



Intuos4 **グリップペン**（KP-501E-01）：消しゴム機能付き筆圧ペン。筆圧と傾きを検出します。電池レスでコードレス、メンテナンスフリーで幅広い用途を持つグリップペンです。マウス操作はもちろんのこと描画作業や細かい作業に最適な Intuos4 Wireless の標準的なデバイスです。テールスイッチや２つのサイドスイッチにはショートカットやキーの割り当てが可能です。エルゴノミクスデザインで握りやすいグリップ部が自然な描画を実現します。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、標準芯（1 本）、ストローク芯（1 本）、ハードフェルト芯（1 本）、エラストマー芯（1 本）



Intuos4 マウス（KC-100）： Intuos4 マウスは電池レスでコードレスでメンテナンスフリー。5 つのボタンを備えたマウスは通常のマウス作業がタブレット上で行える理想的なマウスデバイスです。中央部には中ボタンと上下のスクロールに便利な回転ホイールが装備されており、ボタンにはそれぞれ様々なキーストロークやショートカットなどの割り当てが可能です。



Intuos4 **エアブラシ**（KP-400E-01）： Intuos4 エアブラシは筆圧検出、消しゴム機能だけでなくホイール機能を搭載したペンです。アナログのエアブラシの感覚をそのままに作業できます。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、標準芯（1 本）、ストローク芯（1 本）、ハードフェルト芯（1 本）、エラストマー芯（1 本）



Intuos4 **インクペン**（KP-130-01）：インクペンは筆圧と傾きを検出します。インクペンはコンピュータ画面でも紙面でも、確かな描き心地を生み出すよう作られています。インクペンには、黒のボールペン芯と、インクを使わずに描画するための２つのポリアセタールの芯が付属しています。インクペンには筆圧を検出するペン先が備わっていますが、テールスイッチ（消しゴム）とサイドスイッチはありません。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、標準芯（2 本）、黒ボールペン芯（黒、3 本）

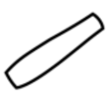
補足：インクペンを購入すると、ポリアセタールの芯が付属しています。ピンセットなどを使用して、空のペン先をペンからそっと引き抜きます。次に、インクペンに付属する銀色のボールペン芯を挿入します。ボールペン芯のペン先はワックスコートされています。インクを出しはじめる前に剥がしてください。



Intuos4 **アートペン** (KP-701E-01)：Intuos4 アートペンは筆圧、傾き検出と回転機能に対応したペンです。ペン軸の回転を検出することによりカリグラフィブラシやアナログのマーカーのような描写を実現します。幅広いニブを装備したペン先の書き味はアナログのマーカーそのものです。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、彫刻刀型ポリアセタールニブ（2 本）、彫刻刀型フェルトニブ（2 本）、ポリアセタール芯（３本）、ハードフェルト芯（３本）



Intuos4 **クラシックペン**（KP-300E-01）：Intuos4 グリップペンと同じ機能を持つペン軸の細いペンです。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、標準芯（1 本）、ストローク芯（1 本）、ハードフェルト芯（1 本）、エラストマー芯（1 本）

種類	型番
グリップペン、エアブラシ、クラシックペン用替え芯	
標準芯：滑らかな書き味と耐久性を兼ね備えた芯、材質ポリアセタール、5 本入り	ACK-20001
ストローク芯：組み込まれたスプリングによって芯先が約 1mm 上下する芯、材質ポリアセタール、5 本入り	ACK-20002
ハードフェルト芯：高摩擦係数でありながら耐久性も備えた芯、材質フェルト、5 本入り	ACK-20003
エラストマー芯：もっとも摩擦係数が高く弾性のある芯、材質エラストマー、5 本入り	ACK-20004
Intuos4 アートペン用芯セット（ポリアセタール芯 3 本、ハードフェルト芯3本、彫刻刀型ポリアセタールニブ2本、彫刻刀型フェルトニブ2本）	ACK-20006
 Intuos4 グリップペン用ラバーグリップ（標準径 / サイドスイッチ用穴無し／ 2 本入り）	ACK-30003
 Intuos4 グリップペン用ラバーグリップ（太径 / サイドスイッチ用穴無し／ 2 本入り）	ACK-30002
充電式リチウムイオン電池	ACK-40203
オーバーレイシート	
標準マットタイプ	ACK-10221
トレース用透明（マット）タイプ	ACK-10222

注文については、部品と付属品の注文をご覧ください。
オプション品は、オンラインショッピングサイト「ワコムストア」でお買い求めいただくことができます。
以下のホームページをご覧ください。
http://tablet.wacom.co.jp/store/wacomclub/

RADIO AND TELEVISION INTERFERENCE

The equipment described in this manual generates, uses, and can radiate radio-frequency energy. If it is not installed and used properly—that is, in strict accordance with Wacom instructions—it may cause interference with radio and television reception.

FCC NOTICE

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.

This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

You can determine whether the equipment is causing interference by disconnecting it from your computer. If the interference stops, it was probably caused by the equipment.

If the equipment does cause interference to radio or television reception, you may be able to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Rotate the television or radio antenna until the interference stops.
- Move the equipment farther away from the television or radio.
- Plug the equipment and computer into an outlet that is on a different circuit from the television or radio.

If necessary, consult your Wacom dealer or an experienced radio/television technician for help.

Changes or modifications to this product not authorized by Wacom could void the FCC Certification and negate your authority to operate the product.

FCC RF Radiation Exposure Statement:

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance. This equipment must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

See also Industry Canada (Canada only) and CE declaration.

INDUSTRY CANADA (CANADA ONLY)

Industry Canada, Class B

"This Class (B) digital apparatus complies with Canadian ICES-003"

"Cet appareil numérique de la classe (B) est conforme à la norme NMB-003 du Canada."

CE DECLARATION

The Intuos® 4 Wireless digitizing tablet, model PTK-540WL, has been tested and found to comply with the following harmonized European Norms:

- EN 55022: 2006/A1:2007
- EN 61000-3-2: 2006
- EN 61000-3-3: 1995/A1:2001/A2:2005

- EN 55024: 1998/A1:2001/A2:2003
  - EN 61000-4-2:1995/A1:1998/A2:2001
  - EN 61000-4-3:2006
  - EN 61000-4-4:2004
  - EN 61000-4-5:2006
  - EN 61000-4-6:2007
  - EN 61000-4-8:1993/A1:2001
  - EN 61000-4-11:2004
- EN 60950-1:2006
- EN 300 328 :V1.7.1
- EN 301 489-1:V1.8.1,-17:V2.1.1

Based on the results of these tests, Wacom declares that the above mentioned devices conform to Article 10.1 of the European Council EMC Directive 2004/108/EC, LVD Directive 2006/95/EC and to the R&TTE Directive 1999/5/EC and indicates this conformity by the CE-sign on each device.

The device must be installed and operated always in strict accordance with the instructions given in this handbook.

Any changes or modifications to this product that were not specifically authorized by Wacom will invalidate this declaration.

機器認定について

本機は日本国の電波法に基づく 2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システムの特定無線設備として、認証を受けています。

したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解、改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

本機の使用上の注意事項

本製品は 2.4GHz 帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。

2.4FH1

変調方式には FH-SS 方式を採用し、与干渉距離は 10m 以下です。

2.4GHz 帯は、医療機器や、IEEE802.11b/11g 規格の無線 LAN 機器などでも使用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局※」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」の間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- 不明な点、その他電波干渉が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、ワコムサポートセンターまでお問い合わせください。

※「 他の無線局」とは、本製品と同じ 2.4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

安全上のご注意

警告

タブレットや入力デバイスを子供の手の届く場所に置いたり放置したりしないでください。
ペン芯、サイドスイッチ、またはその他の可動部品は、子供が噛んだりして偶然外れ、誤って飲み込まれる場合がありますのでご注意ください。また、替え芯やペンスタンドなどの小さな部品も、取り外され誤って飲み込まれる場合がありますのでご注意ください。

高度な安全性や信頼性が要求される設備の制御システムには使用しない。
他の電子装置に影響を与えたり、他の電子装置から影響を受けて誤動作することがあります。

電子機器の使用が禁止されている場所・場合では、タブレットの電源を切ってください。
航空機内など電子機器の使用が禁止されている場所や場面では、タブレットが他の電子機器に影響を与える可能性があります。必ず電源スイッチをオフにして、ペンタブレット電源を切ってください。また、安全のために Bluetooth もオフにしてください。

タブレットや入力デバイスを分解しないでください。
タブレットや入力デバイスを分解、改造しないでください。発熱、発火、感電、けがなどの原因となります。製品を分解した場合は、保証の対象外となります。

ケーブルの傷などにご注意ください。
タブレットのケーブルが破れていたり、傷が付いていたりした場合は、故障、感電、火災の原因となることがあります。使用をやめて販売店またはワコムサポートセンターにご連絡ください。

本製品に水や液体をこぼさないでください。
タブレットや入力デバイスに液体をこぼさないようご注意ください。故障や感電の原因となります。本製品が水などの液体で濡れた場合には、直ちに電源スイッチをオフにしタブレットの電源を切ってください。付属の USB 接続ケーブルで接続しているときは、USB 接続ケーブルを抜き、コンピュータの電源を切ってから内蔵の電池を取り外してください。販売店またはワコムサポートセンターにご連絡ください。

USB ポートやその他の開口部に異物を入れないでください。
USB ポートやその他の開口部に金属片や異物が入ると、故障や発熱、感電の原因となることがあります。

充電式リチウムイオン電池の安全上の注意および注意もご覧ください。

充電式リチウムイオン電池の安全上の注意

本書の記載をよくお読みの上、タブレット用電池を安全に正しく取り扱ってください。

- 電池の誤った使い方はしないでください。鋭利な物で突き刺す、強い力を加えて壊す、加熱、水または火の中への投入、分解、端子の誤った接続などは、電池の爆発や火災の原因となり、やけどやけがの原因になることがあります。
- 付属品、または専用のワコム製電池のみを使用してください。電池を交換するときに、硬い物の上などに電池を落とさないようにご注意ください。内部が破損するおそれがあります。また落とした電池は、破損したように見えない場合でも新しい電池と交換してください。万一タブレット内部でショートや液漏れが発生した場合、タブレットが故障するおそれがあります。
- 変形した電池を使用しないでください。破裂、発熱、発煙、発火のおそれがあります。
- 電池はプラスとマイナスの方向に注意してください。誤った取り付けをすると、タブレットを破損し、火災または怪我の原因となることがあります。
- 専用のワコム製電池のみを使用してください。タブレットの破損、火災またはけがの原因となることがあります。専用品以外の電池をお使いになった場合の損害は、補償の対象外となりますのでご注意ください。
- 電池を過充電しないでください。タブレットの破損、火災またはけがの原因となることがあります。
- タブレットを旅行に携行する場合、充電式リチウムイオン電池に適用される飛行機または旅行の規制について、必ず関係規制当局に確認してください。
- タブレットが異常に熱くなったりへんな臭いがする場合、USB 接続ケーブルを使用中であれば直ちにケーブルを抜き、電源を切ってください。ワコムサポートセンターにお問い合わせされる場合は、テクニカルサポートをご覧ください。
- 充電式リチウムイオン電池は、過放電されると充電ができなくなります。これは、電圧が最低安全レベル以下になると電池の内部保護回路が働き、充電を防止するためです。
- ご使用済みの電池は、電池に付属の取扱説明書とお住まいの地域の条例に従って、適切にリサイクルしてください。
- 電池はお子様の手の届かない所に保管し、使用済みの電池は速やかにリサイクルしてください。
- 充電式リチウムイオン電池をリサイクル BOX に持っていく場合には、金属類の入ったポケットや容器に入れて運ばないでください。ポケットや容器の中で金属類が電池の端子と接触すると、電池がショートしてけがや火災の原因となることがあります。金属類との接触を防ぐために、電池の端子を粘着テープなどで保護することをお勧めします。
- 電池液が漏れた場合、眼に入らないように注意してください。万一眼に入った場合、眼をこすらず、直ちに眼を水で洗い病院で診察を受けてください。

警告と注意もご覧ください。

リチウムイオン電池のリサイクル

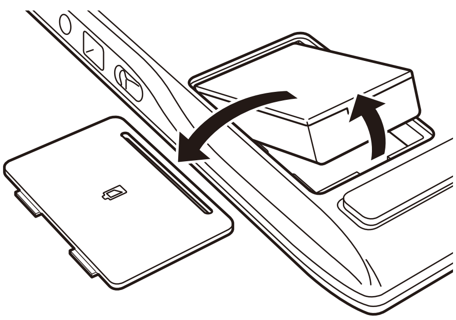
Li-ion 00

本製品には充電式リチウムイオン電池が内蔵されています。

リチウムイオン電池を交換する際、および本製品を廃棄する際には、本製品よりリチウムイオン電池を取り外し、電池リサイクル協力店（電気店など）に設置されている「小型充電式電池リサイクル BOX」に入れてください。

リチウムイオン電池のリサイクル方法

1. リチウムイオン電池をタブレット本体から取り外す



2. リチウムイオン電池の金属端子部にテープなどを貼る
   - ショートのおそれがありますので、テープなどで絶縁してからリサイクル BOX に入れてください。
3. お近くのリサイクル協力店のリサイクル BOX に入れる
   - リチウムイオン電池のリサイクルおよびリサイクル協力店に関する詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご覧下さい。

     JBRC ホームページ : http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

注意

傾いた場所や台の上に本製品を置いたり、使用したりしないでください。
ぐらついた場所や傾いた場所、振動する台の上などに本製品を置かないでください。落下して故障やけがの原因となります。

タブレットを拭くときは、USB ケーブルをコンピュータとタブレットから抜いて本機の電源を切ってください。
コンピュータに接続したままタブレットを拭くと、感電の原因となることがあります。

■不安定な場所には置かない

ぐらついたり傾いたりした場所、また振動の激しい場所に本製品を置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。

■重いものを置かない

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。故障の原因となることがあります。

■お手入れのときは USB コネクタを取り外す

ペンタブレットをお手入れするときは、電源スイッチをオフにしてタブレットの電源を切り、ペンタブレットとコンピュータから ＵＳＢ 接続ケーブルを取り外してください。コンピュータに接続された状態で本機のお手入れをすると、感電する場合があります。

■温度が高すぎる場所や低すぎる場所に置かない

暑い場所（40° 以上）や寒い場所（5° 以下）に本製品を置かないでください。また、温度変化の激しい場所に置かないでください。本体や部品に悪影響を与え、故障の原因になります。

■アルコール、ベンゼン、アセトンなどの有機溶剤でタブレットやペンを拭かない

ヒビ割れが生じる場合があります。

■タブレットやペンを落下させせない

故障の原因になります。

■ケーブルを持ってタブレットを持ち上げたり、引っ張ったりしない

故障の原因になります。

■雷が近くに来ているときは使用を控え、電源を抜く

落雷により、故障、感電、火災の原因になります。

警告および充電式リチウムイオン電池の安全上の注意もご覧ください。

ペン、タブレットに関するその他の注意：

- ペン芯やテールスイッチ（消しゴム）、サイドスイッチに過度に力を加えないでください。ペン芯の寿命を縮めたり、故障の原因となります。
- ゆがんだり、曲がったペン芯を使用すると、ペンが正しく動作しないことがあります。ペンを使用するときは過度な筆圧をかけないでください。
- ワコム製品以外のペン芯を使用すると、故障の原因となります。
- 使用中に金属物を本製品の上に置かないでください。障害、不具合、故障の原因となります。
- 付属の Intuos4 グリップペンで硬いものを叩かないでください。故障の原因になります。
- ペン先、テールスイッチおよびサイドスイッチに無理な力を加えないでください。ペンの寿命が短くなったり、故障の原因になります。
- ペン先、テールスイッチおよびサイドスイッチが押された状態で、保管しないでください。故障の原因になります。
- ペンに磁石や磁気を近づけないようにしてください。誤動作する場合があります。

用語

画面のポインタ：表示画面のポインタ。ポインタは、起動しているソフトウェアにより、I 型ポインタ、矢印、あるいはボックスなど様々な形に変わります。

傾き感度：デバイスが傾く角度を読み取るペン先とテールスイッチ（消しゴム）の特性。これは、傾き対応のソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに役立ちます。

クイックポイント：クイックポイントオプションは、タブレットを２つの独立した領域に分割します。描画のための大きな領域と、メニューを選択したり、機能を実行するクイックナビゲーションのための小さな領域です。

クリック圧：クリックする時、ペン先にかかる力の大きさ。

消しゴム対応ソフトウェア： Intuos4 Wireless の消しゴム機能がサポートされているソフトウェア。ソフトウェアによっては、テールスイッチ（消しゴム）を別の機能に使うことができます。

修飾キー：Windows では［Shift］、［Alt］、［Ctrl］キー、Macintosh では、［shift］、［control］、［command］、［option］キーの修飾キーがあります。Intuos4 デバイスは、修飾キーをシミュレートするようにカスタマイズできます。

縦横比：タブレット、またはディスプレイ画面の縦と横の比率。

芯：ペン先で交換が可能な部分。

操作エリア：Intuos4 デバイスが検出されるタブレットの描画領域。

タッチホイール：タブレット上にある、カスタマイズ可能なリング状の装置です。

ダブルクリックアシスト：ダブルクリック距離の大きさを設定することにより、ダブルクリックを簡単にするコントロールパネルの機能。

ダブルクリック距離： ペン先でダブルクリックするときに、２回目のクリックがずれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引き始めにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

ダブルクリック速度： ダブルクリックの１回目と２回目のクリックの間隔の設定。遅くするとペン先でダブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引き始めに「ダブルクリックの速度」で設定されている時間が過ぎるまで線が現れないことがあります。

デジタルインク：コンピュータへのペン入力で作成した手書きコンテンツの総称。この手書きコンテンツには、画像、インクマークアップ、手書きがあります。手書きコンテンツは、キーボード入力したテキストに変換するか、手書きのままで使用できます。システムおよびソフトウェアを設定すると、デジタルインクによる手書きのテキストを書き終わった文字からすぐに変換することも、最後にまとめて変換することもできます。

デバイス ID：Intuos4 入力デバイスひとつひとつに書き込まれている ID。Corel Painter などの一部のグラフィックソフトウェアでは、デバイス ID で各入力デバイスを認識し、設定や機能を個別に割り当てることができます。（たとえば２本のペンに異なった設定をする） 設定や機能の切り替えが、ペンを使い分けるだけで簡単にできるようになります。

特定のソフトウェアに対する設定：ソフトウェアごとに Intuos4 デバイスとタブレットの設定をカスタマイズします。コントロールパネルを使って、目的のソフトウェアで特別に機能するようにカスタマイズします。特定のソフトウェアに対する設定は、設定したソフトウェアを使用すると必ず実行されます。特定のソフトウェアに対する設定をご覧ください。

トランシーバ：情報を送受信できるワイヤレスデバイス。

ピクセル：ディスプレイ画面上の最小の測定単位。

筆圧対応：筆圧の荷重を読み取るペン先とテールスイッチ（消しゴム）の特性。これは、筆圧対応のソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに使用されます。

筆圧対応ソフトウェア：筆圧をサポートするソフトウェア。

ファンクションキー：タブレット上にあるカスタマイズ可能なキーです。

ファンクションキーを左側：「タブレットの向き」の設定。タッチホイールとファンクションキーがタブレットの左側になります。

ファンクションキーを右側：「タブレットの向き」の設定。タッチホイールとファンクションキーがタブレットの右側になります。

ペアリング：2 台の Bluetooth 対応デバイス間に仮想ケーブルリンクを確立する方法。ペアリングとは、Intuos4 Wireless とコンピュータが「初めて」互いを検出するプロセスです。

ペンモード：ポインタの位置決めの方法。Intuos4 デバイスをタブレット上に置くと、画面のポインタが画面上の対応点にジャンプします。これは絶対的位置決めと言われ、すべての Intuos4 ペンの標準設定です。ペンモードでは、先に画面上でポインタを確認してデスクトップ上で動かさなくても、ポインタの位置を決められます。マウスモードもご覧ください。

ホイール： Intuos4 マウスとオプション品のエアブラシのコントロールホイール。

Intuos4 マウスの加速：デバイスがマウスモードのとき、ポインタの加速を調節できます。

マウスモード：ポインタの位置決めの方法。Intuos4 デバイスをタブレット上に置くと、ポインタは、従来のマウスと同様に動いた方向と距離に応じて移動します。
これは相対的な位置決めと言われ、Intuos4 マウスの標準設定です。 ペンモードもご覧ください。

マウス速度：Intuos4 デバイスがマウスモードのとき、ポインタのスピードを調節できます。

マッピング：タブレット上の Intuos4 デバイスの位置とディスプレイ画面上のポインタの位置との関係。

マッピング画面切り替え：マルチディスプレイ全体、または 1 つのディスプレイを使って作業できます。システムがマルチディスプレイで構成されている場合にお使いになれます。詳細についてはマッピング画面切り替えを使うをご覧ください。

有機発光ダイオード（OLED）：有機発光ダイオード（OLED) は半導体ポリマーを材料とします。OLED はバックライトを必要としないため消費電力が小さく、LCD パネルに較べて大幅に薄くすることができます。

読み取り高さ：Intuos4 デバイスが検出されるタブレットの操作エリアからの高さ。 ポインタの移動 もご覧ください。

ラジアルメニュー：円型の階層メニュー。各階層のメニューは 8 つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。メニューを表示するために、サイドスイッチに機能を割り当てる必要があります。

Bluetooth：標準化されているワイヤレス技術および仕様。Bluetooth ワイヤレス機能を組み込んだ Bluetooth 対応デバイスを使って、近距離のシームレスな通信で音声やデータをやりとりできます。

Bluetooth 検出モード：Bluetooth 対応デバイスが、別の Bluetooth 対応デバイスにより検出され接続される状態。

Tablet PC 入力パネル：Microsoft Windows Tablet PC 入力パネルで、Intuos4 ペンを使って手書きメモを作成したり、画面上のキーボードを使って文字入力を行うことができます。手書き文字が、入力パネルでテキストに変換されます。Tablet PC 入力パネルから入力した文字を文書や表計算、イラストに挿入できます。Windows でのペンおよびデジタルインク入力機能をご覧ください。

USB：Universal Serial Bus。コンピュータの周辺装置を接続するためのハードウェアインタフェースの基準。USB ポートはホットプラグをサポートし、これにより、コンピュータの電源を切らなくても USB デバイスの取り外しができます。

Windows Journal：紙のメモ帳の電子版だが、デジタルノートだけの特長も備えた Microsoft Windows ソフトウェア。たとえば、簡単に描画や手書きのメモを作成して、テキストに変換した後、デジタルデータとしてほかの人たちに送ることができます。Windows Journal には、様々な Intuos4 ペンのテールスイッチ（消しゴム）で動作する消しゴム機能が備えられています。Windows Journal では、手書きのコンテンツも検索できます。

Wintab：タブレットの情報を受け取る Windows ソフトウェアによって使用されるインタフェースの基準。Intuos4 Wireless は、Windows 環境で Wintab と互換性のあるソフトウェアをすべてサポートします。

索 引

このページを印刷してご利用ください（「お問い合わせ」または「修理依頼」に○をつけてください)。太枠内を記入してください。

◌ **お問い合わせ**
◌ **修理依頼**

FAX 送付先 ：03-5309-1514

受付 No.

発信	年 月 日

<table>
<tr><td rowspan="6">お客さま</td><td>フリガナ</td><td></td><td rowspan="2">会社名
(学校名）
・所属部署</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>氏名</td><td></td></tr>
<tr><td>使用場所</td><td>会社（学校）・自宅</td><td>連絡先</td><td>会社（学校）・自宅</td></tr>
<tr><td>住所</td><td colspan="3">〒 ※修理のご依頼の場合は、修理完了品の返送先をご記入ください。
E-mail：</td></tr>
<tr><td>TEL</td><td>（ ）</td><td>FAX</td><td>（ ）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="3">タブレット</td><td colspan="2">型式</td><td>PTK-540WL</td><td>シリアル番号</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">タブレットドライバ</td><td colspan="3">バージョン：</td></tr>
<tr><td colspan="2">購入年月日</td><td colspan="3">年 月 日</td></tr>
<tr><td rowspan="13">使用環境</td><td colspan="2" rowspan="2">使用
コンピュータ</td><td colspan="2">メーカー：</td><td>機種名：</td></tr>
<tr><td>モデム内蔵 Yes ・No</td><td>使用 OS</td><td>（バージョン： ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用アプリケーション</td><td colspan="3">（バージョン： ）</td></tr>
<tr><td rowspan="10">周辺機器など</td><td>種類</td><td>メーカー</td><td>機種名</td><td>接続ポート</td></tr>
<tr><td rowspan="3">他の
USB 機器</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>USB ハブ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ディスプレイ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ビデオカード</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>その他</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="0"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">内容</td><td colspan="2">現象発生日</td><td colspan="3">年 月 日</td></tr>
<tr><td colspan="2">現象発生頻度</td><td colspan="3">常時・ときどき（システム起動時・使用中・その他： ）</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
</table>

ここに記入されたお客さまの個人情報は、お客さまへのサポート、および修理品の返却のみに利用し、それ以外に利用することはありません。

WACOM INTERNATIONAL OFFICES

株式会社ワコム

〒 164-0012
東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー 21 階
インターネット：
http://www.wacom.co.jp
ワコムサポートセンター
電話：0570-05-6000
受付時間　平日 9:00 ～ 20:00
土曜 10:00 ～ 17:00

Wacom Co., Ltd.

Asia Pacific Marketing and Sales Division
Harmony Tower 18F, 1-32-2 Hon Cho,
Nakano-Ku, Tokyo 164-0012
Japan
Telephone: +81.3.5309.1513
Fax: +81.3.5309.1514

Wacom Technology Corporation

1311 S.E. Cardinal Court
Vancouver, WA 98683
U.S.A.
Telephone: +1.360.896.9833
Fax: +1.360.896.9724

Wacom Europe GmbH

Europark Fichtenhain A9
47807 Krefeld
Germany
Telephone: +49.(0)2151.361.444
Fax: +49.(0)2151.3614.111

Wacom China Corporation

Unit 2807, 28th Floor, Capital SK Tower
No 6 Jia, Jianguomenwai Avenue,
Beijing, 100022, China
Internet: http://www.wacom.com.cn

Wacom Digital Solutions Co., Ltd.

Gangnam Telepia B/D 9th Fl, 662-18
Yeoksam-dong, Gangnam-gu, Seoul, 135-080
Korea
Telephone: +82.2.557.3894
Fax: +82.2.557.3895

Wacom Australia Pty. Ltd.

Unit 8, Stage 1
Cumberland Green
2-8 South Street, Rydalmere
NSW 2116 Australia
Telephone: +61.2.9422.6700
Fax: +61.2.9420.2272

Wacom Singapore Pte. Ltd.

3 Bishan Place,
CPF Bishan Building #06-08
Singapore 579838
Telephone: +65.6258.8640
Fax: +65.6258.8697

Wacom Taiwan Information Co., Ltd.

Suite 605, 6th floor, No. 205 Tun-Hwa North Road
Taipei, 105 Taiwan
Telephone: +886.2.2712.2675
Fax: +886.2.2712.9789